

事業用貨物自動車の

交通事故の発生状況

平成 30 年 8 月



ま え が き

本書は、公益財団法人交通事故総合分析センター並びに国土交通省の協力を得て、警察庁が公表した平成29年中の全国交通事故統計データから、事業用貨物自動車（軽自動車を除く）を対象とした交通事故の全体傾向を集計して取りまとめています。

平成29年に全国で発生した交通事故（物損事故を除く）件数は472,165件、死者数は3,694人、負傷者数は580,847人と、前年に比べ事故件数が27,036件減（-5.4%）、死者数が210人減（-5.4%）、負傷者数が38,006人減（-6.1%）となっています。

一方、事業用貨物自動車については、交通事故による負傷者数及び飲酒運転事故件数についてはそれぞれ減少したものの、死亡事故発生件数及び死者数は5年ぶりに増加するなど憂慮すべき状況にあります。

国土交通省では、平成32（2020）年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界一安全な輸送サービスの提供を実現するため、第10次交通安全基本計画（平成28年～平成32年まで）に合わせた「事業用自動車総合安全プラン2020～行政・事業者・利用者が連携した安全トライアングルの構築～」を策定し、平成32年までに、事業用トラックが第1当事者となる①交通事故による死者数を200人以下、②人身事故件数を12,500件以下、③飲酒運転をゼロとするよう、平成29年6月30日に公表しました。

これを受け、全日本トラック協会では、国土交通省が定めた目標を実現するため、事業用トラックを第1当事者とする交通死亡事故件数に係る数値目標を「車両台数1万台当たり『1.5』件以下とし、これを各都道府県（車籍別）の共有目標とする」ことを平成29年9月に決定しました。

このような状況を踏まえ、事業用貨物自動車による交通事故を根絶するためにも貨物自動車運送事業の経営にあたっては、交通事故防止対策を最重要課題とし、確実な点呼の実施を始めとし、飲酒運転の撲滅、過労運転の防止、点検整備の徹底、運転者の教育・指導など安全管理の充実に努め、関係者一丸となって、これまで以上に交通事故防止対策を講じていく必要があります。

本書を事業用貨物自動車の交通事故防止対策の一助として活用いただければ幸いに存じます。

平成30年8月

公益社団法人 全日本トラック協会
会長 坂本克己

目 次

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況	1
2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況	2
3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況	3
4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況	13
5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況	20
6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況	27
7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況	30
8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況	34
9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況	36
10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況	39
11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況	42
12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況	43
13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況	44
14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況	46
15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況	47
16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況	52
17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況	55
付録	62
付録 1. 都道府県別の死傷事故件数（平成29年）	63
付録 2. 事業用自動車の第 1 当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（平成29年）	64
付録 3. 事業用自動車の第 1 当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（平成29年）	65
付録 4. 事業用自動車の第 1 当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（平成29年）	66
付録 5. 事業用自動車の第 1 当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（平成29年）	67
付録 6. 交通事故発生状況の推移（平成3-29年）	68
付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成20-29年）	69
付録 8. 事業用自動車の業態別車両 1 万台当たりの死者数の推移（平成20-29年）	69
付録 9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成20-29年）	70
付録 10. 事業用自動車の業態別車両 1 万台当たりの死傷事故件数の推移（平成20-29年）	70
付録 11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1 万台当たりの死亡事故件数（平成29年）	71
付録 12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1 万台当たりの重傷・軽傷事故件数（平成29年）	71
付録 13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成20-29年）	72
付録 14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成20-29年）	74
付録 15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（平成29年）	76
付録 16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成29年）	77
付録 17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（平成29年）	78
付録 18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成29年）	79
付録 19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況	80
付録 20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況	83
付録 21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況	86

付録22.	事業用貨物自動車の車両単独事故の状況	-----	89
付録23.	事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況	-----	92
付録24.	事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数 （平成26-29年）	-----	95
付録25.	事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成28-29年）	-----	96

凡 例

- 本書における用語の定義は、次のとおりである。
- 1 「交通事故」とは、道路交通法で規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故をいう。ただし、本書においては物損事故を除く。
- 2 「死亡」（「死者」）とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
- 3 「負傷」（「負傷者」）とは、「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 4 「重傷」（「重傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）以上の治療を要する場合（人）をいう。
- 5 「軽傷」（「軽傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）未満の治療を要する場合（人）をいう。
- 6 「死傷」（「死傷者」）とは、「死亡」（「死者」）と「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 7 「死傷者数」とは、事業用貨物自動車の事故における全当事者数をいう。
- 8 「事業用貨物自動車」とは、第1当事者が事業用で貨物車（軽自動車を除く。）をいう。ただし、注意書きを除く。
- 9 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
- 10 「事故類型」とは、当該交通事故を先ず当事者の種類（人または車両等）によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等（動き、位置、衝突物等）によって更に細かく分類したものをいう。
- 11 「対歩行者」とは、当該交通事故の第2当事者が歩行者（準歩行者を含む。）である場合をいう。
- 12 「準歩行者」とは、「車椅子」、「小児用の車」、「ローラースケート等」をいう。
- 13 「対自転車」とは、当該交通事故の第2当事者が「自転車」、「駆動補助付自転車」、「リヤカー等」の軽車両である場合をいう。
- 14 「車両相互」とは、当該交通事故の第1当事者及び第2当事者がいずれも車両等（列車が相手方である場合を除く。）である場合をいう。
- 15 「車両単独」とは、当該交通事故の第2当事者が「駐車車両（運転者不在）」、「物件」、「相手なし」である場合をいう。
- 16 「車両等」とは、「四輪車」「二輪車」「自転車」「その他」の合計をいう。
- 17 「車両等」の定義は次のとおりである。
 - 「四輪車」……道路交通法に定める大型自動車、中型自動車、準中型自動車、普通自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車。
 - 「二輪車」……「自動二輪車」及び「原動機付自転車」
 - 「自動二輪車」……道路交通法に定める大型自動二輪車と普通自動二輪車。

- 「原動機付自転車」「軽車両」「自転車」……道路交通法の規定による。
- 「その他」……「四輪車」「二輪車」「自転車」以外の車両。
- 「軽自動車」……道路運送車両法の規定による。
- 「トレーラ」……けん引する構造並びに装置を有する乗用車により牽引されるための構造及び装置を有する車両(車両総重量750kg超)が連結されている状態をいう。

18 当事者種別の定義は次のとおりである。

- 「大型」……車両総重量11t以上又は最大積載量6.5t以上の貨物車。
- 「中型」……車両総重量5t以上11t未満又は最大積載量3t以上6.5t未満の貨物車。
- 「普通」……車両総重量5t未満かつ最大積載量3t未満の貨物車。

なお、当事者種別の定義は平成29年3月12日以降、次のとおりである。

- 「大型」……車両総重量11t以上又は最大積載量6.5t以上の貨物車。
- 「中型」……車両総重量7.5t以上11t未満又は最大積載量4.5t以上6.5t未満の貨物車。
- 「準中型」……車両総重量3.5t以上7.5t未満又は最大積載量2t以上4.5t未満の貨物車。
- 「普通」……車両総重量3.5t未満かつ最大積載量2t未満の貨物車。

19 「高速道」とは、高速自動車国道及び指定自動車専用道路をいう。

20 「高速自動車国道」（高速国道）とは、高速自動車国道法に定める高速自動車国道をいう。

21 「指定自動車専用道路」（指定自専道）とは、道路交通法に定める自動車専用道路をいう。

22 「行動類型」とは、当事者の事故時の行動等（動き、位置、衝突物等）によって細分した類型をいう。

23 「人的要因」とは、当事者に認められる要因をいう。

- 数字は単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。
- データの各数値は、平成29年5月末の確定値である。後日、統計上の理由により変更される場合がある。
- データは、（公益財団法人）交通事故総合分析センターで集計した。

事業用貨物自動車の交通事故の傾向と事故事例

事業用貨物自動車（軽自動車を除く）が第1当事者となった死傷事故の傾向は次のとおりです。

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況

死傷事故全体の発生件数は、平成20年の24,222件から平成29年には14,216件と、10年間で10,006件（41.3%）減少しており、なかでも平成23年以降は連続して減少しています。

第1当事者種別では、平成20年から平成29年の10年間で、大型は3,337件、中型は4,298件、普通は4,823件、それぞれ減少しています。

表1 当事者種別の死傷事故件数の推移（平成20-29年）

(件)

年	第1当事者種別	大型	中型	準中型	普通	合計	保有車両数(台)
H20		9,000 (1,622)	9,159		6,063	24,222	1,414,703
H21		7,625 (1,220)	8,650		4,406	20,681	1,388,644
H22		8,003 (1,357)	9,063		3,983	21,049	1,361,336
H23		7,993 (1,262)	9,035		3,540	20,568	1,357,647
H24		7,586 (1,265)	8,715		3,173	19,474	1,358,400
H25		7,125 (1,208)	8,490		2,876	18,491	1,360,732
H26		6,985 (1,155)	8,130		2,686	17,801	1,372,140
H27		6,260 (971)	7,294		2,602	16,156	1,381,282
H28		5,709 (991)	6,572		2,319	14,600	1,397,191
H29		5,663 (955)	4,861	2,452	1,240	14,216	1,419,605

※ 大型の（ ）内の値は、トレーラで大型の内数を示す。

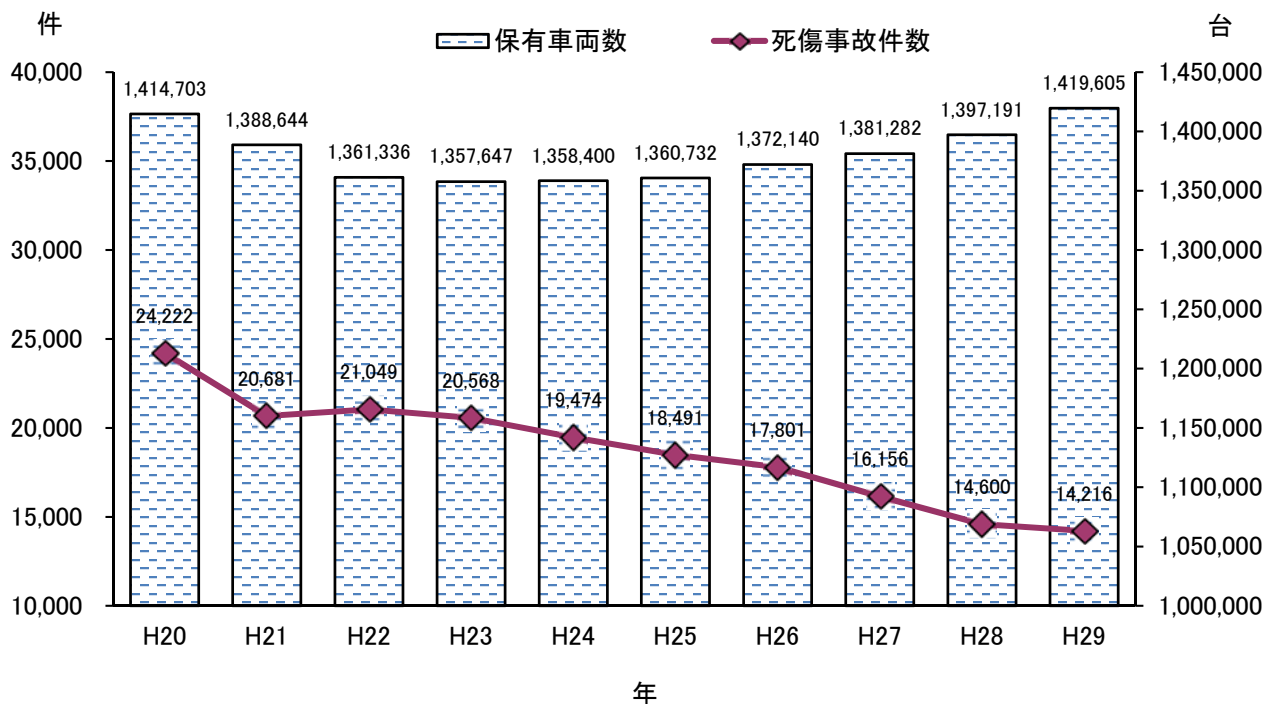


図1 保有車両数と死傷事故件数の推移（平成20-29年）

※ 保有車両数(台)は、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「市区町村別 自動車保有車両数(平成29年度3月末現在)」をもとに全日本トラック協会が集計した値。

2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況

事故類型別の死傷事故件数は、平成20年から平成29年の10年間で、車両相互9,236件、対歩行者591件、車両単独178件と、それぞれ減少しています。

発生件数の多い事故類型は車両相互であり、平成20年以降、90%以上を占める状況が続いています。

表2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成20-29年）

(件)

年	事故類型	車両相互	対歩行者	車両単独	列車	合計	車両相互事故構成率(%)
H20		22,349	1,526	345	2	24,222	92.3
H21		18,972	1,425	284	0	20,681	91.7
H22		19,382	1,373	293	1	21,049	92.1
H23		19,036	1,264	265	3	20,568	92.6
H24		17,966	1,282	226	0	19,474	92.3
H25		17,106	1,138	244	3	18,491	92.5
H26		16,460	1,129	211	1	17,801	92.5
H27		14,903	1,069	183	1	16,156	92.2
H28		13,517	912	170	1	14,600	92.6
H29		13,113	935	167	1	14,216	92.2

件

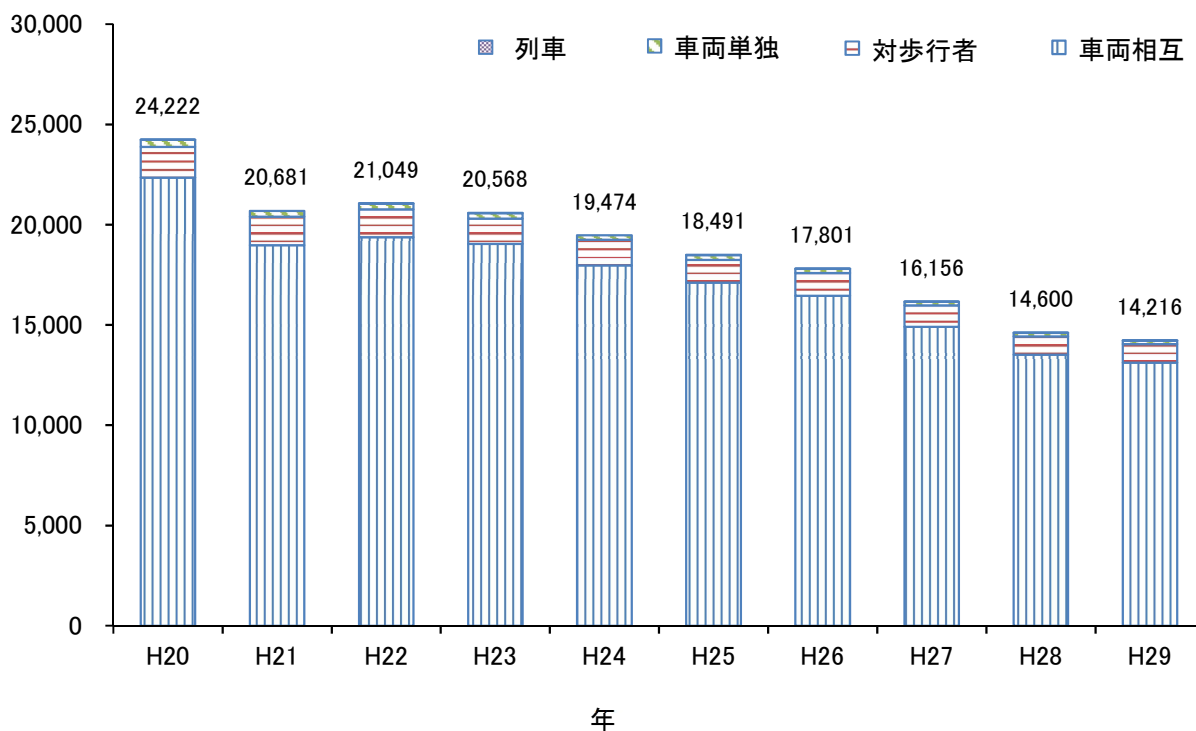


図2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成20-29年）

3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況

平成29年の道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数は、死亡事故では、対歩行者89件（うち高速道路3件、一般道路86件）、車両相互141件（うち高速道路31件、一般道路110件）、車両単独40件（うち高速道路16件、一般道路24件）となっています。

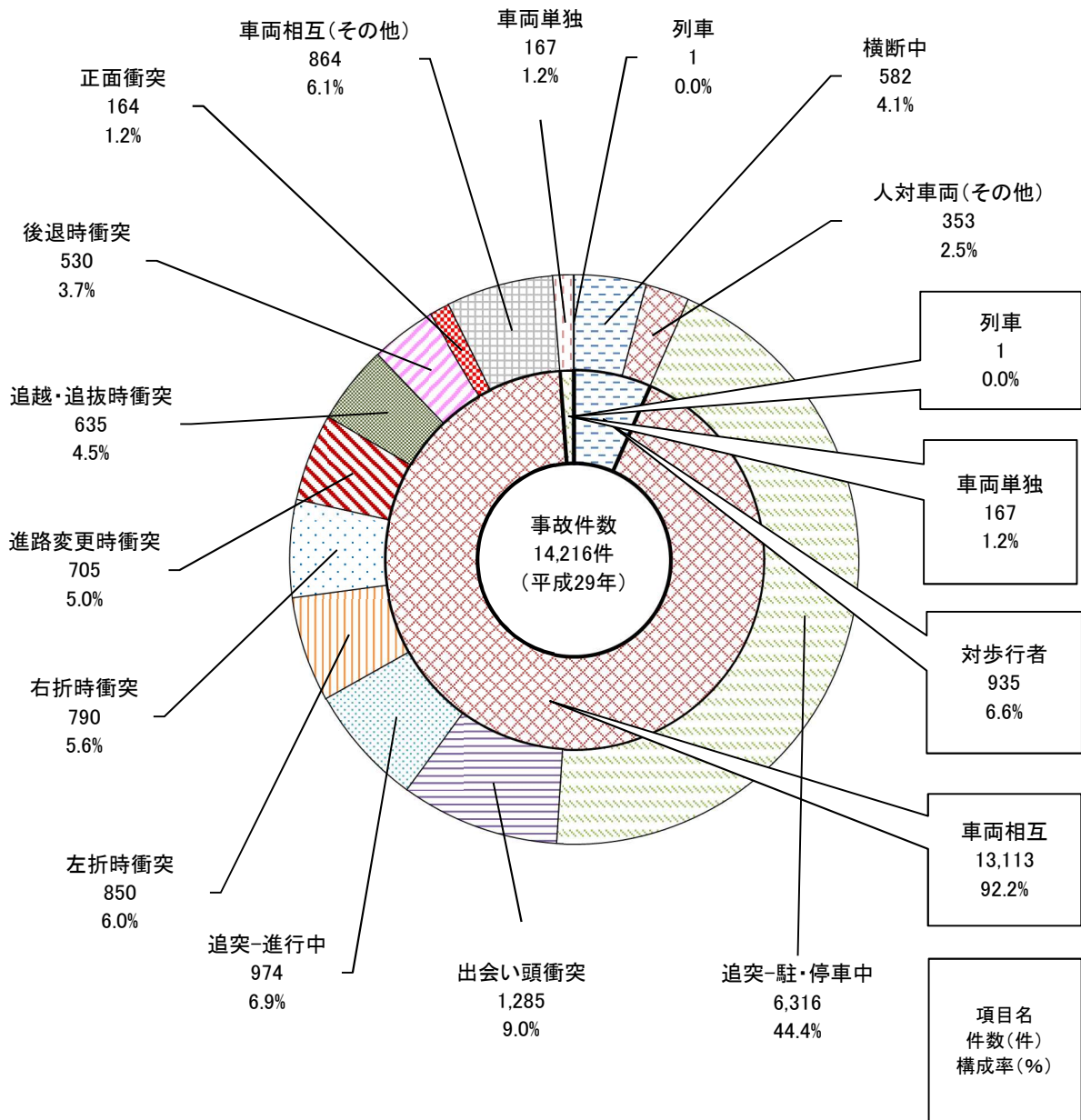
一方、重傷事故では、対歩行者203件（うち高速道路4件、一般道路199件）、車両相互818件（うち高速道路98件、一般道路720件）、車両単独36件（うち高速道路6件、一般道路30件）となっています。

また、軽傷事故では、対歩行者643件（うち高速道路4件、一般道路639件）、車両相互12,154件（うち高速道路1,189件、一般道路10,965件）、車両単独91件（うち高速道路26件、一般道路65件）となっています。

表3-1 道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数（平成29年）

事故類型 道路区分		死亡			重傷			軽傷			合計			
		高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	
対歩行者	対面通行中	0	4	4	1	8	9	0	35	35	1	47	48	
	背面通行中	0	9	9	0	12	12	0	36	36	0	57	57	
	横断中	横断歩道	0	26	26	0	87	87	0	286	286	0	399	399
		横断歩道付近	0	7	7	0	8	8	0	12	12	0	27	27
		横断歩道橋付近	0	1	1	0	0	0	0	4	4	0	5	5
		その他	0	25	25	0	41	41	0	85	85	0	151	151
	路上遊戯中	0	0	0	0	1	1	0	3	3	0	4	4	
	路上作業中	0	2	2	0	8	8	0	21	21	0	31	31	
	路上停止中	1	4	5	0	4	4	0	18	18	1	26	27	
	路上横臥中	0	5	5	1	6	7	0	0	0	1	11	12	
	その他	2	3	5	2	24	26	4	139	143	8	166	174	
小計	3	86	89	4	199	203	4	639	643	11	924	935		
車両相互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	
		その他	1	13	14	0	34	34	2	112	114	3	159	162
	追突	進行中	4	7	11	29	43	72	342	549	891	375	599	974
		駐・停車中	20	9	29	43	122	165	498	5,624	6,122	561	5,755	6,316
	出会い頭衝突	0	22	22	0	155	155	2	1,106	1,108	2	1,283	1,285	
	追越・追抜時衝突	1	6	7	3	60	63	83	482	565	87	548	635	
	進路変更時衝突	0	2	2	11	22	33	173	497	670	184	521	705	
	すれ違い時衝突	0	1	1	0	16	16	1	173	174	1	190	191	
	左折時衝突	0	23	23	0	99	99	4	724	728	4	846	850	
	右折時衝突	0	16	16	0	118	118	2	654	656	2	788	790	
	横断時衝突	0	0	0	0	2	2	0	23	23	0	25	25	
	転回時衝突	0	3	3	0	8	8	0	62	62	0	73	73	
	後退時衝突	0	3	3	0	7	7	17	503	520	17	513	530	
その他	5	5	10	12	34	46	65	454	519	82	493	575		
小計	31	110	141	98	720	818	1,189	10,965	12,154	1,318	11,795	13,113		
車両単独	工作物衝突	電柱	0	1	1	0	4	4	0	4	4	0	9	9
		標識	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	3	3
		分離帯・安全島	2	0	2	1	0	1	7	5	12	10	5	15
		防護柵等	5	4	9	1	9	10	4	11	15	10	24	34
		家屋・塀	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	4	4
		橋梁・橋脚	0	0	0	0	1	1	0	4	4	0	5	5
		その他	0	4	4	1	6	7	1	7	8	2	17	19
	駐車車両（運転者不在中）衝突	8	6	14	2	5	7	10	18	28	20	29	49	
	路外逸脱	転落	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	3	3
		その他	0	0	0	0	2	2	1	1	2	1	3	4
転倒	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
その他	1	4	5	1	1	2	3	11	14	5	16	21		
小計	16	24	40	6	30	36	26	65	91	48	119	167		
列車		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
合計		50	220	270	108	949	1,057	1,219	11,670	12,889	1,377	12,839	14,216	

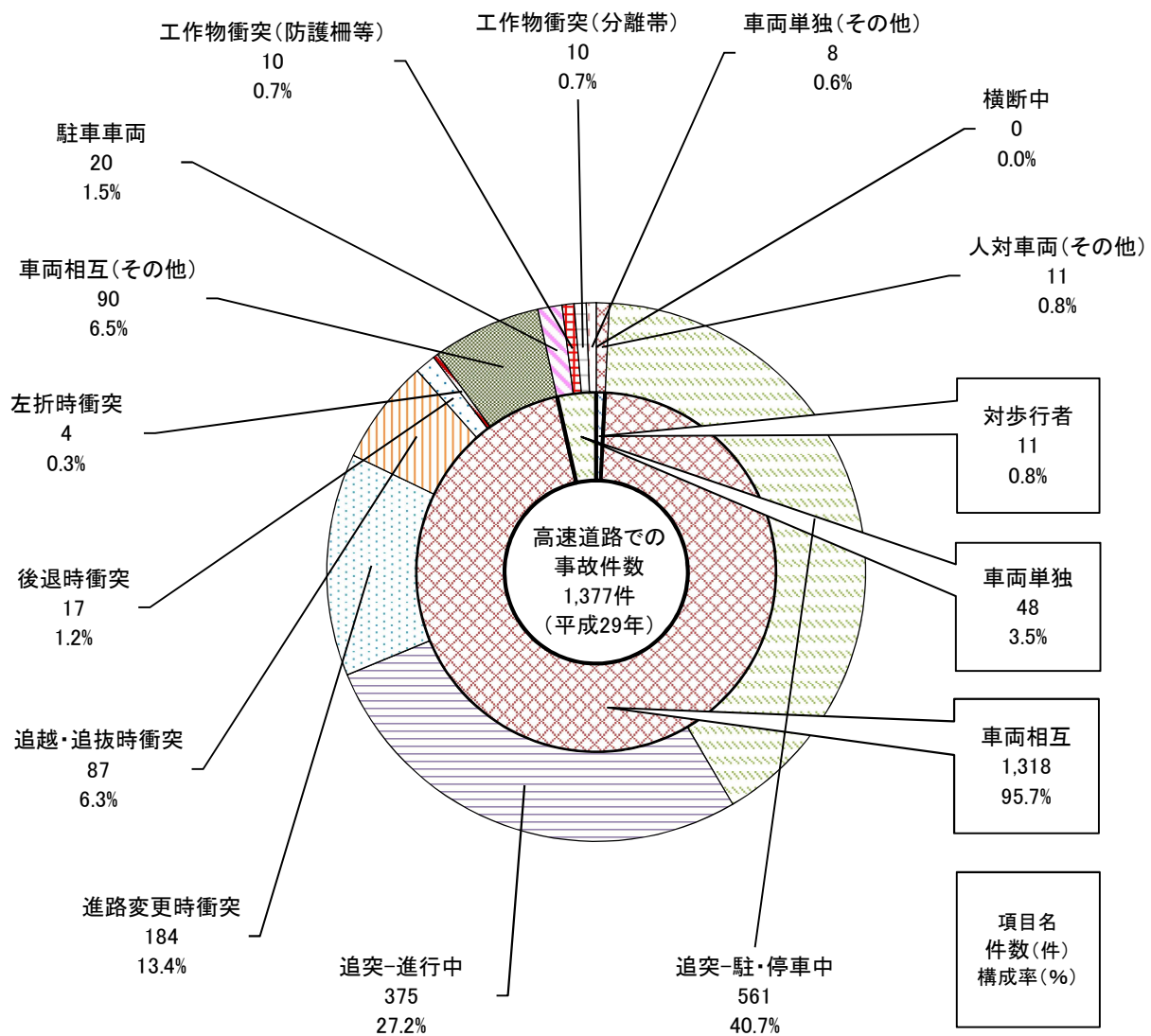
平成 29 年の死傷事故のうち、事故類型詳細区分別で発生件数が多い 10 項目は、追突-駐・停車中 6,316 件 (44.4%)、出会い頭衝突 1,285 件 (9.0%)、追突-進行中 974 件 (6.9%)、左折時衝突 850 件 (6.0%)、右折時衝突 790 件 (5.6%)、進路変更時衝突 705 件 (5.0%)、追越・追抜時衝突 635 件 (4.5%)、横断中 582 件 (4.1%)、後退時衝突 530 件 (3.7%)、車両単独 167 件 (1.2%) で、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて 7,290 件 (51.3%) と、死傷事故全体 (14,216 件) の半分以上を占めています。



※ 事故類型については、発生件数の多い 10 項目及びその他とする。

図 3-1 事故類型別死傷事故件数の構成率 (平成 29 年)

平成 29 年の死傷事故のうち、高速道路における事故類型詳細区別の発生件数が多い 10 項目は、追突-駐停車中 561 件 (40.7%)、追突-進行中 375 件 (27.2%)、進路変更時衝突 184 件 (13.4%)、追越・追抜時衝突 87 件 (6.3%)、駐車車両 20 件 (1.5%)、後退時衝突 17 件 (1.2%)、工作物衝突(防護柵等) 10 件 (0.7%)、工作物衝突(分離帯) 10 件 (0.7%)、左折時衝突 4 件 (0.3%)、横断中 0 件 (0.0%) で、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて 936 件 (67.9%) と、高速道路における死傷事故全体 (1,377 件) の 7 割近くを占めています。



※ 事故類型については、事故件数の多い10項目及びその他とする。

図 3-2 高速道路における事故類型別死傷事故件数の構成率 (平成 29 年)

参 考

(1) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成 20-29 年）

- ・追突による死傷事故件数は、平成 20 年の 13,544 件から平成 29 年には 7,290 件となり、10 年間で 6,254 件（46.2%）減少しています。

表 3-2 主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成 20-29 年）

事故類型	(件)										
	年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
追突		13,544	11,400	12,008	11,853	11,357	9,719	9,292	8,541	7,637	7,290
対歩行者		2,003	1,920	1,864	1,770	1,746	1,138	1,129	1,069	912	935
出会い頭衝突		4,225	3,681	3,548	3,373	3,069	1,843	1,708	1,483	1,392	1,285
左折時衝突		1,740	1,550	1,605	1,523	1,409	1,112	1,038	930	879	850
右折時衝突		1,757	1,550	1,515	1,425	1,283	890	914	837	754	790
出会い頭衝突等		7,722	6,781	6,668	6,321	5,761	3,845	3,660	3,250	3,025	2,925
その他		5,574	4,896	4,912	4,921	4,675	3,789	3,720	3,296	3,026	3,066
事故件数		28,843	24,997	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,216

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・追突の構成率は、平成 20 年の 47.0%から平成 29 年の 51.3%と、10 年間で 4.3 ポイント増加しています。

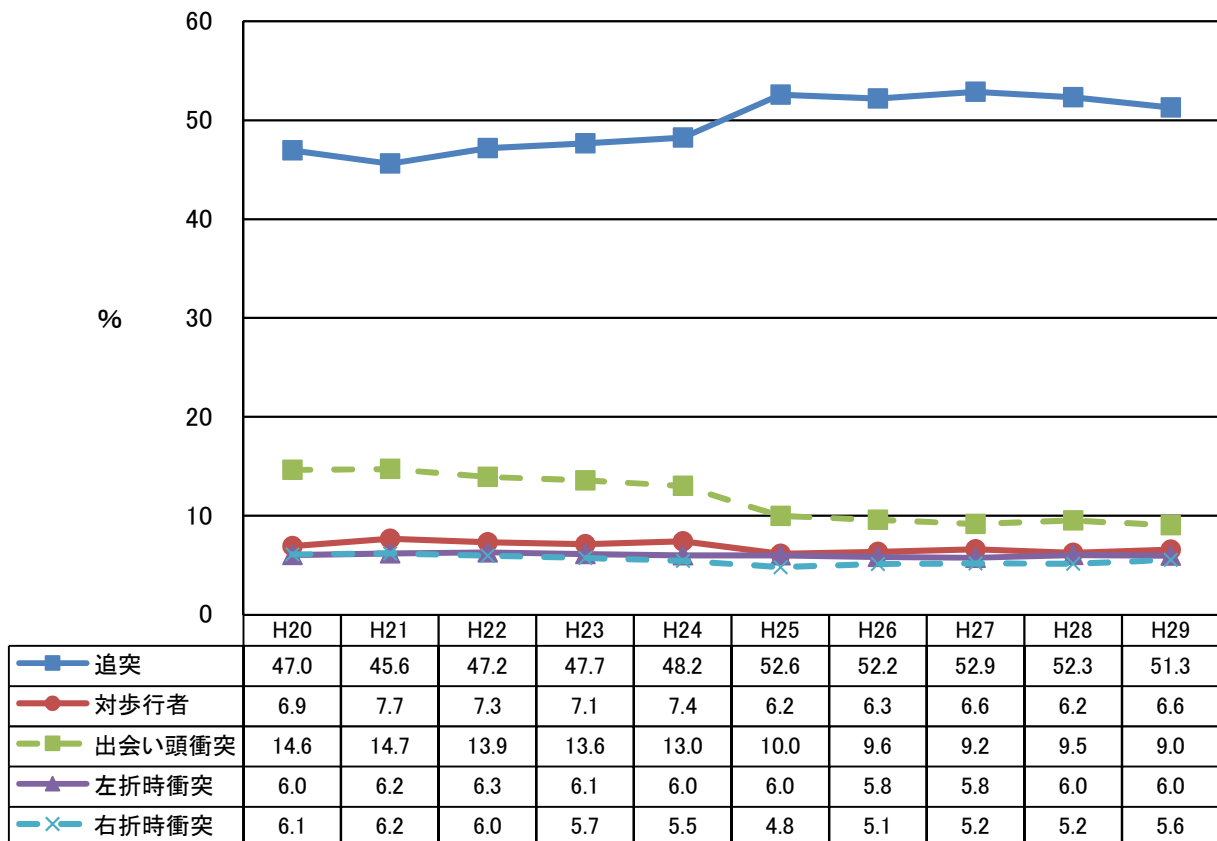


図 3-3 主な事故類型の死傷事故件数構成率の推移（平成 20-29 年）

- ・ 追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成 20-24 年は 60%台でしたが、平成 25 年以降は 70%以上で推移しています。

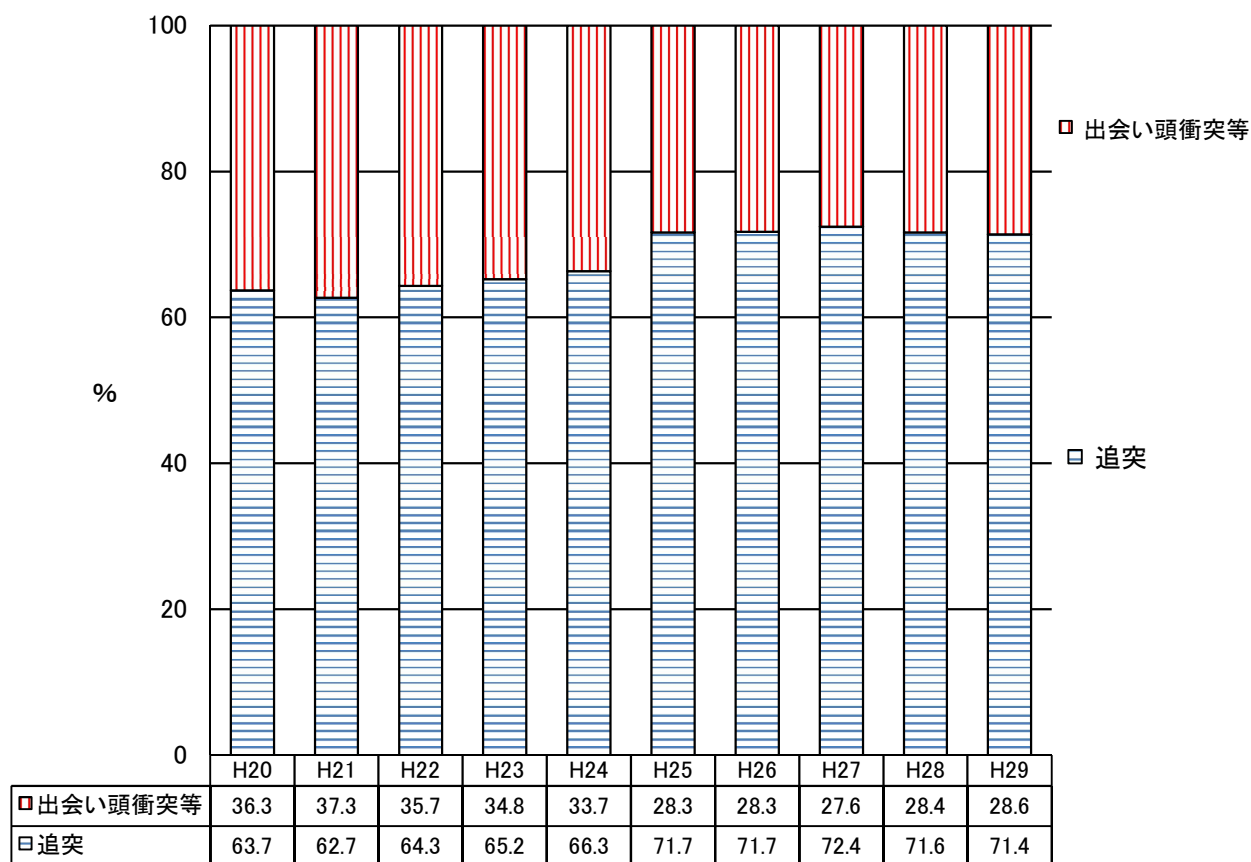


図 3-4 「追突」と「出会い頭衝突等」による死傷事故件数構成率の推移（平成 20-29 年）

(2) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死亡事故件数の推移（平成 20-29 年）

- ・追突による死亡事故件数は、平成 20 年の 81 件から平成 29 年には 40 件となり、10 年間で 41 件（50.6%）減少しています。

表 3-3 主な事故類型別の死亡事故件数の推移（平成 20-29 年）

事故類型		年									
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
追突		81	65	86	85	78	77	58	50	44	40
正面衝突		21	23	27	21	18	9	11	12	16	14
出会い頭衝突	出会い頭衝突	53	49	41	40	29	30	29	29	22	22
	左折時衝突	28	26	30	24	24	23	32	27	22	23
	右折時衝突	26	19	21	14	19	19	17	11	17	16
出会い頭衝突等		107	94	92	78	72	72	78	67	61	61
その他		224	215	199	183	220	191	183	179	137	155
事故件数		433	397	404	367	388	349	330	308	258	270

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・追突の構成率は、平成 20 年の 18.7%から平成 29 年は 14.8%と、10 年間で 3.9 ポイント減少しています。

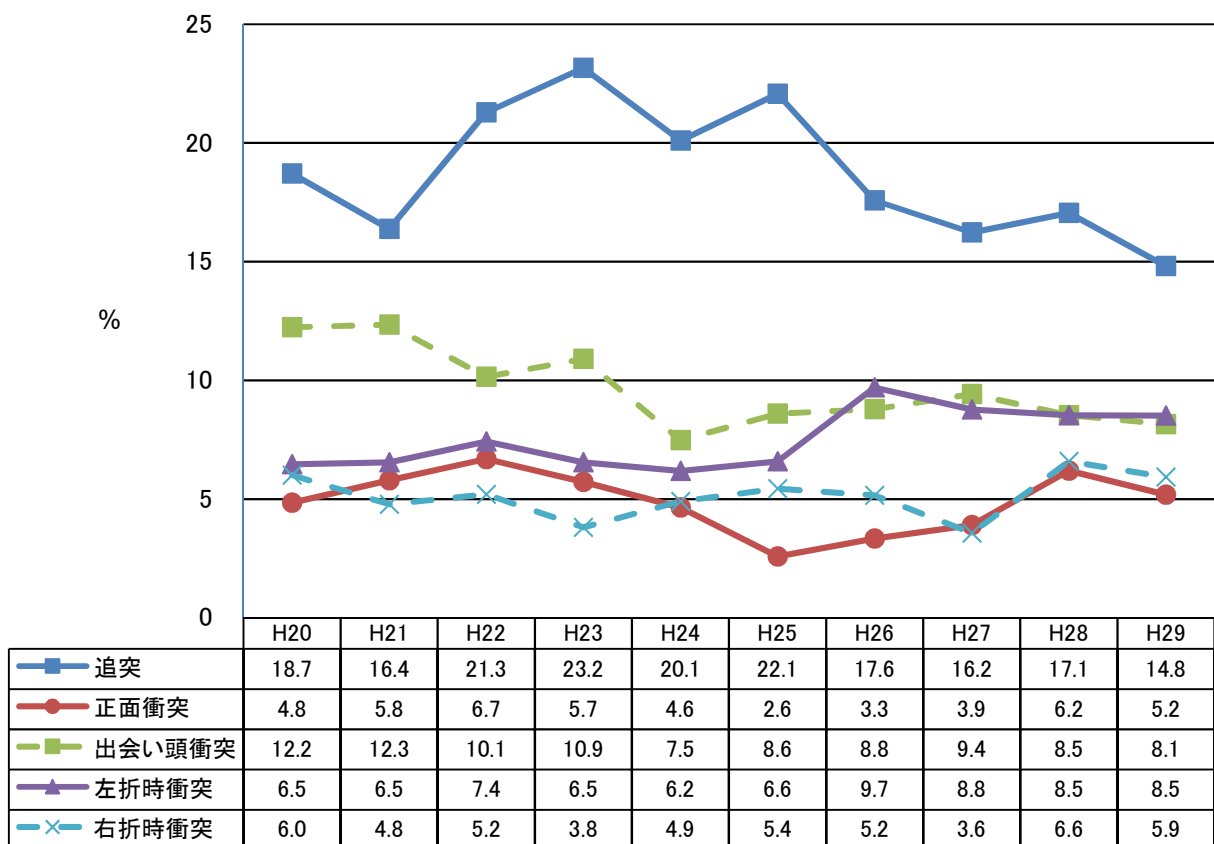


図 3-5 主な事故類型の死亡事故件数構成率の推移（平成 20-29 年）

- ・ 追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成 20 年の 43.1%から平成 29 年は 39.6%と、10 年間で 3.5 ポイント減少しています。

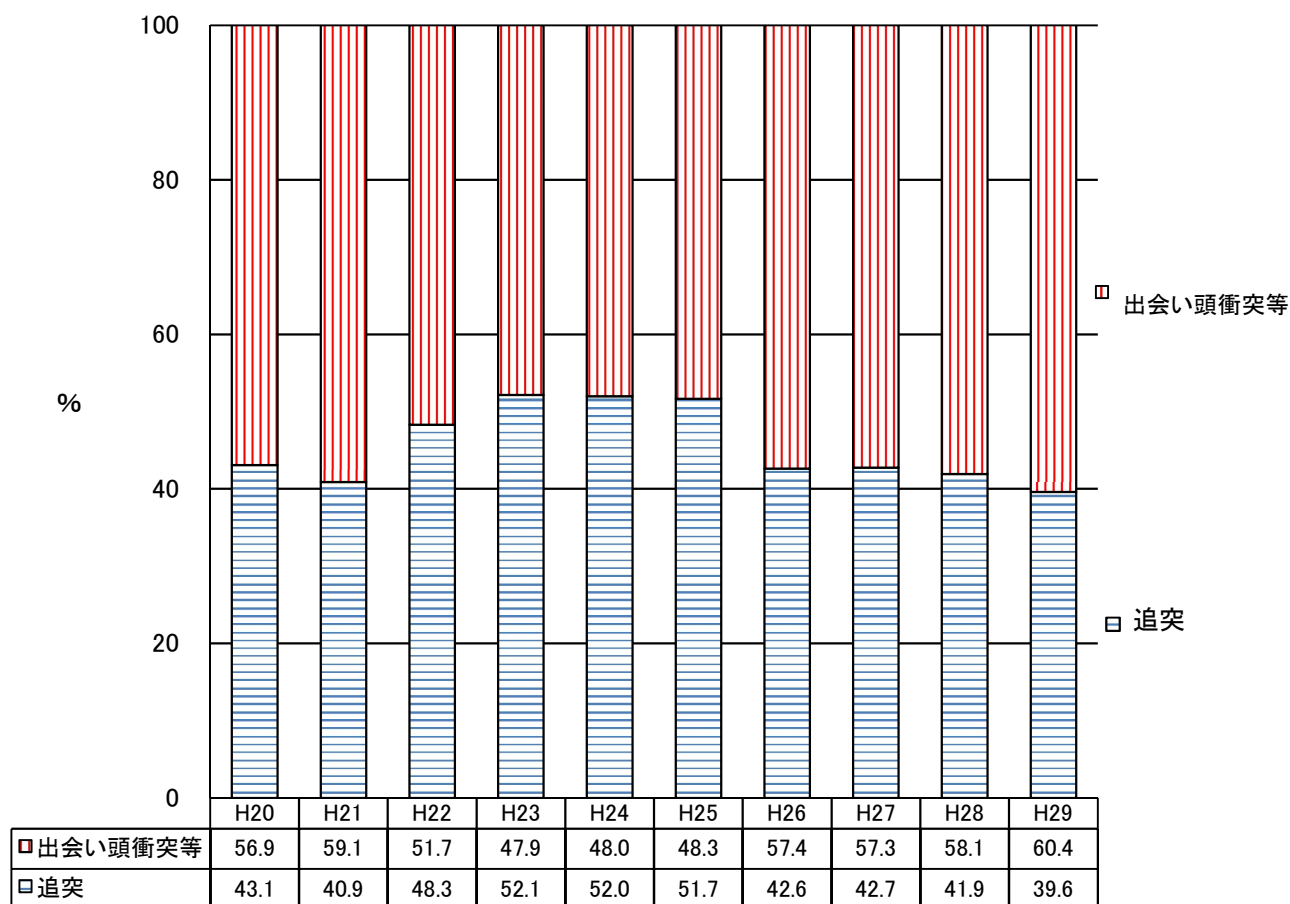


図 3-6 「追突」と「出会い頭衝突等」による死亡事故件数構成率の推移（平成 20-29 年）

(3) 事業用貨物自動車の交差点内における死傷者数の推移（平成20-29年）

- ・交差点内における死傷者数は、平成20年の8,191人から平成29年には4,178人となり、10年間で4,013人（49.0%）減少しています。
- ・そのうち死者は、平成20年の168人から平成29年の100人と、10年間で68人（40.5%）減少しています。また、平成28年に初めて100人を下回りました。
- ・一方、重傷者は、平成20年の694人から平成29年の476人と、10年間で218人（31.4%）減少しています。
- ・また、軽傷者は、平成20年の7,329人から平成29年の3,602人と、10年間で3,727人（50.9%）減少しています。

表3-4 交差点内における死傷者数の推移（平成20-29年）

死傷者数	年									
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
死者	168	149	134	120	124	118	129	111	88	100
重傷者	694	671	669	605	534	468	529	472	452	476
軽傷者	7,329	6,342	6,054	5,844	5,294	4,869	4,661	4,124	3,781	3,602
合計	8,191	7,162	6,857	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321	4,178

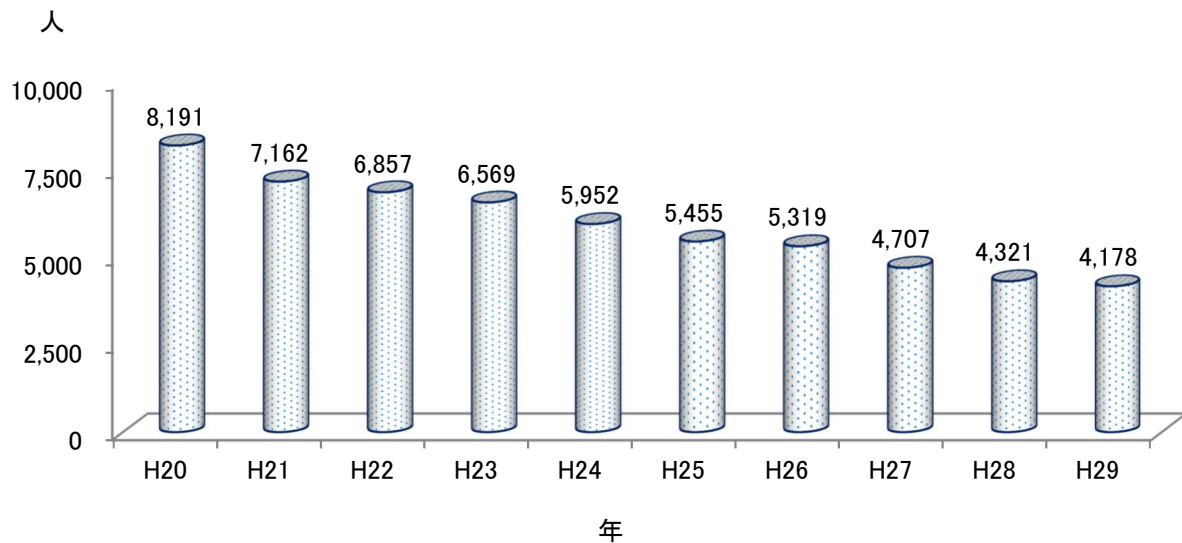


図3-7 交差点内における死傷者数の推移（平成20-29年）

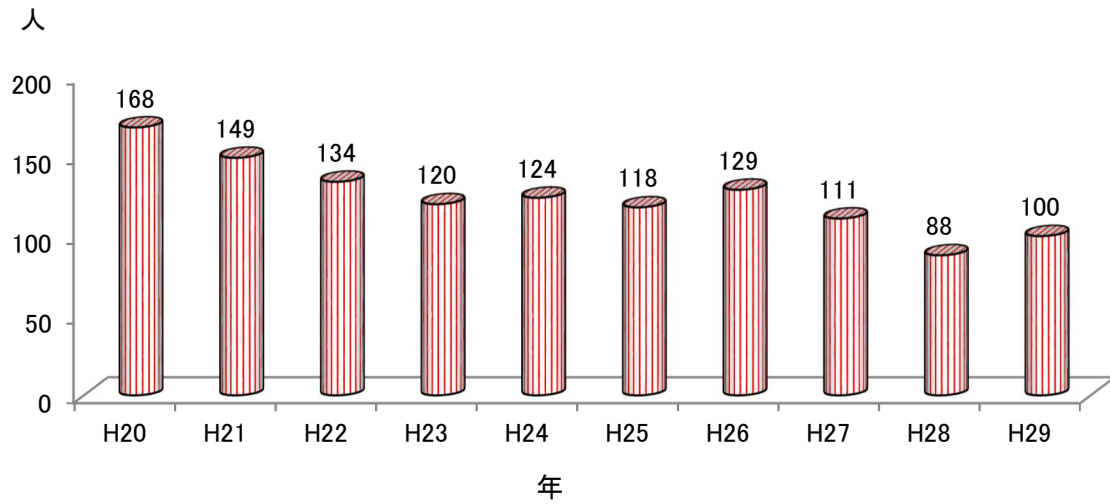


図 3-8 交差点内における死者数の推移（平成 20-29 年）

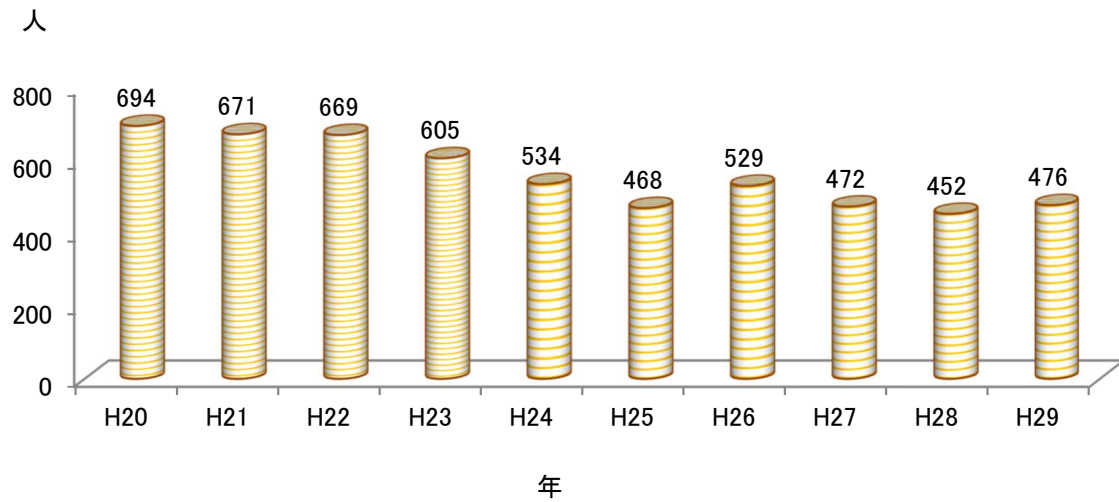


図 3-9 交差点内における重傷者数の推移（平成 20-29 年）

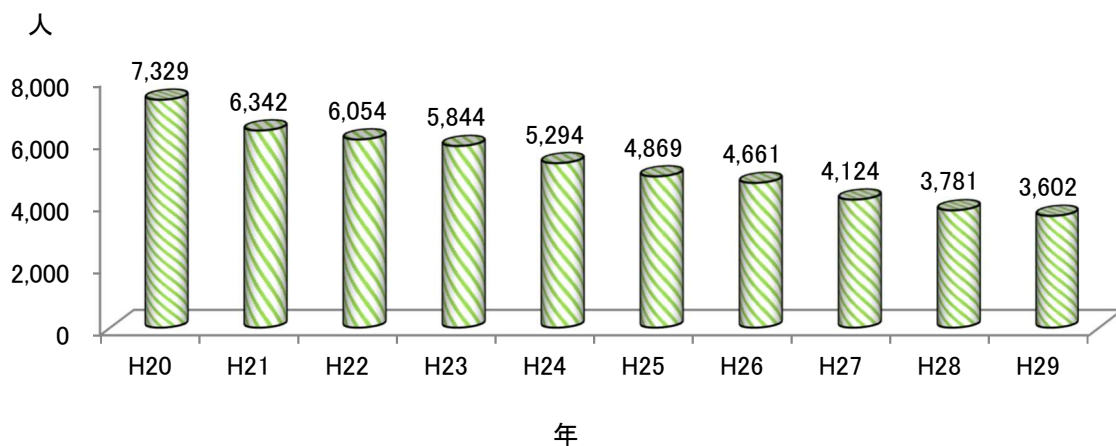


図 3-10 交差点内における軽傷者数の推移（平成 20-29 年）

(4) 事業用貨物自動車の衝突地点別死者割合の推移（平成 20-29 年）

- ・衝突地点別の死者割合（死傷者数に占める死者数の割合）は、平成 20 年から平成 29 年までの 10 年間、全衝突地点では 1.3%から 1.4%の範囲で推移しています。
- ・また、同じ期間、単路での死者割合は 1.0%から 1.3%の範囲で推移している一方、交差点内では 1.8%から 2.3%の前後の範囲で推移しています。
- ・全体衝突地点及び単路と比較すると、交差点内は死者割合が高くなっています。

表 3-5 衝突地点別死者割合の推移（平成 20-29 年）

衝突地点		年									
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
全衝突地点	死傷者数(人)	32,280	27,436	28,299	27,650	26,128	24,963	24,002	21,678	19,435	18,890
	死者数(人)	428	387	402	368	389	364	340	312	270	279
	死者割合(%)	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4
交差点内	死傷者数(人)	8,191	7,162	6,857	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321	4,178
	死者数(人)	168	149	134	120	124	118	129	111	88	100
	死者割合(%)	2.0	2.0	1.9	1.8	2.0	2.1	2.4	2.3	2.0	2.3
単路	死傷者数(人)	22,936	19,307	20,363	20,072	19,034	18,308	17,468	15,893	14,148	13,824
	死者数(人)	251	229	257	237	252	234	202	196	170	168
	死者割合(%)	1.0	1.1	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2

※ 死者割合＝死者数／死傷者数×100（小数点第 2 位切り捨て）

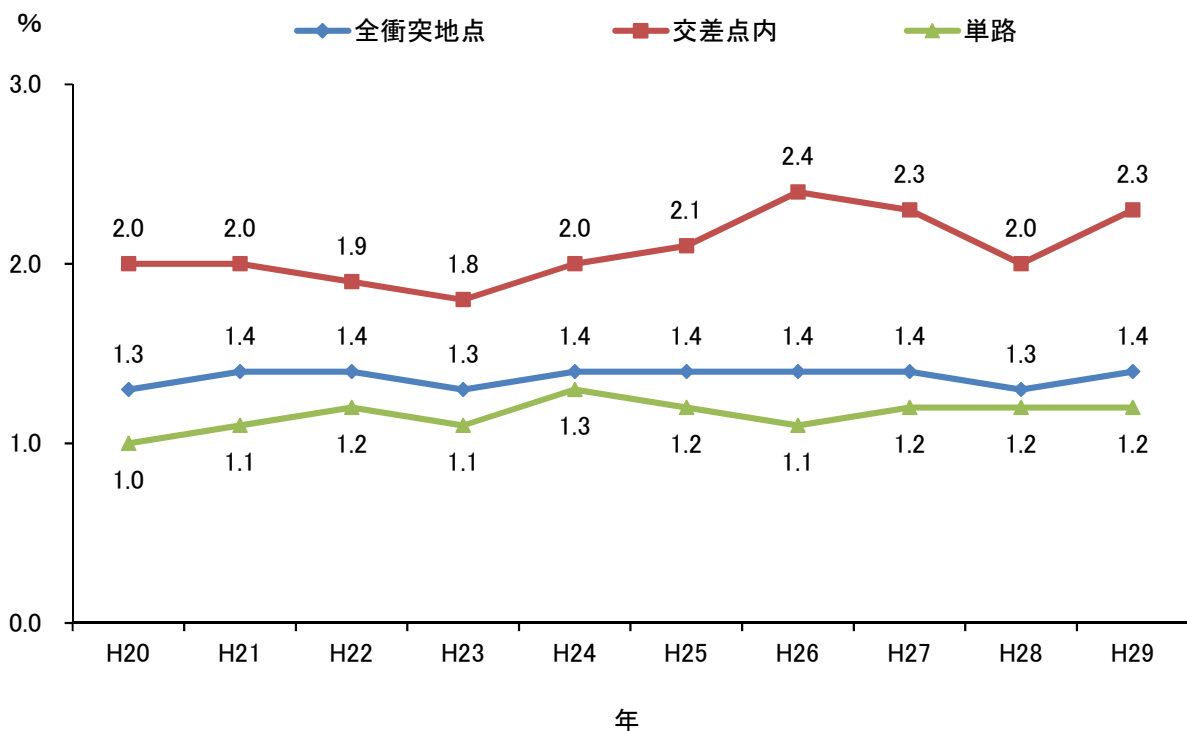


図 3-11 衝突地点別死者割合の推移（平成 20-29 年）

4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数

平成 29 年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数は、45-49 歳 2,443 件 (17.2%)、40-44 歳 2,058 件 (14.5%)、50-54 歳 1,982 件 (13.9%)、55-59 歳 1,552 件 (10.9%)、35-39 歳 1,377 件 (9.7%) となっています。

また、40 歳から 49 歳を合計すると 4,501 件 (31.7%) となり、さらに 40 歳から 59 歳を合計すると 8,035 件 (56.5%) となっています。

表 4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数 (平成 29 年)

運転者年齢		24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
事故類型	追突	404	446	611	712	1,075	1,250	970	790	561	471	0	7,290
	出会い頭衝突	67	56	104	143	156	229	160	146	116	108	0	1,285
	正面衝突	8	9	10	18	23	18	27	13	21	17	0	164
	左折時衝突	21	36	57	76	128	156	121	103	74	78	0	850
	右折時衝突	39	46	62	71	108	132	107	70	86	69	0	790
	その他	110	140	190	251	410	468	416	319	233	197	0	2,734
	対歩行者	20	53	61	92	139	161	150	94	89	76	0	935
	車両単独	3	15	15	14	18	29	31	17	10	15	0	167
	列車	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	合計	672	801	1,110	1,377	2,058	2,443	1,982	1,552	1,190	1,031	0	14,216

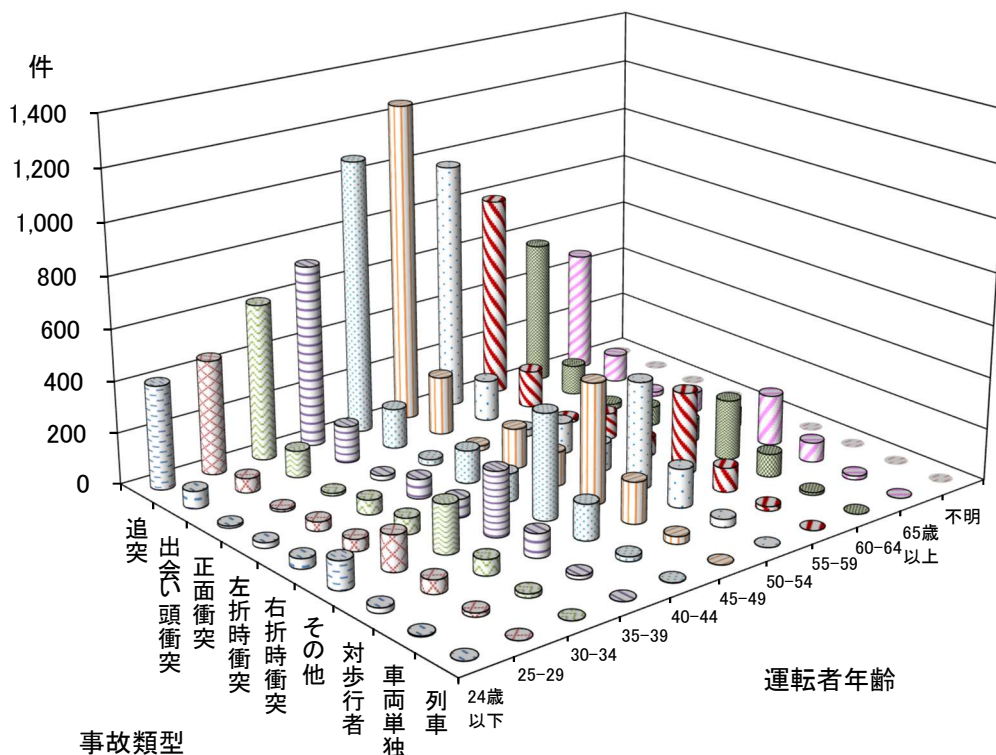


図 4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数 (平成 29 年)

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率

平成 29 年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数の構成率は、車両相互のうち追突では、24 歳以下 60.1%、25-29 歳 55.7% となり、30 歳未満の割合が高くなっています。

一方、車両相互のうち出会い頭衝突は、65 歳以上 10.5%、35-39 歳 10.4%、24 歳以下 10.0% となり、同じく左折時衝突は、65 歳以上 7.6%、同じく右折時衝突は、60-64 歳 7.2% となっています。

また、対歩行者は、50-54 歳 7.6%、60-64 歳 7.5%、65 歳以上 7.4% となり、50 歳以上の割合が高くなっています。

表 4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成 29 年）

運転者年齢												(%)	
事故類型	24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計	
車両相互	追突	60.1	55.7	55.0	51.7	52.2	51.2	48.9	50.9	47.1	45.7	0.0	51.3
	出会い頭衝突	10.0	7.0	9.4	10.4	7.6	9.4	8.1	9.4	9.7	10.5	0.0	9.0
	正面衝突	1.2	1.1	0.9	1.3	1.1	0.7	1.4	0.8	1.8	1.6	0.0	1.2
	左折時衝突	3.1	4.5	5.1	5.5	6.2	6.4	6.1	6.6	6.2	7.6	0.0	6.0
	右折時衝突	5.8	5.7	5.6	5.2	5.2	5.4	5.4	4.5	7.2	6.7	0.0	5.6
	その他	16.4	17.5	17.1	18.2	19.9	19.2	21.0	20.6	19.6	19.1	0.0	19.2
対歩行者	3.0	6.6	5.5	6.7	6.8	6.6	7.6	6.1	7.5	7.4	0.0	6.6	
車両単独	0.4	1.9	1.4	1.0	0.9	1.2	1.6	1.1	0.8	1.5	0.0	1.2	
列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	

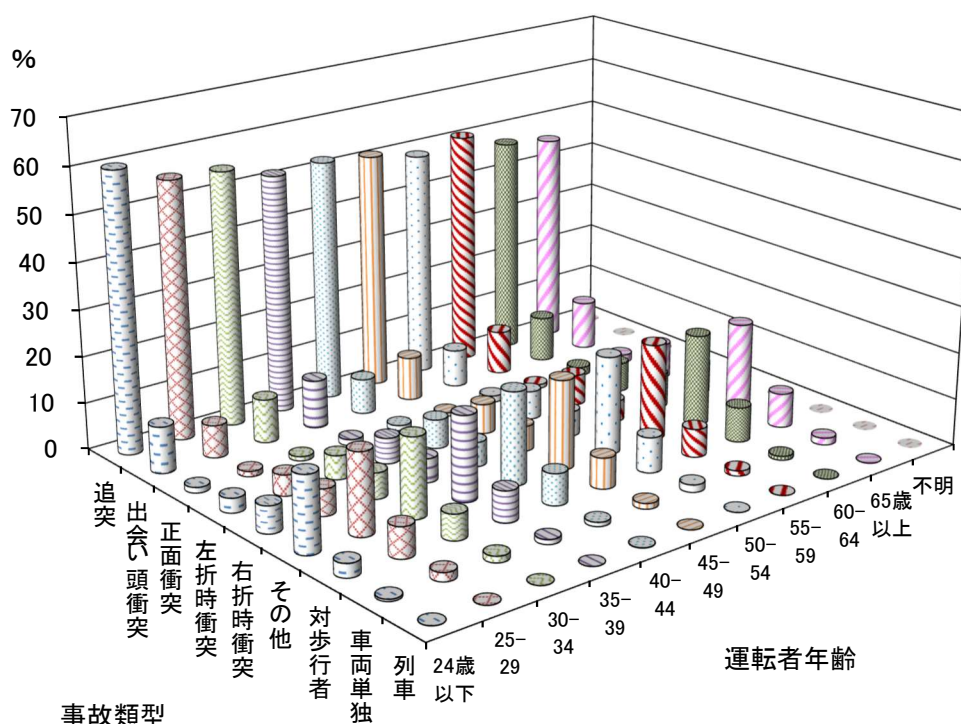


図 4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成 29 年）

(3) 事業用貨物自動車の運転者年齢層別・第1当事者種別の死傷事故件数

平成29年の運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、45-49歳1,124件、40-44歳893件、50-54歳892件となっており、中型では、45-49歳790件、40-44歳738件、準中型では、45-49歳364件、40-44歳294件となり、普通では、24歳以下172件、45-49歳165件となっています。

表4-3 運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成29年）

(件)

第1当事者種別 \ 運転者年齢	24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
大型	76	251	349	580	893	1,124	892	661	472	365	0	5,663
中型	179	252	427	461	738	790	670	536	416	392	0	4,861
準中型	245	190	235	232	294	364	291	247	194	160	0	2,452
普通	172	108	99	104	133	165	129	108	108	114	0	1,240
合計	672	801	1,110	1,377	2,058	2,443	1,982	1,552	1,190	1,031	0	14,216

構成率でみると、大型は、45-49歳で46.0%、50-54歳で45.0%、40-44歳では43.4%と、40代から54歳以下での割合が高く、中型は、30-34歳で38.5%、65歳以上で38.0%、など24歳以下を除いてどの年代でもほぼ半数を占めています。一方、準中型は、24歳以下で36.5%、25-29歳で23.7%、普通は、24歳以下で25.6%、25-29歳で13.5%と、若年層の割合が高くなっています。

このように、第1当事者の種別によって、運転者の年齢層が異なっています。

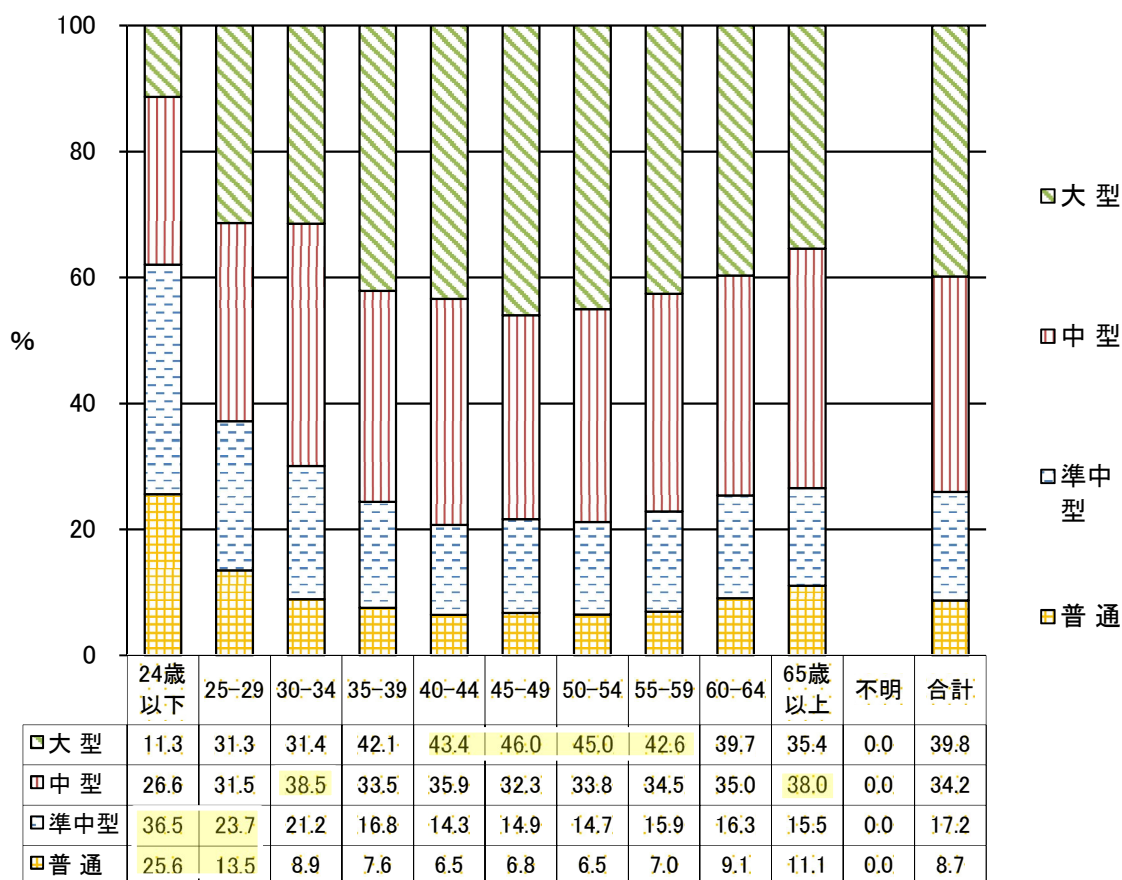


図4-3 運転者年齢別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率（平成29年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成 20-29 年）

- ・運転者の年齢別の死傷事故件数は、平成 20 年から平成 22 年までの 3 年間は 35-39 歳が最も多く、平成 23 年から平成 27 年までの 5 年間は 40-44 歳が、平成 28 年、平成 29 年は 45-49 歳がそれぞれ最も高くなっております。

表 4-4 運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成 20-29 年）

運転者年齢	(件)										
	年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
24歳以下		1,993	1,434	1,242	1,101	930	667	704	715	655	672
25-29歳		2,658	2,217	2,082	1,927	1,670	1,338	1,217	1,024	888	801
30-34歳		3,404	2,793	2,766	2,439	2,193	1,695	1,634	1,394	1,210	1,110
35-39歳		4,300	3,714	3,763	3,524	3,173	2,495	2,132	1,787	1,507	1,377
40-44歳		3,705	3,410	3,733	3,760	3,786	3,201	3,018	2,637	2,286	2,058
45-49歳		2,997	2,742	3,067	3,027	3,134	2,761	2,830	2,607	2,464	2,443
50-54歳		2,765	2,524	2,518	2,713	2,595	2,153	2,086	2,050	1,803	1,982
55-59歳		3,448	2,847	2,644	2,674	2,448	1,818	1,864	1,678	1,542	1,552
60-64歳		2,198	2,116	2,272	2,428	2,269	1,533	1,457	1,349	1,238	1,190
65歳以上		1,375	1,200	1,365	1,272	1,341	830	859	915	1,007	1,031
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		28,843	24,997	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,216

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

・構成率で見ると、特に45-49歳は平成20年の10.4%から平成29年の17.2%と、10年間で6.8ポイント増加しています。

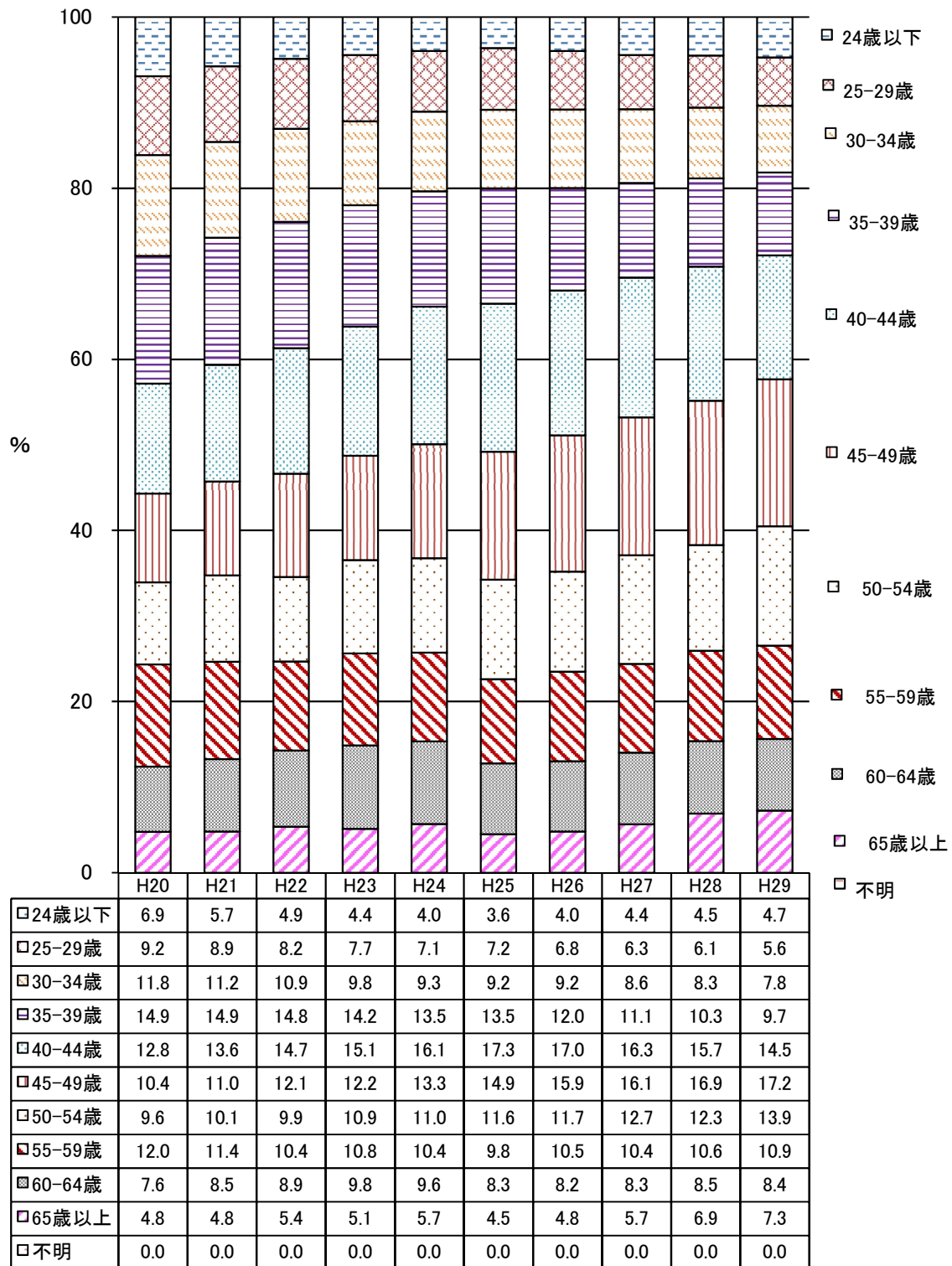


図 4-4 運転者年齢別死傷事故件数構成率の推移（平成 20-29 年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成 20-29 年）

- ・運転者の年齢別の死亡事故件数は、平成 20 年から平成 23 年までの 4 年間は 35-39 歳が最も多く、平成 24 年から平成 29 年までの 6 年間は 40-44 歳及び 45-49 歳が多くなっています。また、65 歳以上は、平成 20 年から平成 29 年まで 14 件から 20 件の間で増減を繰り返しています。

表 4-5 運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成 20-29 年）

運転者年齢	(件)										
	年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
24歳以下		16	16	14	7	12	10	9	8	9	3
25-29歳		37	30	22	27	21	24	16	18	9	11
30-34歳		56	42	45	33	44	29	36	27	19	21
35-39歳		70	70	72	65	49	45	29	36	20	26
40-44歳		54	62	69	57	76	60	65	51	48	35
45-49歳		50	58	53	43	52	63	53	51	43	55
50-54歳		60	36	39	50	40	40	48	40	39	50
55-59歳		51	43	42	40	37	23	28	31	31	34
60-64歳		22	25	32	29	39	36	29	32	20	18
65歳以上		17	15	16	16	18	19	17	14	20	17
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		433	397	404	367	388	349	330	308	258	270

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、40歳未満の年齢層は、平成20年の41.3%から平成29年の22.6%と、10年間で18.7ポイント減少し、逆に40歳以上はその分増加しています。

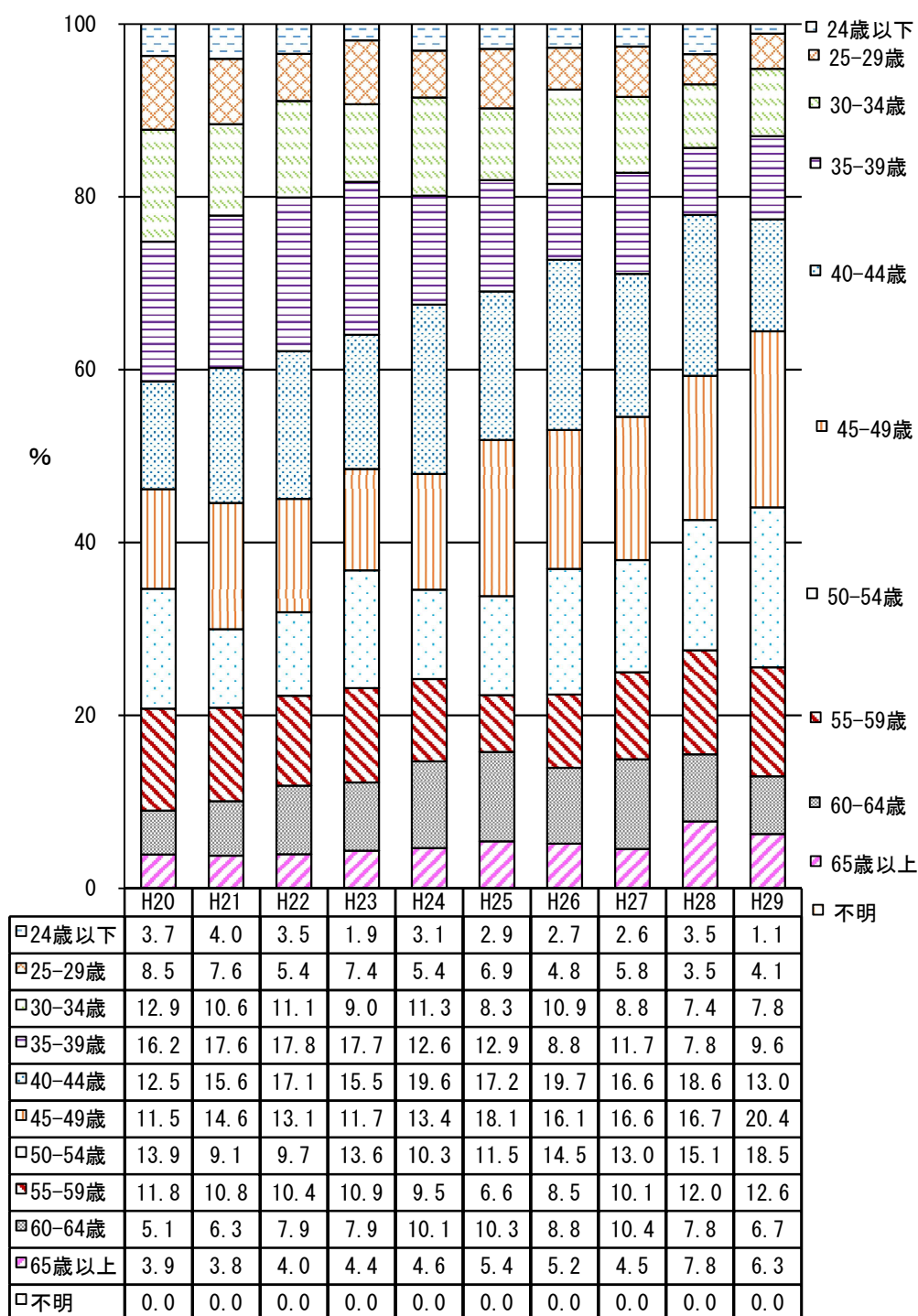


図4-5 運転者年齢別死亡事故件数構成率の推移（平成20-29年）

5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の構成率（平成 29 年）

平成 29 年の時間帯別の死傷事故件数及び構成率は、10-11 時台 2,388 件（16.8%）、8-9 時台 2,310 件（16.2%）、12-13 時台 1,871 件（13.2%）となっています。

一方、死亡事故の件数及び構成率は、4-5 時台 36 件（13.3%）、10-11 時台 36 件（13.3%）、2-3 時台 31 件（11.5%）となっています。

また、死亡事故率（死傷事故件数に占める死亡事故件数の割合）は、2-3 時台で 6.9%、4-5 時台で 4.9%、22-23 時台で 4.2%、0-1 時台で 4.1% であり、死傷事故全体の死亡事故率（1.9%）と比較して、深夜・早朝の割合が高くなっています。

表 5-1 時間帯別死傷事故件数の構成率（平成 29 年）

事故種別 時間(2時間毎)	死傷事故		死亡事故		死亡事故率(%) (A/B)
	件数(B)(件)	構成率(%)	件数(A)(件)	構成率(%)	
0-1	419	2.9	17	6.3	4.1
2-3	451	3.2	31	11.5	6.9
4-5	732	5.1	36	13.3	4.9
6-7	1,511	10.6	28	10.4	1.9
8-9	2,310	16.2	28	10.4	1.2
10-11	2,388	16.8	36	13.3	1.5
12-13	1,871	13.2	14	5.2	0.7
14-15	1,752	12.3	25	9.3	1.4
16-17	1,225	8.6	12	4.4	1.0
18-19	709	5.0	12	4.4	1.7
20-21	465	3.3	15	5.6	3.2
22-23	383	2.7	16	5.9	4.2
合計	14,216	100	270	100	1.9

※ 死亡事故率=死亡事故件数/死傷事故件数×100（小数点第2位切り捨て）

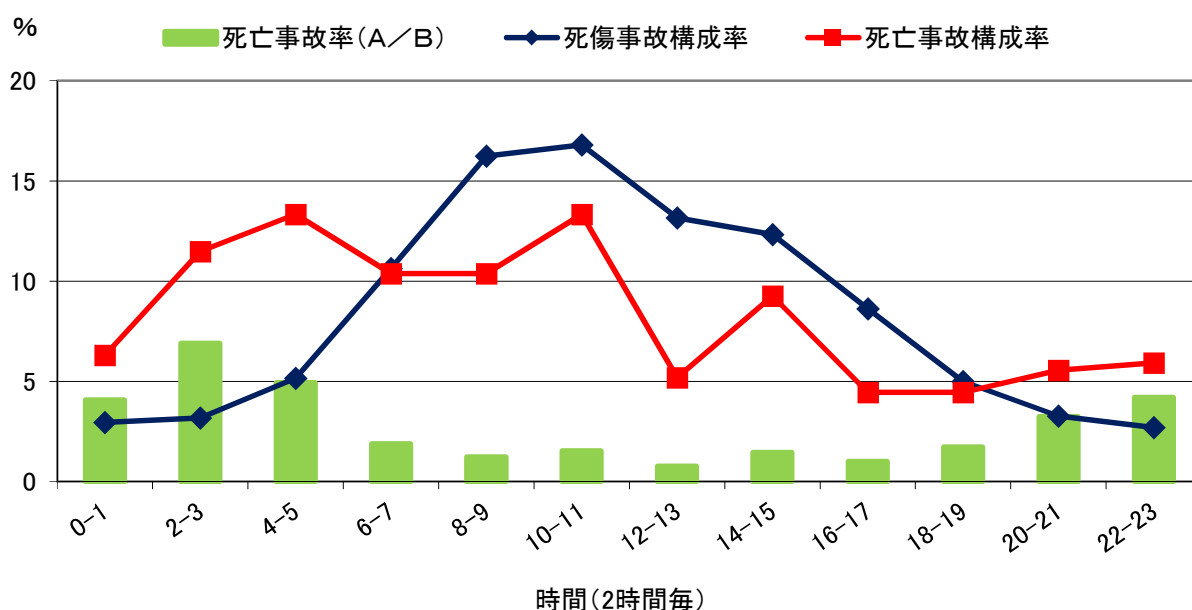


図 5-1 時間帯別死亡事故件数の構成率（平成 29 年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成29年）

平成29年の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10-11時台952件、8-9時台844件、12-13時台707件となっています。

同様に中型では、8-9時台789件、10-11時台768件、12-13時台642件となっています。また、準中型では、8-9時台454件、10-11時台436件、12-13時台356件となっており、普通では、10-11時台232件、8-9時台223件、14-15時台196件となっています。

表5-2 事業用貨物自動車の時間帯別当事者別事故件数（平成29年）

時間(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
第1当事者種別													
大型	212	196	295	586	844	952	707	680	481	283	232	195	5,663
中型	146	167	305	558	789	768	642	562	393	230	162	139	4,861
準中型	40	71	101	254	454	436	356	314	221	121	47	37	2,452
普通	21	17	31	113	223	232	166	196	130	75	24	12	1,240
合計	419	451	732	1,511	2,310	2,388	1,871	1,752	1,225	709	465	383	14,216

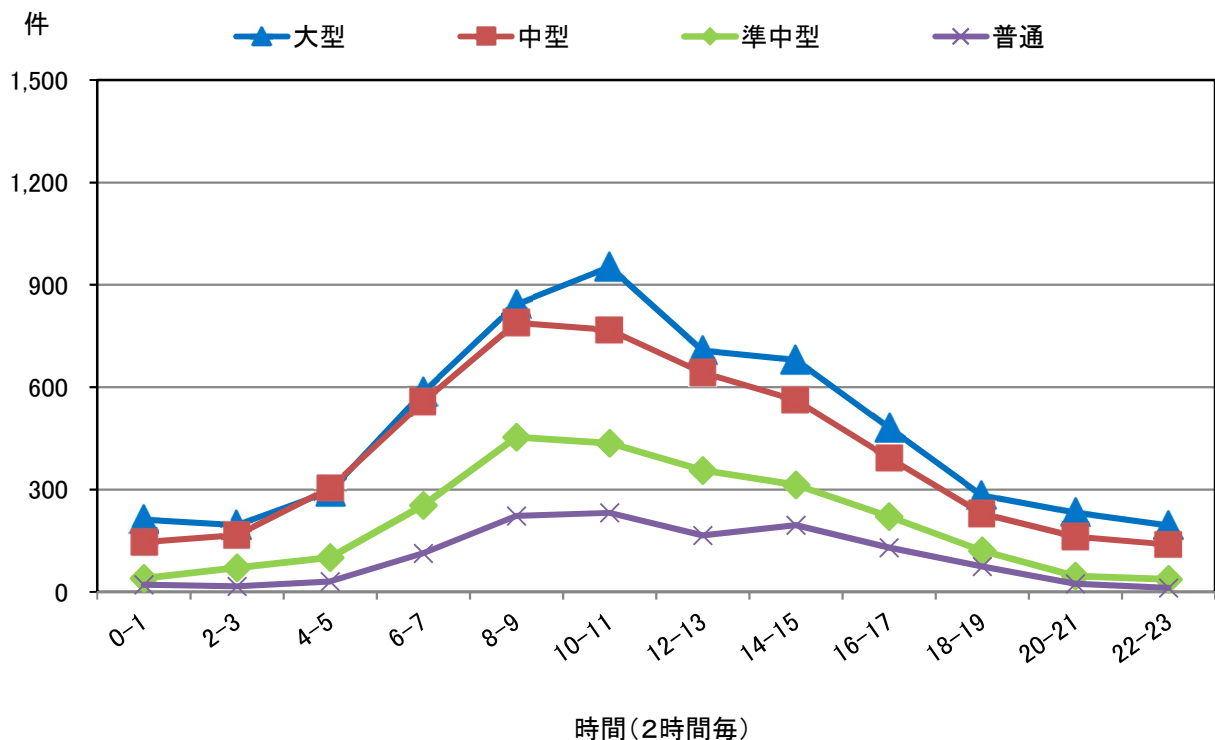


図5-2 時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成29年）

(3) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成29年）

平成29年の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、10-11時台21件、4-5時台及び14-15時台が各16件となっています。

同様に中型では、4-5時台14件、2-3時台13件、6-7時台が12件となっています。また、準中型では、10-11時台が8件、2-3時台及び8-9時台が5件となっており、普通では、4-5時台及び8-9時台並びに10-11時台が各2件となっています。

表5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成29年）

時間(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
大型	10	13	16	14	15	21	12	16	8	9	10	9	153
中型	5	13	14	12	6	5	1	7	2	1	3	7	76
準中型	1	5	4	2	5	8	1	2	2	2	2	0	34
普通	1	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	7
合計	17	31	36	28	28	36	14	25	12	12	15	16	270

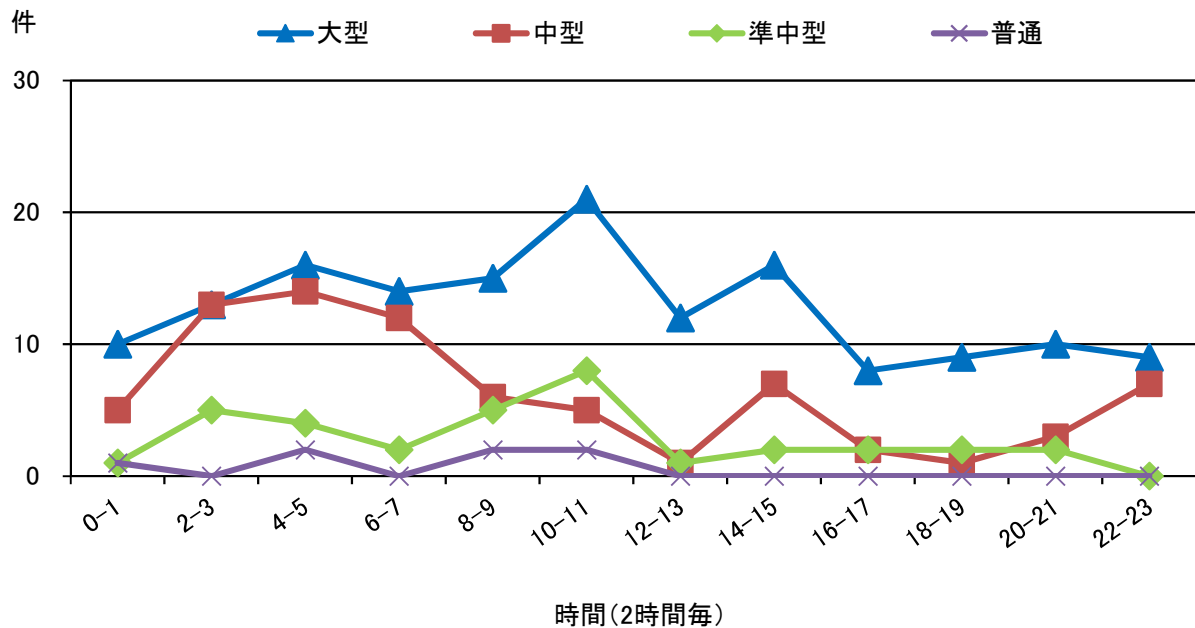


図5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成29年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の推移（平成 20-29 年）

- ・時間帯別の死傷事故件数は、平成 20 年から平成 29 年までの 10 年間、いずれも 10-11 時台が最も多くなっています。
- ・10-11 時台は、平成 20 年の 4,776 件から平成 29 年は 2,388 件となり、10 年間で半減しています。

表 5-4 時間帯別死傷事故件数の推移（平成 20-29 年）

年 時間(2時間毎)	(件)									
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0-1	790	697	701	713	652	560	554	488	436	419
2-3	833	679	827	753	720	657	595	561	416	451
4-5	1,350	1,121	1,132	1,179	1,140	942	893	818	739	732
6-7	2,742	2,283	2,515	2,414	2,392	2,036	1,952	1,770	1,643	1,511
8-9	4,487	3,840	3,808	3,732	3,531	2,848	2,797	2,601	2,395	2,310
10-11	4,776	4,260	4,191	4,060	3,779	3,000	2,882	2,639	2,438	2,388
12-13	3,792	3,363	3,343	3,239	3,036	2,443	2,303	2,049	1,858	1,871
14-15	3,606	3,168	3,121	3,086	2,931	2,265	2,092	1,891	1,730	1,752
16-17	2,784	2,393	2,484	2,398	2,343	1,577	1,647	1,429	1,257	1,225
18-19	1,803	1,580	1,581	1,530	1,459	959	955	923	745	709
20-21	997	906	956	939	880	628	581	536	469	465
22-23	883	707	793	822	676	576	550	451	474	383
合計	28,843	24,997	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,216

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率で見ると、平成20年から平成29年の10年間、10-11時台がほぼ16%台、8-9時台が15-16%台の範囲で、いずれも推移しています。
- ・平成20年から平成29年の10年間では、16-17時台は、平成24年の10.0%をピークに平成29年には、8.6%とおおむね減少傾向にある。
- ・一方で、0-1時台、2-3時台及び22-23時台が、2-3%台で微増減するものの、大きな変動は見られない。

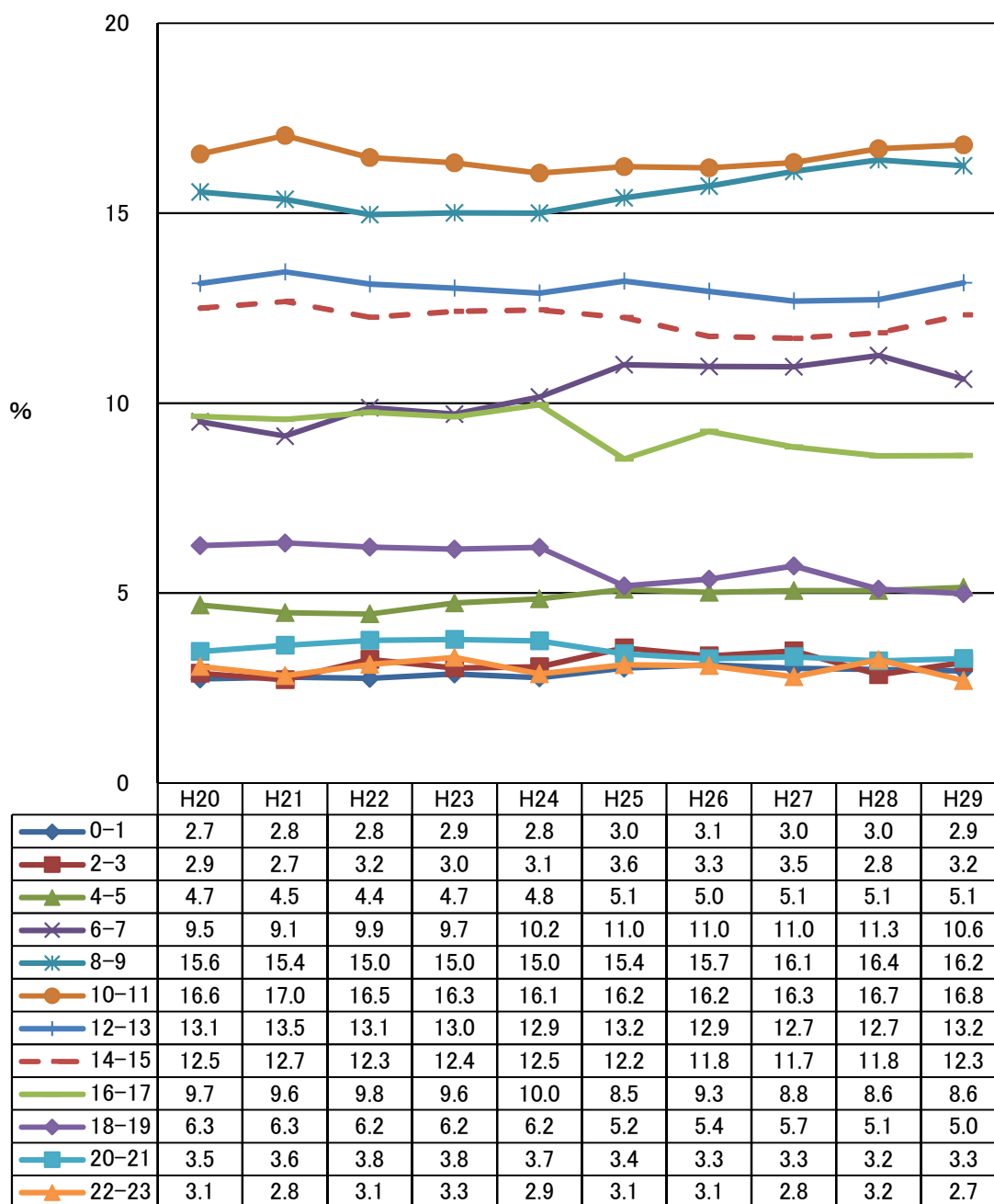


図5-4 時間帯別死傷事故件数構成率の推移（平成20-29年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故件数の推移（平成 20-29 年）

- ・時間帯別の死亡事故件数は、平成 20 年から平成 29 年の 10 年間、いずれも 4-5 時台が最も多くなっています。
- ・4-5 時台は、平成 20 年の 55 件から平成 29 年には 36 件となり、10 年間で 19 件（34.5%）減少しています。

表 5-5 時間帯別死亡事故件数の推移（平成 20-29 年）

（件）

年 時間(2時間毎)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0-1	39	34	37	43	34	42	31	33	24	17
2-3	43	37	46	36	53	42	37	41	26	31
4-5	55	61	54	54	67	52	47	43	44	36
6-7	28	33	32	31	23	21	24	25	19	28
8-9	39	39	31	39	24	23	33	27	26	28
10-11	52	49	45	42	43	30	27	28	37	36
12-13	22	36	30	25	26	28	28	20	14	14
14-15	38	23	31	31	27	22	23	19	16	25
16-17	31	19	26	22	20	20	25	20	14	12
18-19	27	17	10	9	22	19	15	15	11	12
20-21	29	19	25	17	21	21	19	19	10	15
22-23	30	30	37	18	28	29	21	18	17	16
合計	433	397	404	367	388	349	330	308	258	270

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率で見ると、平成20年から平成29年までの10年間をとおして4-5時台の割合が常に最も高く、12%台から17%台の間で推移しています。
- ・平成20年から平成29年までの10年間をとおして、0時-5時の夜中から早朝時間帯の割合が概して高く、逆に16-19時の夕方から夜間時間帯の割合は概して低い傾向にあります。

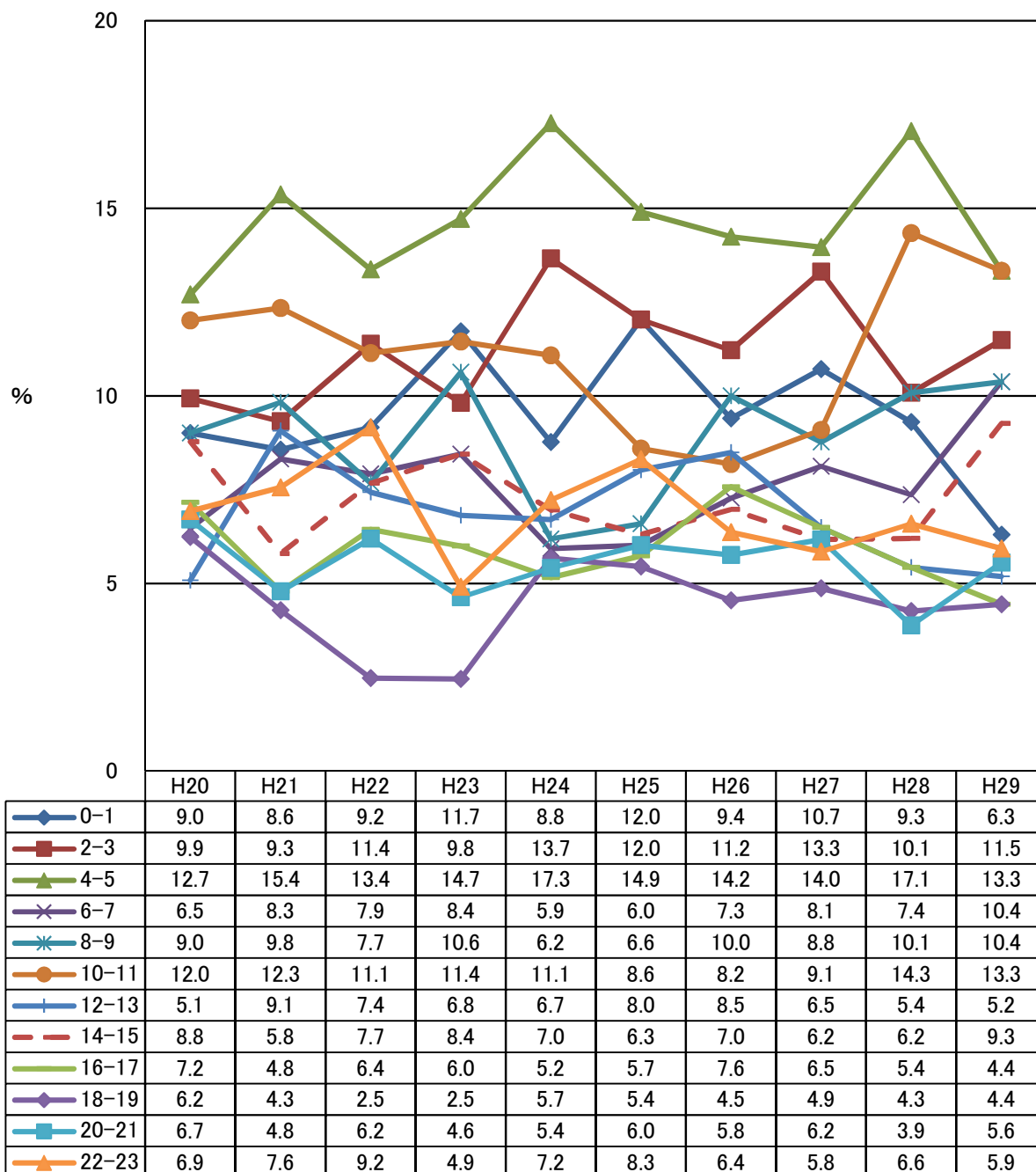


図5-5 時間帯別死亡事故件数構成率の推移（平成20-29年）

6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成29年）

平成29年の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10km/h以下が1,638件、41-50km/h以下が808件、11-20km/h以下が703件となっています。中型では、10km/h以下が1,216件、31-40km/h以下が831件、11-20km/h以下が800件となっており、準中型では、10km/h以下が876件、11-20km/h以下が452件、31-40km/h以下が361件、普通では、10km/h以下が512件、11-20km/h以下が247件、21-30km/h以下が158件となっています。

表 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成29年）

速度 第1当事者種別	(件)																合計
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明		
大型	1,638	703	485	697	808	643	243	234	175	24	2	0	0	0	11	5,663	
中型	1,216	800	558	831	708	410	136	100	45	47	4	0	0	0	6	4,861	
準中型	876	452	348	361	230	119	25	21	6	7	1	0	0	0	6	2,452	
普通	512	247	158	150	104	51	13	2	1	0	1	0	0	0	1	1,240	
合計	4,242	2,202	1,549	2,039	1,850	1,223	417	357	227	78	8	0	0	0	24	14,216	

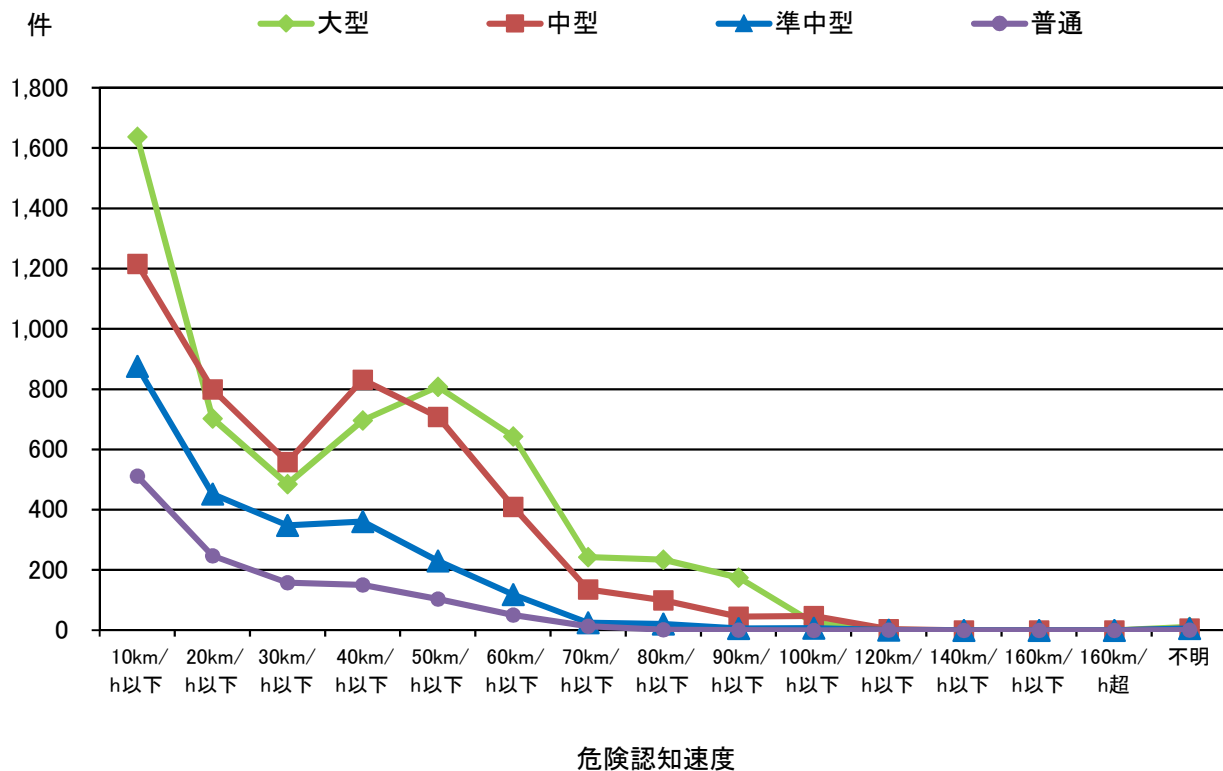


図 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成29年）

(2) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成29年）

平成29年の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、10km/h以下が33件、41-50km/h以下が24件、51-60km/h以下が23件となっています。中型では、51-60km/h以下が19件、11-20km/h以下が14件、41-50km/hが9件となっており、準中型では、10km/h以下及び31-40km/h以下が7件、51-60km/hが6件、普通では、31-40km/h以下が2件、11-20km/h以下、21-30km/h以下、41-50km/h以下、51-60km/h以下、61-70km/h以下が各1件となっています。

表6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成29年）

危険認知速度 第1当事者種別	(件)															
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	合計
大型	33	18	4	4	24	23	14	15	14	2	1	0	0	0	1	153
中型	7	14	6	5	9	19	5	6	1	3	0	0	0	0	1	76
準中型	7	2	3	7	4	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	34
普通	0	1	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
合計	47	35	14	18	38	49	23	23	15	5	1	0	0	0	2	270

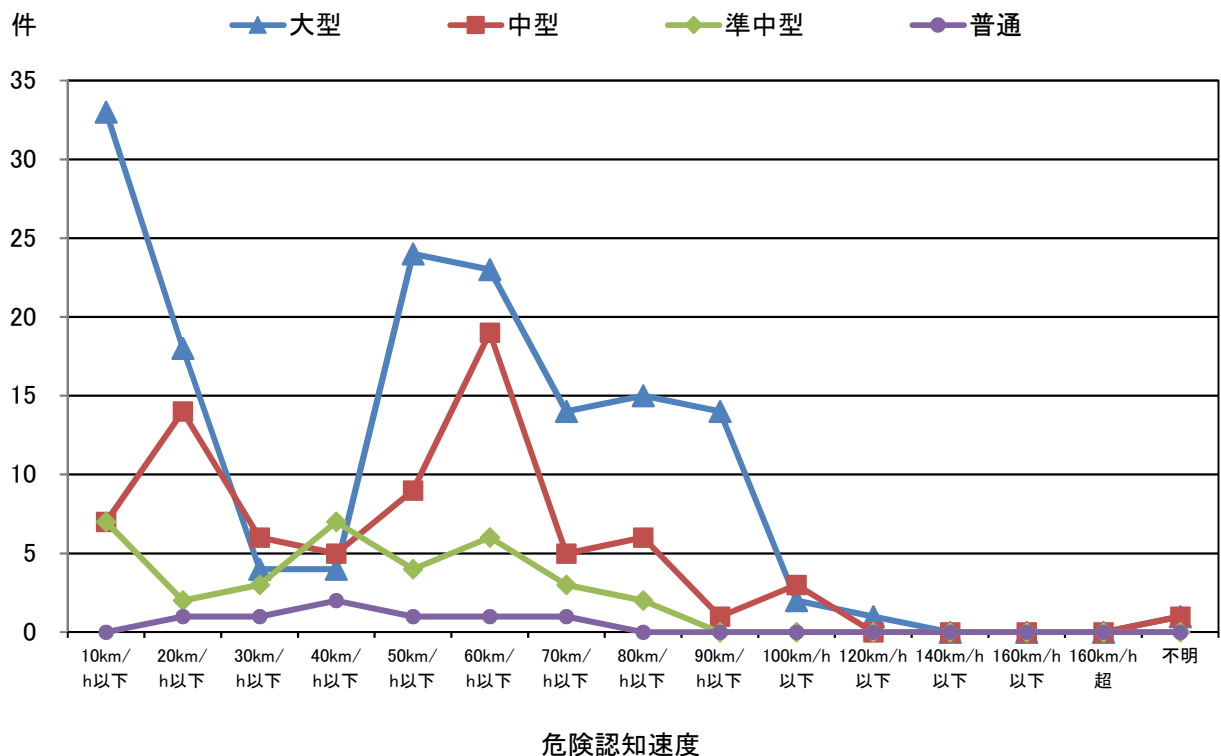


図6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成29年）

(3) 事業用貨物自動車の危険認知速度別の死亡事故率（平成 29 年）

平成 29 年の危険認知速度別の死亡事故率は、100km/h超で 12.5%、81-90km/h以下が 6.6%、71-80km/h以下及び 91-100km/h以下が 6.4%であり、高速度における死亡率が高くなっています。

表 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（平成 29 年）

事故種別	速度												不明	合計
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	100km/h超			
死傷事故件数(件)	4,242	2,202	1,549	2,039	1,850	1,223	417	357	227	78	8	24	14,216	
死亡事故件数(件)	47	35	14	18	38	49	23	23	15	5	1	2	270	
死亡事故率(%)	1.1	1.6	0.9	0.9	2.1	4.0	5.5	6.4	6.6	6.4	12.5	8.3	1.9	

※ 死亡事故率=死亡事故件数/事故件数×100

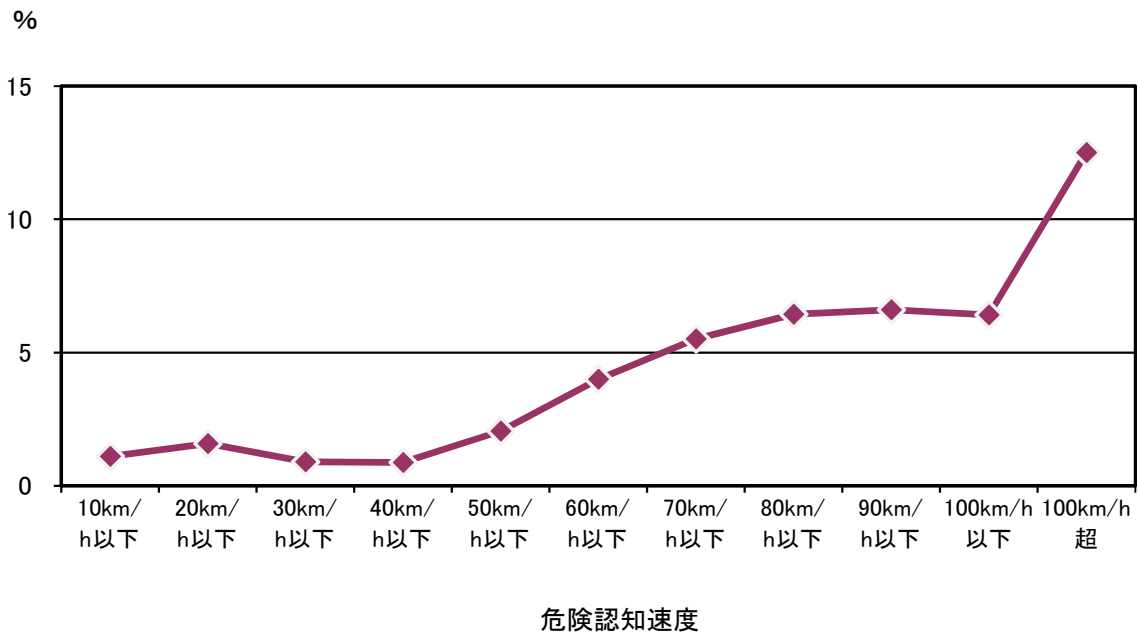


図 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（平成 29 年）

7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（平成 29 年）

平成 29 年の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数は、10-11 時台の 10km/h以下が 304 件、10-11 時台の 31-40km/h以下が 269 件、8-9 時台の 10km/h以下が 257 件と比較的多い状況になっています。

表 7-1 時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（平成 29 年）

時間（2時間毎） 危険認知速度	(件)												
	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	17	14	27	180	257	304	209	216	158	72	35	12	1,501
20km/h以下	9	19	20	100	148	175	121	102	71	44	9	12	830
30km/h以下	10	22	37	122	167	188	133	136	77	32	19	5	948
40km/h以下	26	43	71	141	207	269	212	152	118	55	32	32	1,358
50km/h以下	41	42	64	115	190	190	186	156	103	50	47	42	1,226
60km/h以下	30	36	40	72	98	131	107	82	60	35	35	38	764
70km/h以下	17	13	16	22	24	33	23	37	18	15	12	15	245
80km/h以下	23	14	20	19	11	22	25	21	16	10	17	16	214
90km/h以下	22	28	13	5	2	7	8	15	11	6	6	8	131
100km/h以下	6	4	7	6	2	5	6	4	5	2	4	9	60
120km/h以下	1	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	7
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	1	0	0	3	0	1	1	0	0	0	6
合計	202	236	318	783	1,107	1,327	1,030	922	639	321	216	189	7,290

構成率で見ると、20-5 時台では 41-50km/h以下の割合が高く、14-17 時台では 10km/h以下の割合が高くなっています。

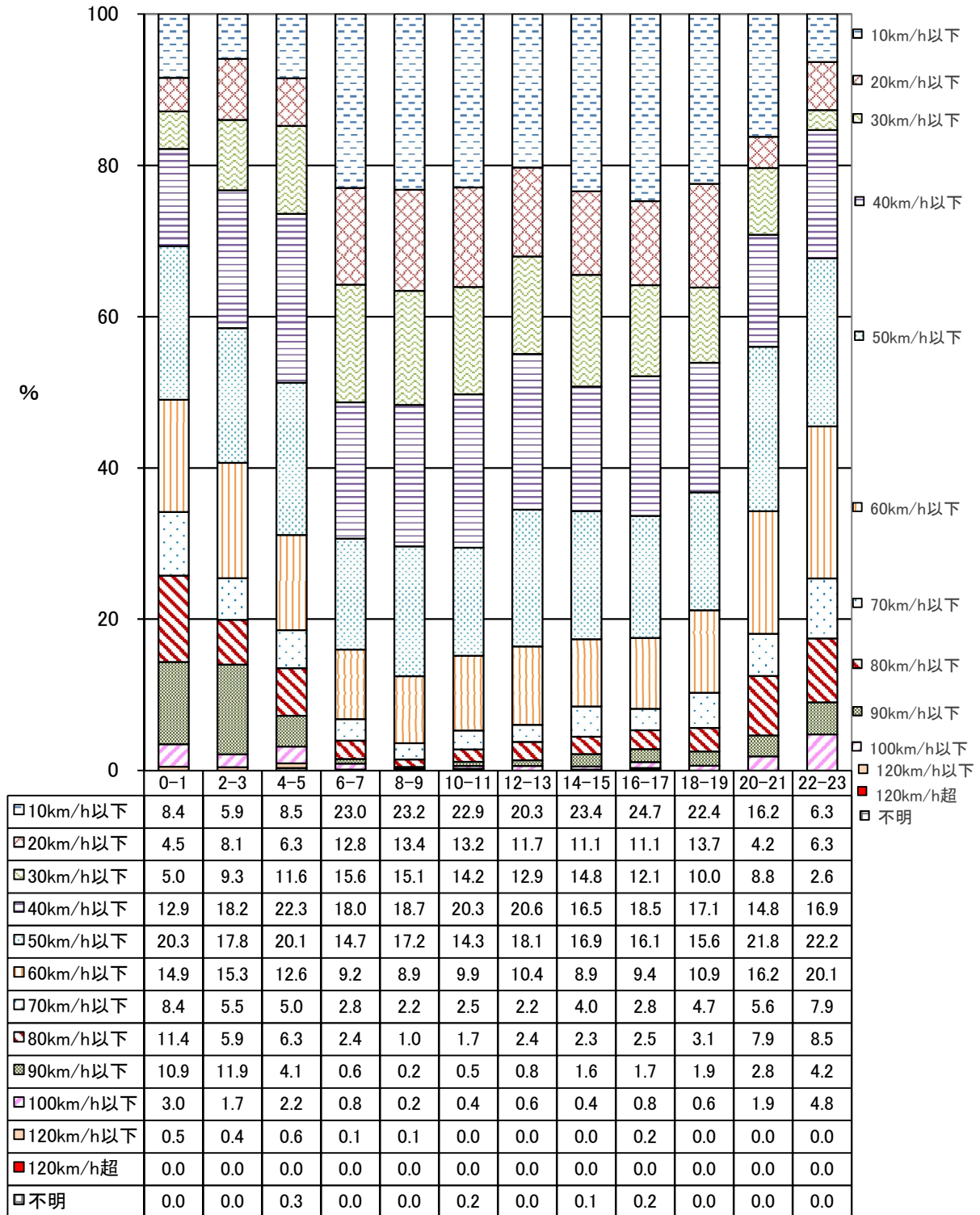


図 7-1 時間帯別・危険認知速度別追突死傷事故件数の構成率（平成 29 年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成 29 年）

平成 29 年の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数は、6-7 時台・71-80km/h以下の 3 件が最も多い状況になっています。

表 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成 29 年）

(件)

時間帯(2時間毎) 危険認知速度	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40km/h以下	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
50km/h以下	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	4
60km/h以下	0	2	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	7
70km/h以下	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	4
80km/h以下	1	2	0	3	1	2	2	1	0	0	0	2	14
90km/h以下	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	4
100km/h以下	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
合計	2	6	5	5	5	4	5	2	0	3	1	2	40

構成率でみると、4-5 時台では 41-70km/h以下（計 60%）に、8-9 時台では 51-80km/h以下（計 80%）に、12-13 時台では 41-80km/h以下（計 100%）に、14-15 時台では 71-90km/h以下（計 100%）に、20-21 時台では 41-50km/h以下（計 100%）に、22-23 時台では 71-80km/h以下（計 100%）に集中しています。

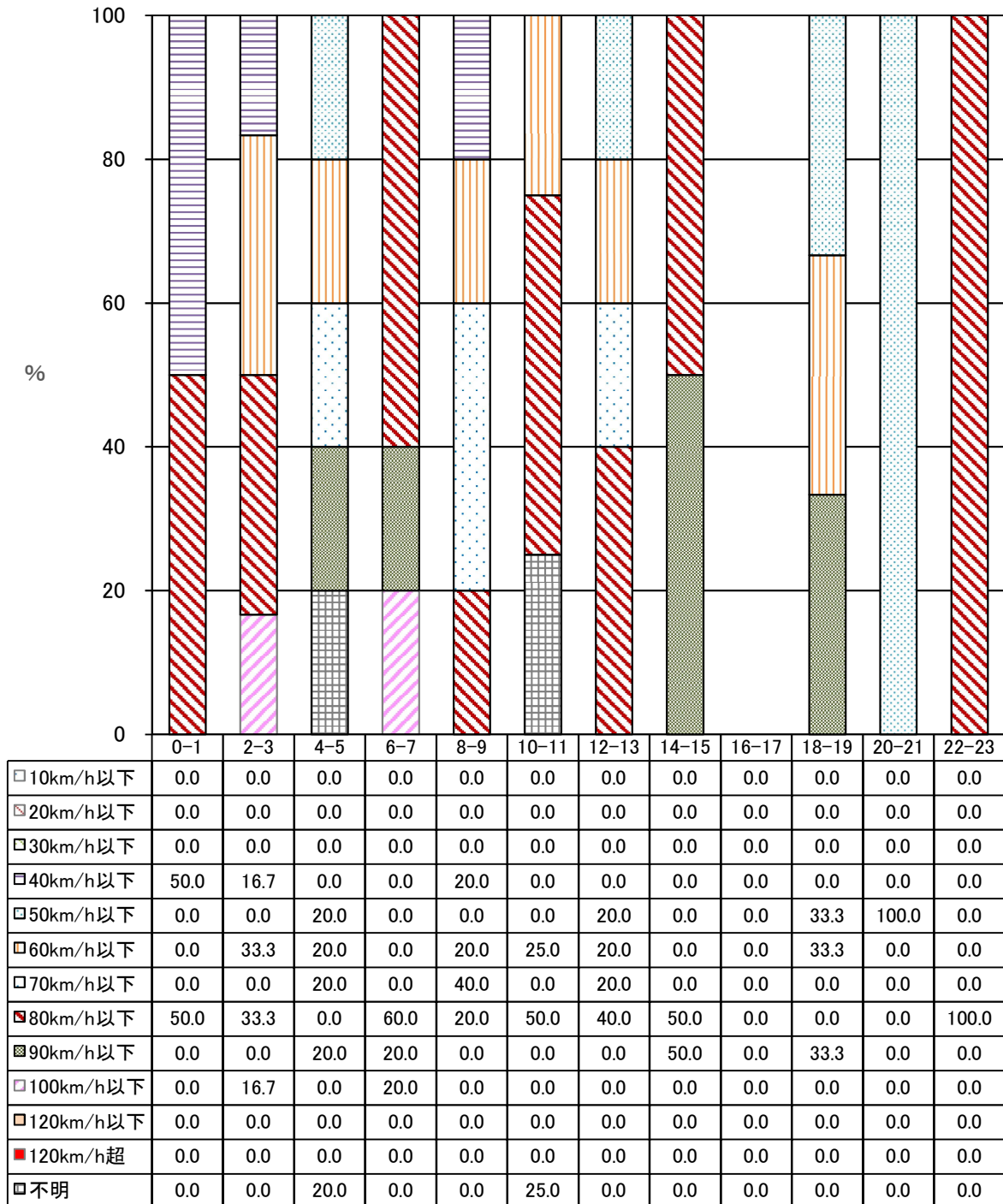


図 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成 29 年）

8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況

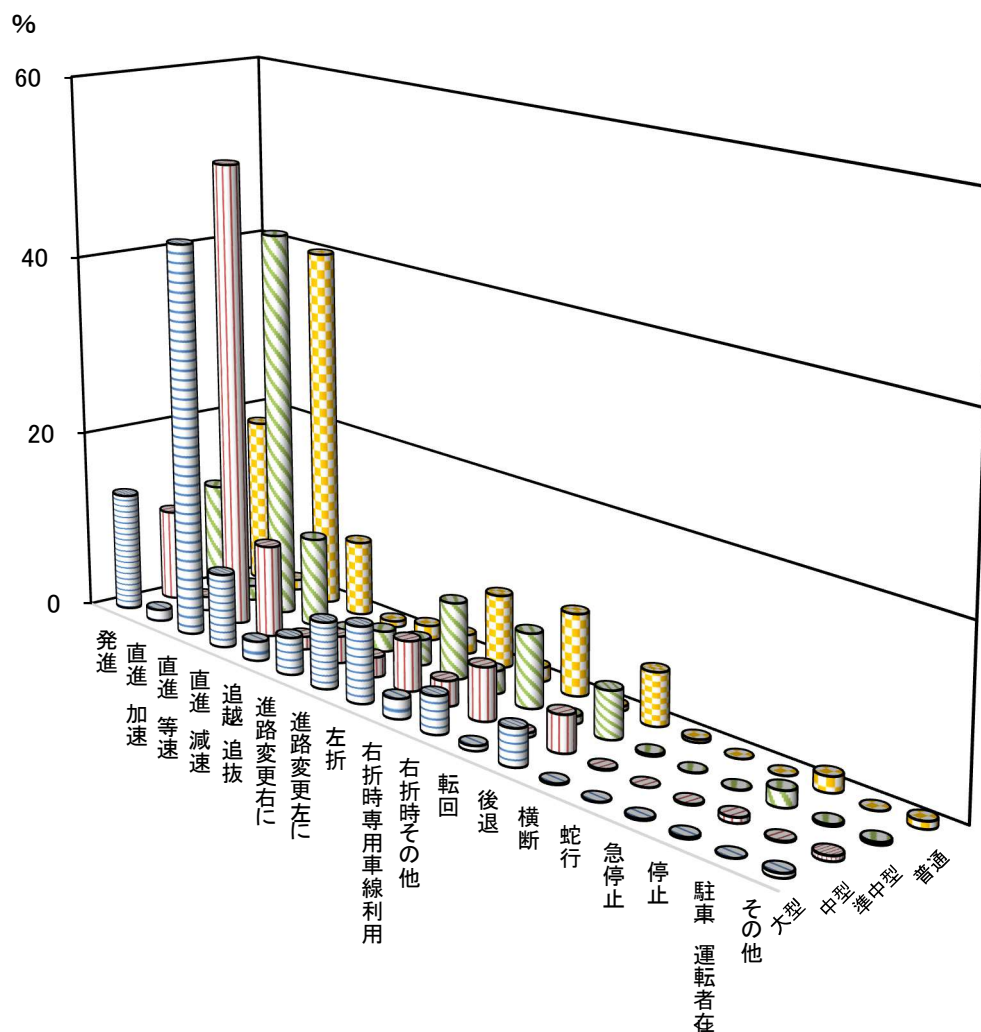
平成29年の行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、直進（等速）2,470件、発進744件、直進（減速）463件となっています。中型では、直進（等速）2,505件、直進（減速）494件、発進490件となっており、準中型では、直進（等速）1,055件、発進294件、直進（減速）241件、普通では、直進（等速）498件、発進229件、右折時（その他）111件となっています。

表8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成29年）

(件)

行動類型 第1当事者種別	発進	直進 加速	直進 等速	直進 減速	追越・ 追抜	進路変 更右に	進路変 更左に	左折	右折時 専用車 線利用	右折時 その他	転回	後退	横断	蛇行	急停止	停止	駐車(運転者 在)	その他	合計
大型	744	71	2,470	463	121	232	414	475	124	234	31	230	7	2	8	10	0	27	5,663
中型	490	75	2,505	494	69	144	106	268	134	283	23	198	6	0	5	29	5	27	4,861
準中型	294	40	1,055	241	22	55	69	206	61	199	20	128	5	1	1	43	5	7	2,452
普通	229	14	498	103	8	20	26	99	19	111	6	72	4	0	0	21	0	10	1,240
合計	1,757	200	6,528	1,301	220	451	615	1,048	338	827	80	628	22	3	14	103	10	71	14,216

構成率でみると、大型では、直進（等速）43.6%、発進13.1%、左折8.4%、直進（減速）8.2%となっています。中型では、直進（等速）51.5%、直進（減速）10.2%、発進10.1%、右折時（その他）5.8%となっており、準中型では、直進（等速）43.0%、発進12.0%、直進（減速）9.8%、左折8.4%、となっており、普通では、直進（等速）40.2%、発進18.5%、右折時（その他）9.0%、直進（減速）8.3%となっています。



	発進	直進 加速	直進 等速	直進 減速	追越・ 追抜	進路 変更右に	進路 変更左に	左折	右折 専用車 線利用	右折 時その他	転回	後退	横断	蛇行	急停止	停止	駐車 運転者 在	その他
□大型	13.1	1.3	43.6	8.2	2.1	4.1	7.3	8.4	2.2	4.1	0.5	4.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.5
□中型	10.1	1.5	51.5	10.2	1.4	3.0	2.2	5.5	2.8	5.8	0.5	4.1	0.1	0.0	0.1	0.6	0.1	0.6
□準中型	12.0	1.6	43.0	9.8	0.9	2.2	2.8	8.4	2.5	8.1	0.8	5.2	0.2	0.0	0.0	1.8	0.2	0.3
□普通	18.5	1.1	40.2	8.3	0.6	1.6	2.1	8.0	1.5	9.0	0.5	5.8	0.3	0.0	0.0	1.7	0.0	0.8

図8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数の構成率（平成29年）

9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況

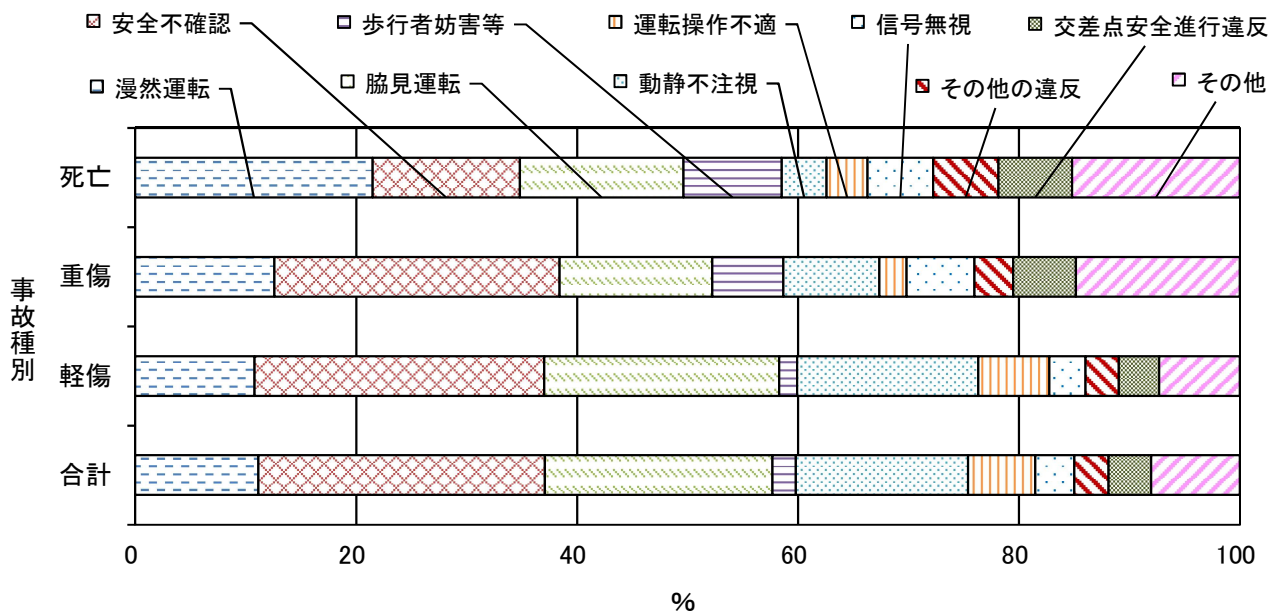
平成 29 年の法令違反（事故の結果に最も影響を与えている違反であって、無免許運転、無資格運転及び酒気帯び運転以外の違反）別の死傷事故件数及び構成率は、全体では、安全不確認 3,690 件（26.0%）、脇見運転 2,928 件（20.6%）、動静不注視 2,214 件（15.6%）となっています。

一方、死亡事故では、漫然運転 58 件（21.5%）、脇見運転 40 件（14.8%）、安全不確認 36 件（13.3%）となっています。

また、重傷事故では、安全不確認 273 件（25.8%）、脇見運転 146 件（13.8%）、漫然運転 133 件（12.6%）となっており、軽傷事故では、安全不確認 3,381 件（26.2%）、脇見運転 2,742 件（21.3%）、動静不注視 2,111 件（16.4%）となっています。

表 9-1 法令違反別の死傷事故件数及び構成率（平成 29 年）

法令違反	事故類型	死亡事故件数		重傷事故件数		軽傷事故件数		合計	
		件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)
信号無視		16	5.9	65	6.1	422	3.3	503	3.5
通行区分違反		8	3.0	10	0.9	58	0.4	76	0.5
最高速度違反		5	1.9	4	0.4	17	0.1	26	0.2
横断・転回等違反		2	0.7	7	0.7	63	0.5	72	0.5
車間距離不保持		0	0.0	1	0.1	90	0.7	91	0.6
追越し禁止違反		2	0.7	19	1.8	61	0.5	82	0.6
踏切不停止		0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0
右折違反		0	0.0	4	0.4	40	0.3	44	0.3
左折違反		2	0.7	8	0.8	77	0.6	87	0.6
環状交差点違反		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
優先通行妨害		6	2.2	35	3.3	112	0.9	153	1.1
交差点安全進行違反		18	6.7	60	5.7	469	3.6	547	3.8
歩行者妨害等		24	8.9	68	6.4	209	1.6	301	2.1
徐行違反		1	0.4	6	0.6	30	0.2	37	0.3
一時不停止		1	0.4	16	1.5	105	0.8	122	0.9
整備不良		0	0.0	2	0.2	9	0.1	11	0.1
酒酔い運転		0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0
過労等	薬物運転	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	過労運転	3	1.1	5	0.5	14	0.1	22	0.2
安全運転義務違反	運転操作不適	10	3.7	26	2.5	831	6.4	867	6.1
	漫然運転	58	21.5	133	12.6	1392	10.8	1583	11.1
	脇見運転	40	14.8	146	13.8	2742	21.3	2928	20.6
	動静不注視	11	4.1	92	8.7	2111	16.4	2214	15.6
	安全不確認	36	13.3	273	25.8	3381	26.2	3690	26.0
	安全速度違反	7	2.6	17	1.6	47	0.4	71	0.5
	その他	2	0.7	22	2.1	214	1.7	238	1.7
その他の違反		16	5.9	37	3.5	388	3.0	441	3.1
不明		2	0.7	1	0.1	5	0.0	8	0.1
合計		270	100.0	1057	100.0	12889	100.0	14216	100.0



※ 構成率については、死亡事故件数の多い9項目及びその他とする。

図 9-1 法令違反別死傷事故件数の構成率（平成 29 年）

(参考)

主な用語の意味

用語	意味
漫然運転	脇見運転ではないが、運転中に“運転以外のことを考えていた”、“ぼんやりしていた”、“ラジオ放送に聞き入っていた”等のために注意の的がはずれ、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
脇見運転	風景、案内標識、他車や歩行者等の動静を見ていた等、前方の交通環境を認識せず運転し、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
動静不注視	相手当事者を発見(認識)したが、危険でないと思って注視を怠り、又は相手が譲ってくれる(避けてくれる)ものと思い込んで注視を怠り、事故を発生させた場合等をいいます。
安全不確認	前方、後方、側方の確認が可能な速度に減速したが、確認を十分に行われなかったために、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。

参 考

事業用貨物自動車の主な法令違反別死亡事故の推移（平成 20-29 年）

- ・死亡事故において多い法令違反 3 項目では、漫然運転は、平成 20 年の 70 件から平成 29 年には 58 件となり、10 年間で 12 件（17.1%）減少しています。
- ・脇見運転は、平成 20 年の 85 件から平成 29 年には 40 件となり、10 年間で 45 件（52.9%）減少しています。
- ・安全不確認は、平成 20 年の 62 件から平成 29 年には 36 件となり、10 年間で 26 件（41.9%）減少しています。

表 9-2 法令違反別死亡事故件数の推移（平成 20-29 年）

法令違反	(件)										
	年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
漫然運転		70	72	103	76	77	88	78	63	57	58
脇見運転		85	59	74	63	75	56	51	55	35	40
安全不確認		62	56	53	50	48	50	40	49	40	36
合計		433	397	404	367	388	349	330	308	258	270

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、漫然運転は、平成 20 年の 16.2%から平成 29 年には 21.5%となり、5.3 ポイントの増加、脇見運転は、平成 20 年 19.6%から平成 29 年には 14.8%となり、4.8 ポイントの減少、さらに、安全不確認は、平成 20 年の 14.3%から平成 29 年には 13.3%となり、1.0 ポイントの減少となっています。



図 9-2 法令違反別死亡事故件数構成率の推移（平成 20-29 年）

10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数（平成 29 年）

平成 29 年の飲酒運転による死傷事故は 28 件で、うち、死亡事故 3 件（10.7%）、重傷事故 6 件（21.4%）、軽傷事故 19 件（67.9%）となっています。

飲酒基準別では、酒酔い 1 件、酒気帯び 0.25 以上 13 件、酒気帯び 0.25 未満 4 件、基準以下 10 件となり、酒酔いと酒気帯び 0.25 以上を合わせると全体の 50.0%を占めています。

表 10-1 飲酒運転による死傷事故件数及び構成率（平成 29 年）

事故内容	飲酒基準					合計	構成率 (%)	(参考)	
	酒酔い	酒気帯び (0.25以上)	酒気帯び (0.25未満)	基準 以下	検知 不能			飲酒なし等 件数	構成率 (%)
死亡(件)	0	2	0	1	0	3	10.7	267	1.9
重傷(件)	0	2	1	3	0	6	21.4	1,051	7.4
軽傷(件)	1	9	3	6	0	19	67.9	12,870	90.7
合計	1	13	4	10	0	28	100.0	14,188	100.0
構成率 (%)	3.6	46.4	14.3	35.7	0.0	100.0			

※ 「酒気帯び」欄の数値は、呼気中のアルコール濃度（mg/l）を示す。

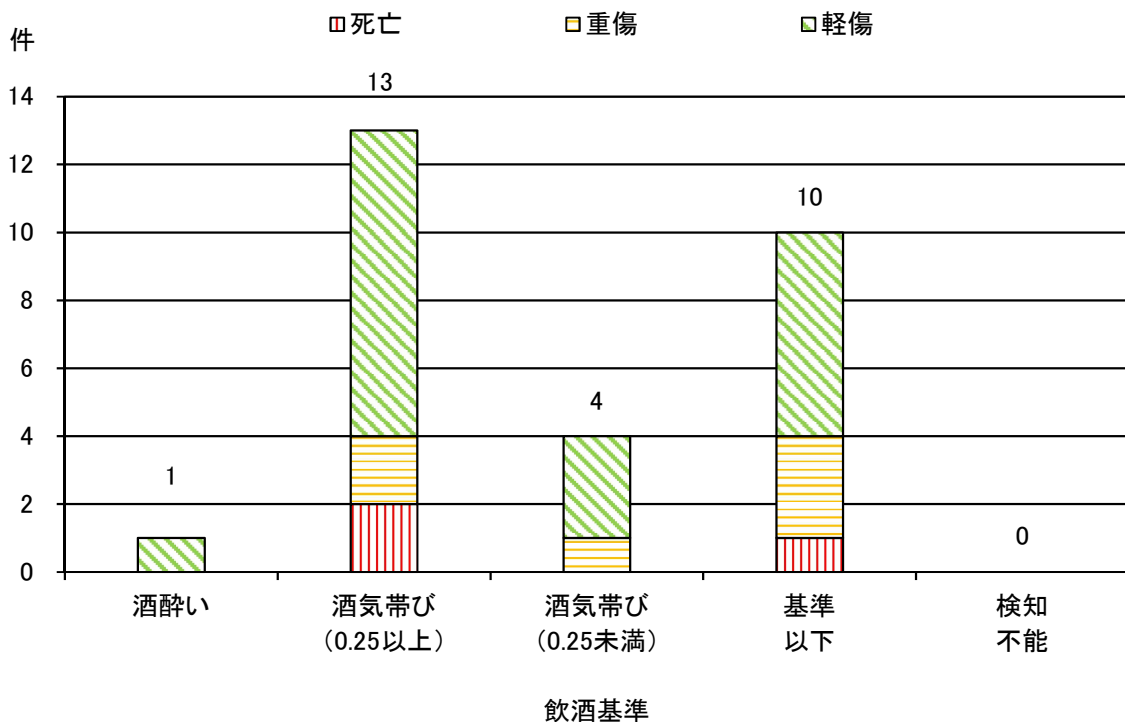


図 10-1 飲酒運転による死傷事故件数（平成 29 年）

(2) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 20-29 年）

飲酒運転による死傷事故件数は、平成 20 年の 61 件から平成 24 年の 2 件までは順調に減少傾向にあります。平成 25 年からは微増減を繰り返して減少傾向が鈍っており、依然として飲酒運転による死傷事故件数 0 件には厳しい状況です。

表 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 20-29 年）

飲酒基準	年									
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
酒酔い	1	1	1	0	3	2	3	3	3	1
酒気帯び(0.25以上)	24	28	22	14	8	15	15	14	23	13
酒気帯び(0.25未満)	14	12	7	6	3	7	3	4	5	4
基準以下	22	12	4	14	10	8	8	12	6	10
検知不能	0	5	0	1	0	0	1	0	0	0
合計	61	58	34	35	24	32	30	33	37	28

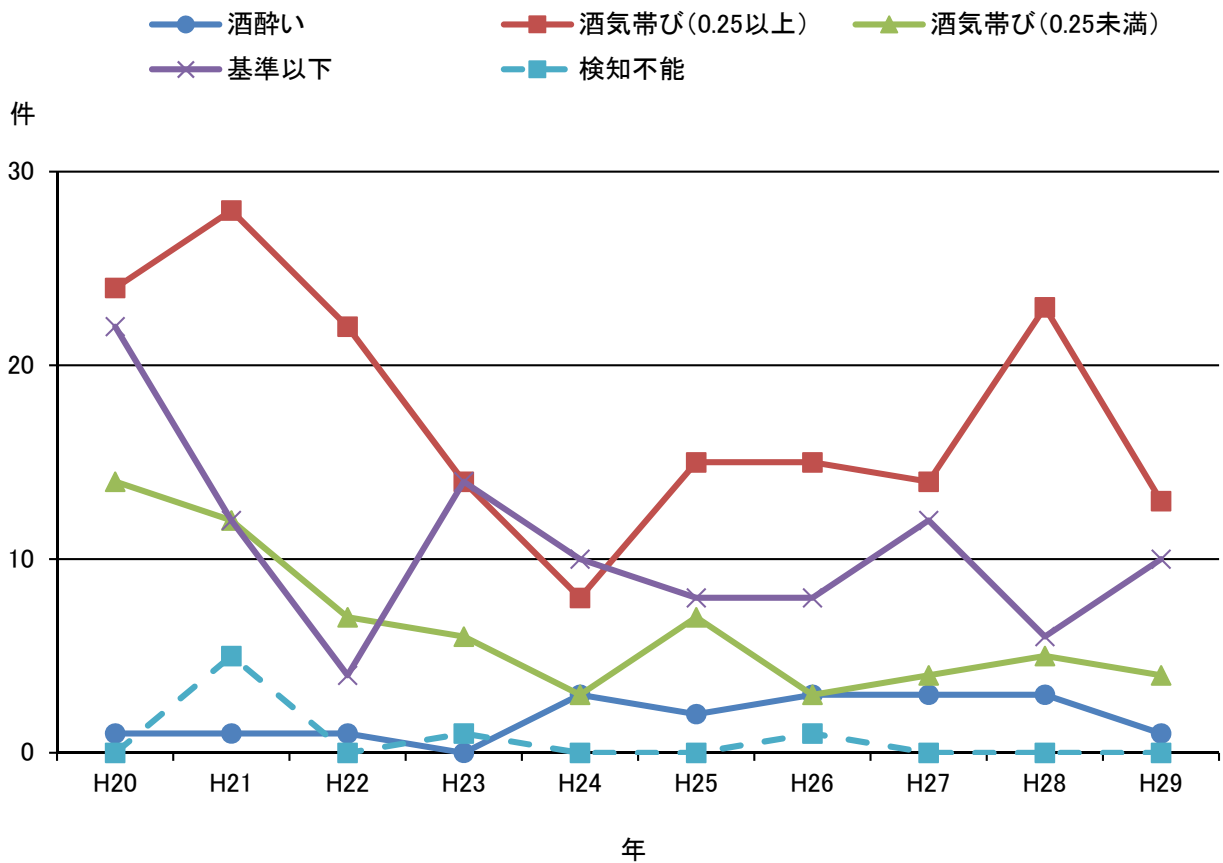


図 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 20-29 年）

(3) 事業用貨物自動車の管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移

管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数は、平成20年から29年までの10年間の合計で、大阪39件、東京28件、福岡20件、兵庫18件、愛知17件、北海道及び千葉16件、埼玉14件、広島13件、神奈川及び静岡11件、栃木10件となっています。

表10-3 管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成20-29年）

年 車籍	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H20-29
北海道	1	2	2	1	1	2	1	3	1	2	16
宮城	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
福島	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	6
岩手	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
青森	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3
山形	2	0	1	2	0	1	0	0	0	0	6
秋田	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
新潟	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	4
長野	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	5
石川	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	6
富山	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
東京	3	6	5	1	3	2	3	0	3	2	28
神奈川	1	1	0	2	0	1	1	3	1	1	11
千葉	4	2	2	1	1	0	3	2	1	0	16
埼玉	2	1	2	2	2	1	1	1	0	2	14
茨城	2	1	0	1	0	2	0	1	1	0	8
群馬	2	2	1	1	0	0	0	0	1	0	7
栃木	2	1	0	1	1	1	0	1	2	1	10
山梨	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
愛知	3	3	1	2	3	1	1	1	0	2	17
静岡	1	1	0	1	0	2	0	1	5	0	11
岐阜	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	5
三重	1	2	0	0	2	0	0	0	2	0	7
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪	4	8	4	3	2	7	3	2	3	3	39
京都	0	2	2	0	0	0	1	0	2	1	8
兵庫	4	1	3	1	0	1	3	3	1	1	18
滋賀	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
奈良	1	2	0	1	1	1	2	0	0	0	8
和歌山	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
広島	4	2	1	2	0	1	2	0	0	1	13
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
島根	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
岡山	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	7
山口	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	4
高松	0	0	0	1	0	1	0	0	2	1	5
徳島	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4
愛媛	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2	6
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡	3	3	3	1	1	0	1	4	3	1	20
佐賀	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	5
長崎	0	2	0	0	0	0	0	2	0	1	5
熊本	2	3	1	1	1	0	0	0	0	0	8
大分	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
宮崎	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
鹿児島	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	6
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	1	2	1	1	1	1	0	1	0	2	10
合計	61	58	34	35	24	32	30	33	37	28	372

10年間の合計が10件以上の都道府県

1年間の事故件数が3件以上

11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況

整備不良違反による第1当事者種別の死傷事故件数は、平成27年に4件と一旦減少したものの、平成28年は13件、平成29年は11件と逆転しており、10年間をとおして変動が大きい状況です。

第1当事者種別で見ると大型の事故件数が多く、10年間のうち6回、10件を超えています。

また、普通では、平成25年の1件を除いて平成22年以降はいずれの年も0件で、10年間をとおしても比較的少ない状況です。

※ 「整備不良違反」とは、当該事故の発生に最も影響を与えた道路交通法上の法令違反が「整備不良」であったものをいう。

表11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成20-29年）

第1当事者種別	年									
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
大型	9	11	12	5	11	11	9	3	12	10
中型	2	3	2	4	1	2	1	1	1	0
準中型										1
普通	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	12	16	14	9	12	14	10	4	13	11

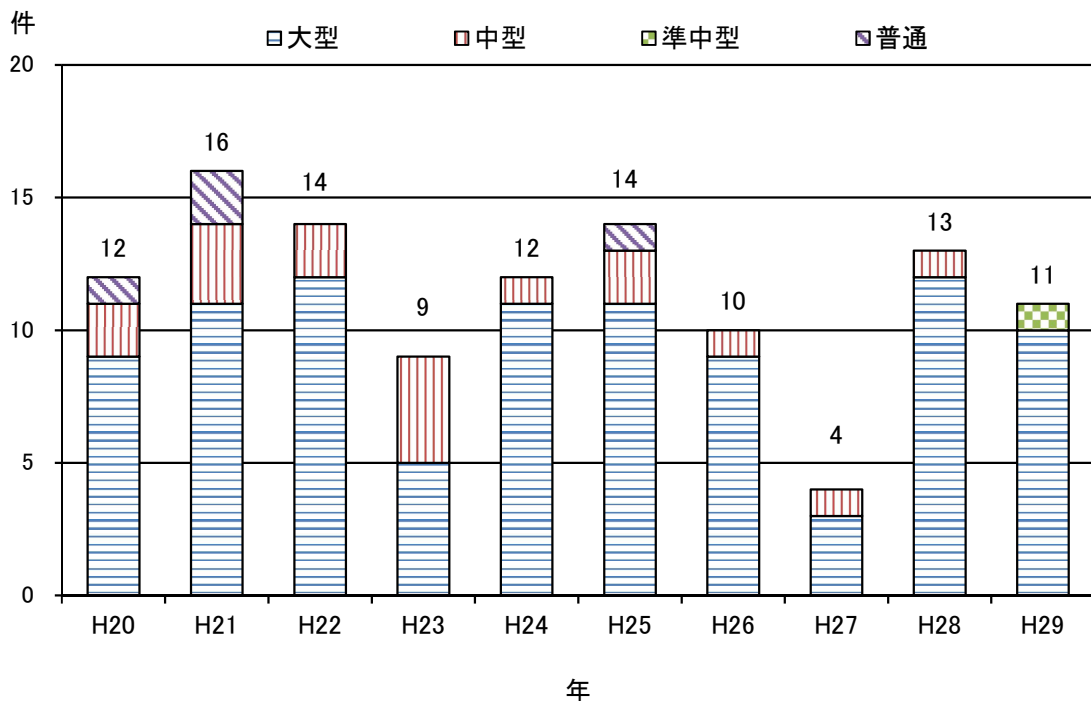


図11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成20-29年）

12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況

平成 29 年の車両的要因による死傷事故件数は 89 件で、内訳は大型 57 件、中型 16 件、準中型 12 件、普通 4 件となっています。

整備不良による死傷事故の要因別件数は、大型では、タイヤ不良 13 件、制動装置不良 5 件で、中型では、タイヤ不良 6 件、制動装置不良 2 件、準中型では、制動装置不良 2 件、タイヤ不良 1 件、普通では制動装置不良及びタイヤ不良各 1 件となっています。

同様に、状態的不良のある死傷事故の要因別件数は、大型では、荷くずれ 19 件、中型では、荷くずれ 5 件、準中型では、荷くずれ 5 件、さらに普通では、荷くずれ 1 件となっています。このように車両的要因別のある事故では、タイヤの不良と荷くずれが多くなっています。

※ 「車両的要因」とは、車両の構造、装置の不良及び車両の状態的な不良が事故の発生の要因と考えられる場合をいい、車両の不良状態が人的要因を誘発した場合を含む。

表 12 車両的要因別の死傷事故件数（平成 29 年）

車両的要因		大型	中型	準中型	普通	合計	
整備不良	制動装置不良	5	2	2	1	10	
	かじ取り装置不良	2	0	0	0	2	
	タイヤ不良	13	6	1	1	21	
	車輪不良	1	0	0	0	1	
	灯火不良	0	0	0	0	0	
	エンジン故障	0	0	0	0	0	
	変速機不良・故障	0	0	0	0	0	
	燃料・潤滑装置不良	0	0	0	0	0	
	フロントガラス等不良	0	0	1	0	1	
	ミラー調整不良、破損、欠落	0	0	0	0	0	
	不良改造（オーバーフェンダ等）	0	0	0	0	0	
	その他車両等の構造・装置等の整備不良	1	0	0	0	1	
	小計	22	8	4	2	36	
	状態的不良	車内の状態	着色フィルムが視界に影響した	0	0	0	0
ワイパーを作動させなかった、フロントガラスを拭かなかつたなどのため相手の発見が遅れた			0	0	0	0	0
車室内の飾り物が視界に影響した			0	0	0	0	0
車室内の同乗者が視界、操作に影響した			0	0	0	0	0
車室内の荷物が視界、操作に影響した			3	0	1	0	4
計			3	0	1	0	4
積荷の状態		過積載が制動距離に影響した	1	0	0	0	1
		過積載が車両の安全性に影響した	1	0	0	0	1
		荷くずれ	19	5	5	1	30
		積み荷等の車外はみ出し	1	0	0	0	1
		積み荷等が自車の灯火を妨害した	0	0	0	0	0
計		22	5	5	1	33	
灯火の状態		前照灯不点火	0	0	0	0	0
		駐車灯不点火（尾灯、非常点滅を含む）	0	0	0	0	0
		自車前照灯の上下向きが視界に影響	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	
小計	25	5	6	1	37		
その他の車両的要因	10	3	2	1	16		
合計	57	16	12	4	89		

13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数 (平成29年)

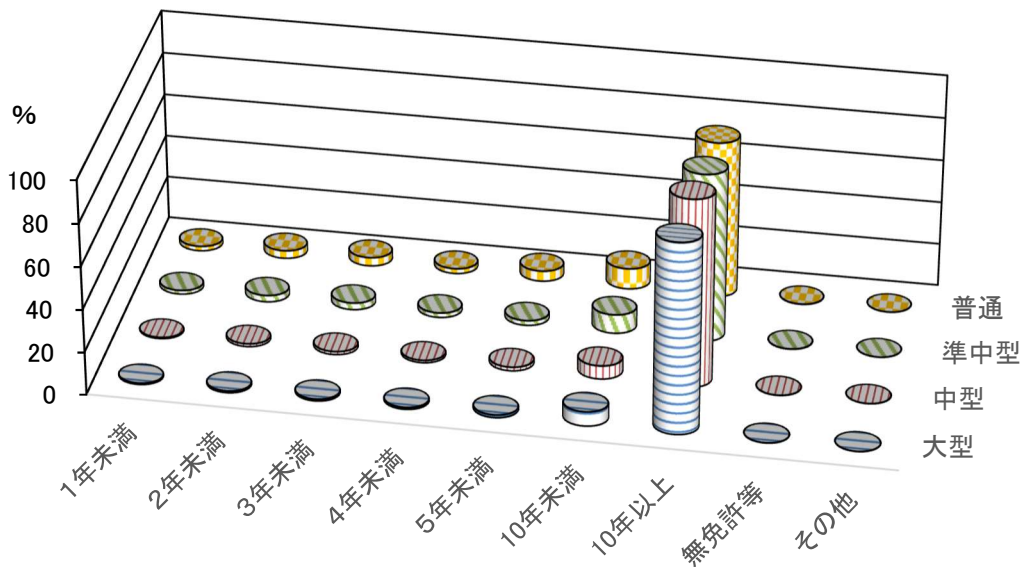
平成29年の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数は、いずれの種別においても10年以上の年数の運転者が多く、大型で5,037件、中型で4,273件、準中型で1,935件、普通で911件となっています。

表13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成29年）

第1当事者種別	運転免許経過年数										合計
	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他		
大型	34	44	48	49	71	378	5,037	2	0	5,663	
中型	25	62	67	52	81	300	4,273	1	0	4,861	
準中型	42	74	77	52	54	216	1,935	2	0	2,452	
普通	26	45	49	28	60	120	911	1	0	1,240	
合計	127	225	241	181	266	1,014	12,156	6	0	14,216	

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

構成率でみると、大型では、10年以上88.9%、5年以上10年未満6.7%となっています。中型では、10年以上87.9%、5年以上10年未満6.2%となっており、準中型では、10年以上78.9%、5年以上10年未満8.8%、普通では、10年以上73.5%、5年以上10年未満9.7%となっています。



	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他
□ 大型	0.6	0.8	0.8	0.9	1.3	6.7	88.9	0.0	0.0
□ 中型	0.5	1.3	1.4	1.1	1.7	6.2	87.9	0.0	0.0
□ 準中型	1.7	3.0	3.1	2.1	2.2	8.8	78.9	0.1	0.0
□ 普通	2.1	3.6	4.0	2.3	4.8	9.7	73.5	0.1	0.0

図13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率（平成29年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数
(平成 29 年)

平成 29 年の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数は、運転免許経過年数 10 年以上の 45-49 歳 2,335 件、40-44 歳 1,953 件、50-54 歳 1,905 件となっています。

表 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数 (平成 29 年)

運転者年齢 運転免許経過年	(件)												合計
	19歳以下	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	
1年未満	40	42	10	7	10	2	6	6	2	1	1	0	127
2年未満	37	120	22	11	9	9	6	5	3	2	1	0	225
3年未満	0	158	24	18	7	8	13	6	3	3	1	0	241
4年未満	0	124	23	10	5	4	9	4	1	1	0	0	181
5年未満	0	113	84	13	11	16	12	8	6	1	2	0	266
10年未満	0	37	525	154	75	65	61	48	23	16	10	0	1,014
10年以上	0	0	112	895	1,260	1,953	2,335	1,905	1,514	1,166	1,016	0	12,156
無免許等	1	0	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	6
合計	78	594	801	1,110	1,377	2,058	2,443	1,982	1,552	1,190	1,031	0	14,216

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

※ 「無免許等」とは、無資格運転、免許外、無免許をいう。

構成率でみると、19 歳以下では、運転免許経過年数が 1 年未満の 51.3%と 1 年以上 2 年未満 47.4%で、合わせて 98.7%を占め、一方、20-24 歳では、5 年未満の件数の合計で 93.8%となります。また、25-29 歳では 5 年以上 10 年未満が 65.5%に、さらに 30-34 歳では 10 年以上が 80.6%となり、35 歳以上ではすべての年齢層で 10 年以上が 90%を超えています。

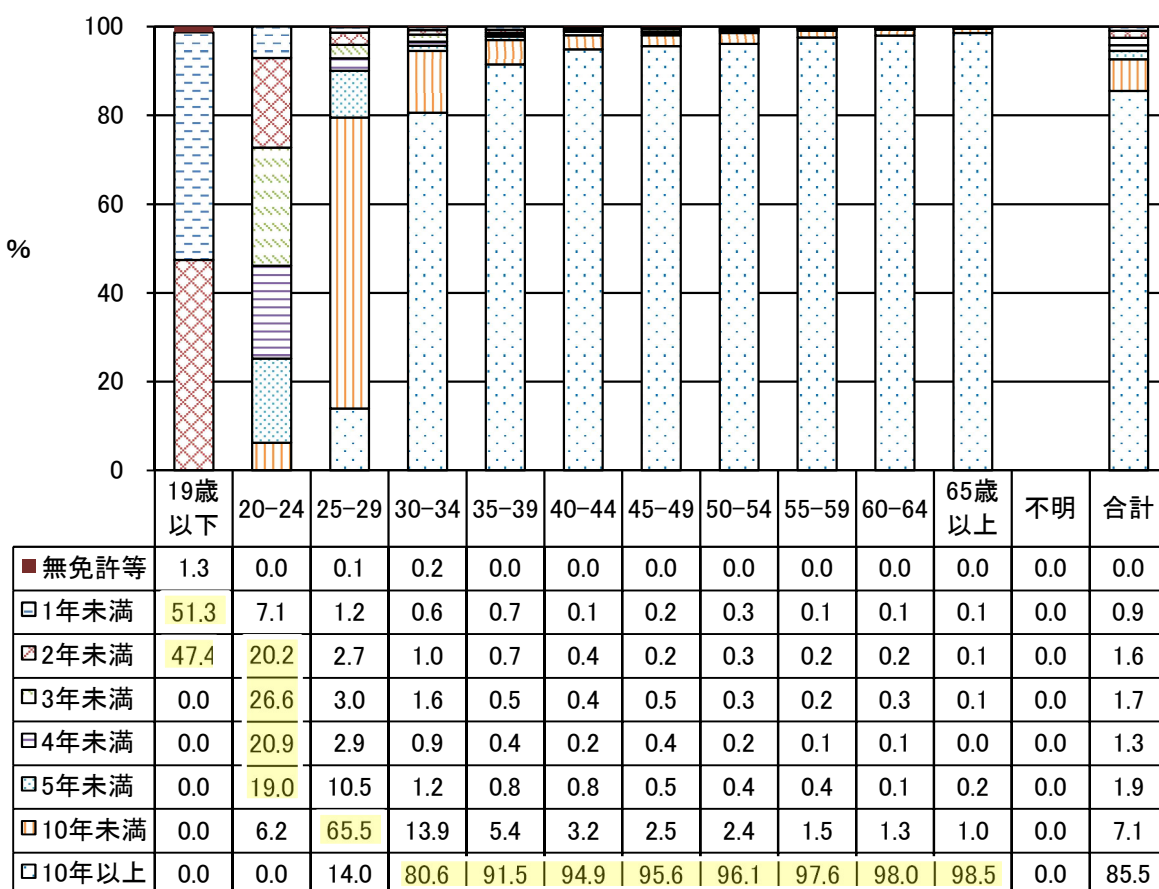


図 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別死傷事故件数の構成率 (平成 29 年)

14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況

平成 29 年における運転者の運転資格別の死傷事故のうち、有資格者以外の事故は 13 件で、無免許等で 6 件、免許期限切れ 4 件、免許停止中 3 件となっています。

これを第 1 当事者種別で見ると、大型では、無免許等 2 件、免許期限切れ 2 件の 4 件となっています。中型では、無免許等、免許停止中がいずれも 1 件の合計 2 件となっており、準中型では、無免許等 2 件、免許停止中 2 件、免許期限切れ 1 件の合計 5 件となっています。また、普通では、無免許等、免許期限切れがいずれも 1 件の合計 2 件となっています。

表 14 運転者の運転資格別・第 1 当事者種別の死傷事故件数（平成 29 年）

第1当事者種別	免許資格						合計
	有資格	免許停止中	免許期限切れ	免許条件違反	無免許等	不明	
大型	5,659	0	2	0	2	0	5,663
中型	4,859	1	0	0	1	0	4,861
準中型	2,447	2	1	0	2	0	2,452
普通	1,238	0	1	0	1	0	1,240
合計	14,203	3	4	0	6	0	14,216

※ 「無免許等」とは無資格運転、免許外、無免許をいう。

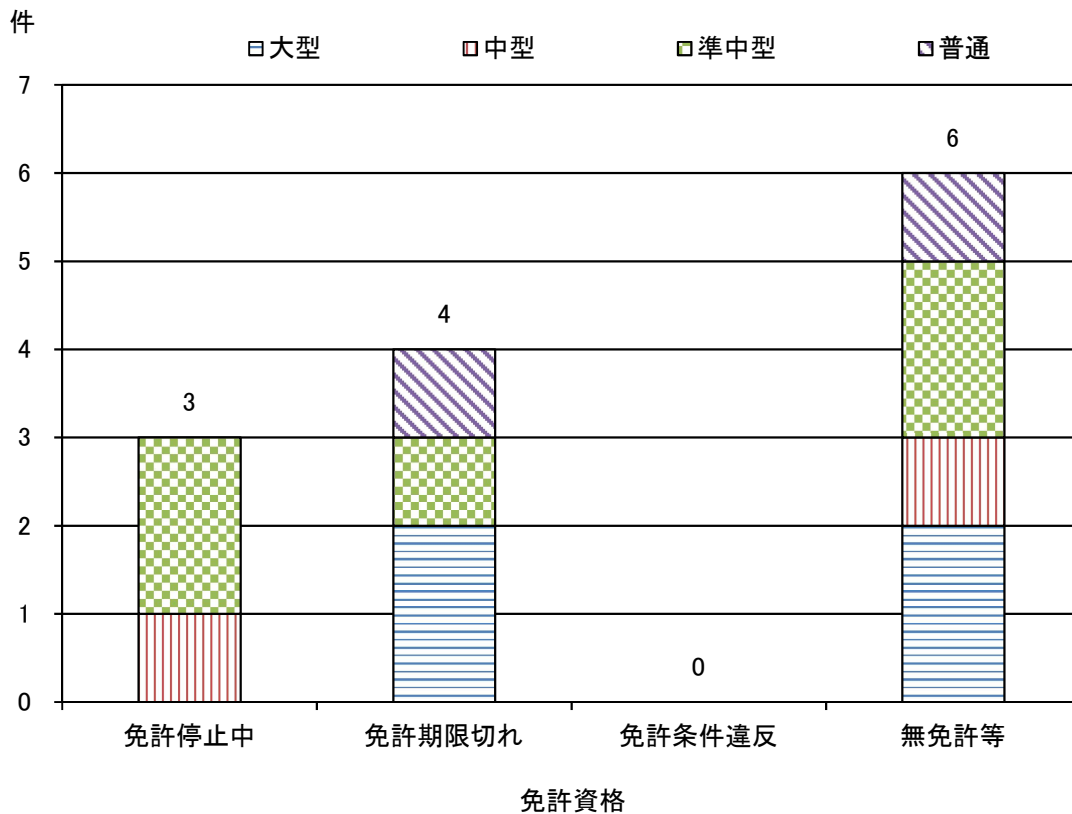


図 14 運転者の運転資格別・第 1 当事者種別の死傷事故件数（平成 29 年）

15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況

平成 29 年における運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別の死傷事故件数は、着用 14,045 件、非着用 123 件となっています。

これを死傷率で見ると、シートベルト着用では、死亡 0.2%、重傷 0.4%、軽傷 1.2%、損傷なし 98.3%となっています。

一方、シートベルト非着用では、死亡 14.6%、重傷 3.3%、軽傷 3.3%、損傷なし 78.9%となり、着用と比較すると死傷率が非常に高くなっています。

また、死傷率の構成率で見ると、シートベルト着用では軽傷の 67.9%が最も多く、一方、シートベルト非着用では死亡の 69.2%が最も高くなっています。

※「死傷率」とは、被害程度を対象者で割った値（例：着用死亡死傷率＝着用の死亡/着用の合計）

表 15-1 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別・第 1 当事者種別の死傷事故件数
（平成 29 年）

第 1 当事者種別 運転者の着用状況		(件)				合計	死傷率(%)	構成率(%)
		大型	中型	準中型	普通			
着用	死 亡	10	11	5	0	26	0.2	10.7
	重 傷	28	18	4	2	52	0.4	21.4
	軽 傷	61	51	33	20	165	1.2	67.9
	小計	99	80	42	22	243	1.7	100.0
	損傷なし	5,509	4,722	2,371	1,200	13,802	98.3	
	計	5,608	4,802	2,413	1,222	14,045	100.0	
非着用	死 亡	10	5	3	0	18	14.6	69.2
	重 傷	2	1	1	0	4	3.3	15.4
	軽 傷	2	2	0	0	4	3.3	15.4
	小計	14	8	4	0	26	21.1	100.0
	損傷なし	26	37	24	10	97	78.9	
	計	40	45	28	10	123	100.0	
不 明	死 亡	2	0	0	0	2	4.2	28.6
	重 傷	1	0	0	1	2	4.2	28.6
	軽 傷	2	0	0	1	3	6.3	42.9
	小計	5	0	0	2	7	14.6	100.0
	損傷なし	10	14	11	6	41	85.4	
	計	15	14	11	8	48	100.0	
合 計		5,663	4,861	2,452	1,240	14,216		

当事者種別・
着用状況

□軽 傷 □重 傷 □死 亡

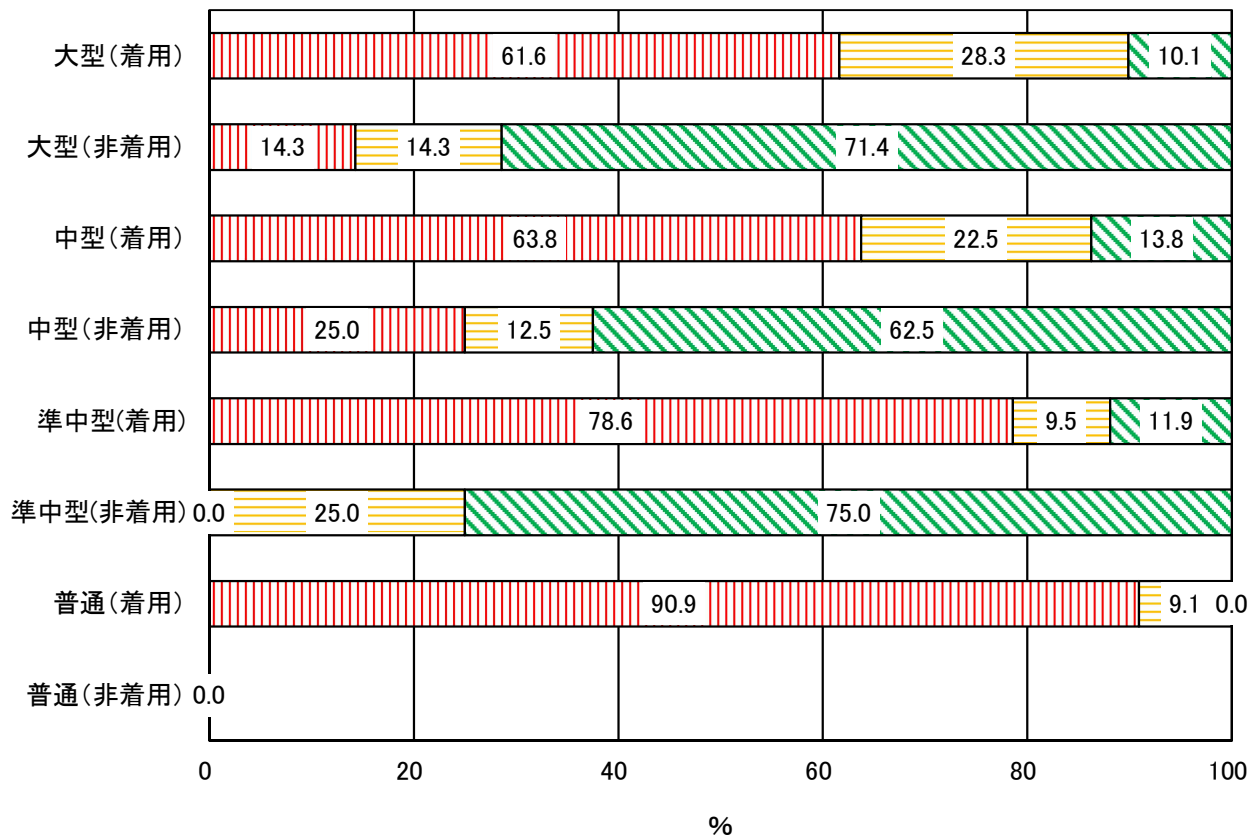


図 15-1 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別・第 1 当事者種別死傷事故件数の構成率
(平成 29 年)

参 考

事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用状況（平成 20-29 年）

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別の死傷者数のうち、死者では、着用・非着用ともに平成25年以降はおおむね減少傾向にあるものの、大きな変化は見られません。なお、着用・非着用に関わらず、死者数は2桁台を下回ることはありません。
- ・重傷者では、着用は平成20年から平成25年までは増減があるものの、平成26年以降はあきらかに減少傾向にあります。また、非着用でも、微増減を繰り返しながらも減少傾向にあります。
- ・軽傷者では、着用は平成20年の507人から平成29年には165人と、10年間で342人(67.5%)の減少となっています。また、非着用は10年間で微増減はあるもののおおむね減少傾向にあり、平成27年以降は10人を下回る状況となっています。

表 15-2 運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別死傷者数の推移（平成 20-29 年）

運転者の着用状況		年									
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
着用	死者	28	30	33	26	37	33	27	23	24	26
	重傷者	142	134	102	136	102	112	97	78	65	52
	軽傷者	507	388	394	355	318	314	274	190	192	165
	計	677	552	529	517	457	459	398	291	281	243
非着用	死者	25	15	30	18	23	19	20	26	15	18
	重傷者	24	11	19	21	11	8	11	11	9	4
	軽傷者	26	13	19	19	13	16	11	4	6	4
	計	75	39	68	58	47	43	42	41	30	26
不明	死者	6	4	2	1	3	3	4	2	2	2
	重傷者	4	7	9	9	8	5	5	0	1	2
	軽傷者	9	3	6	4	1	1	1	1	1	3
	計	19	14	17	14	12	9	10	3	4	7
合計	死者	59	49	65	45	63	55	51	51	41	46
	重傷者	170	152	130	166	121	125	113	89	75	58
	軽傷者	542	404	419	378	332	331	286	195	199	172
	計	771	605	614	589	516	511	450	335	315	276

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト着用率は、平成20年から平成29年までの10年間をとおして、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト着用率で見ると、死者は、最も低いのは平成27年の45.1%、最も高いのは平成21年の61.2%など、着用率の増減が激しく、また、平成20年から平成29年までの10年間をとおしておよそ6割程度までの着用率にとどまっています。
- ・一方、重傷者は、最も高いときで平成29年の89.7%と、死者よりも高いものの、平成20年から平成29年までの10年間をとおして、90%を超えていません。
- ・さらに、軽傷者は、平成27年の97.4%を最高値とし、10年間をとおして常に90%を超えています。

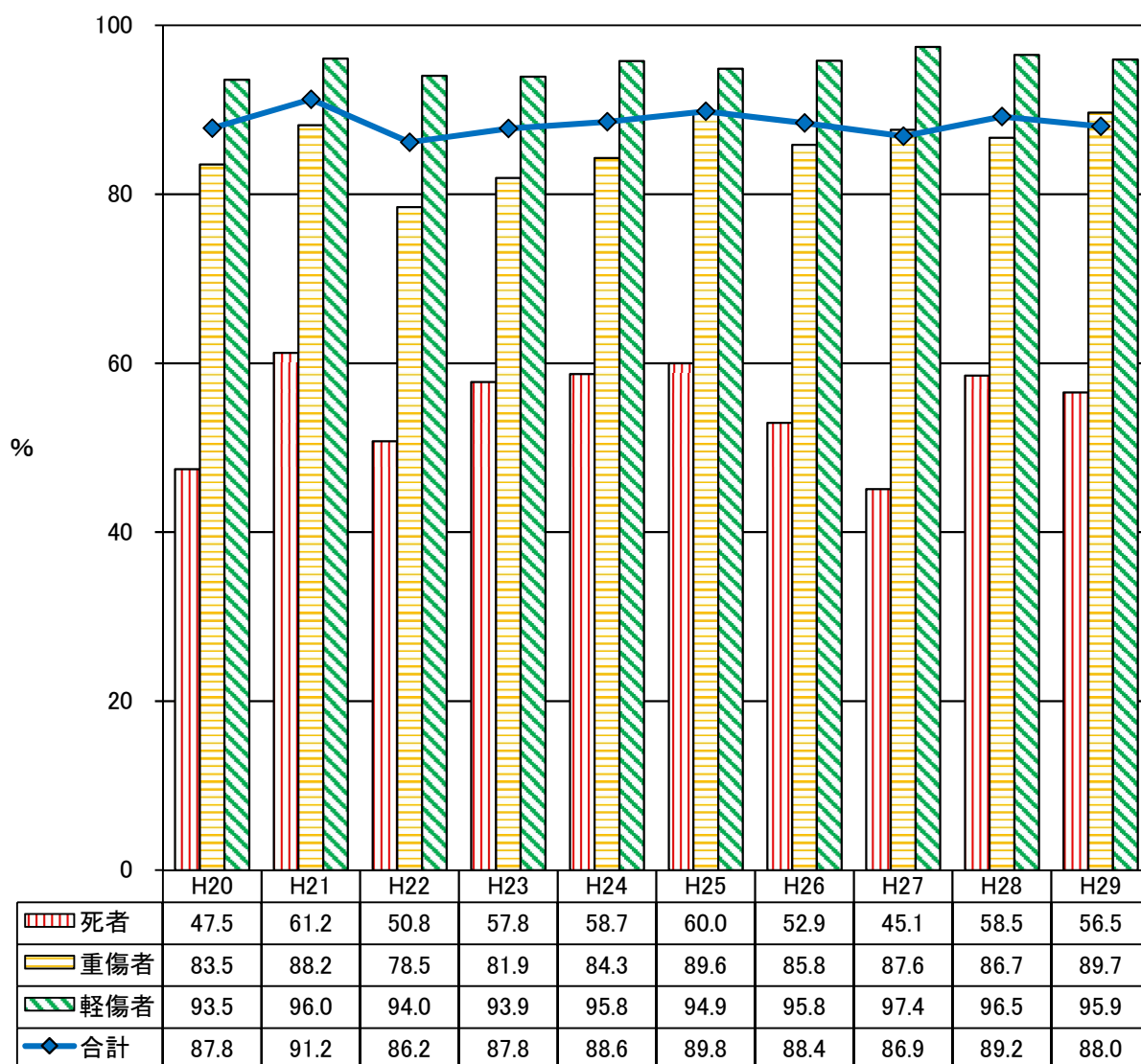


図 15-2 運転者の傷害程度別シートベルト着用率の推移（平成20-29年）

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト非着用率は、平成20年から平成29年までの10年間をとおして6%から12%の範囲で、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト非着用率で見ると、死者では、平成21年の30.6%が最も低く、平成27年の51.0%が最も高くなっています。
- ・一方、重傷者では、平成25年の6.4%が最も低く、平成22年の14.6%が最も高くなっています。
- ・さらに、軽傷者では、平成27年の2.1%が最も低く、平成23年の5.0%が最も高くなっています。
- ・死者のシートベルト非着用率は、重傷者及び軽傷者と比較して、非常に高い値となっています。

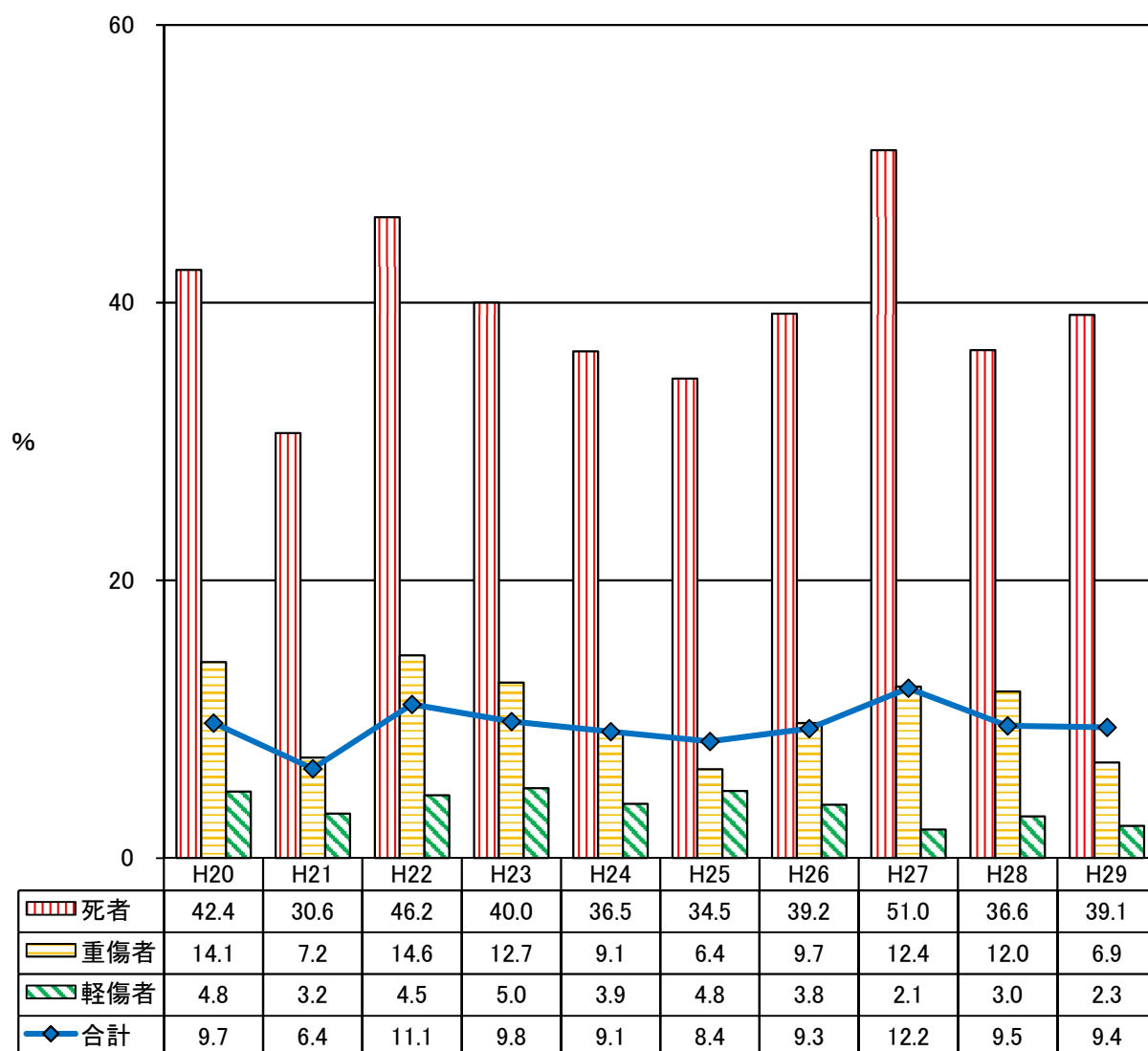


図 15-3 運転者（第1当事者）の傷害程度別シートベルト非着用率の推移（平成20-29年）

16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況

(1) 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（平成 28・29 年）

平成 29 年の高速道路における追突死傷事故件数は 936 件で、平成 28 年の 964 件から 28 件（3.0%）減少しています。

事故詳細区分別にみると、車線停止中（その他）では、平成 28 年の死亡 13 件、重傷 24 件、軽傷 415 件の計 452 件から、平成 29 年には死亡 12 件、重傷 24 件、軽傷 360 件の計 396 件となり、死亡で 1 件減少、重傷は増減なし、軽傷で 55 件減少の、合計 56 件減少となっています。

走行中の追突では、平成 28 年の死亡 6 件、重傷 22 件、軽傷 370 件の計 398 件から、平成 29 年の死亡 5 件、重傷 29 件、軽傷 368 件の計 402 件となり、死亡で 1 件減少、重傷 7 件増加、軽傷 2 件減少の、合計 4 件増加となっています。

※ 「車線停止中その他」には、渋滞停止中が含まれる。

※ 「高速道路」とは、高速自動車国道、自動車専用道路（道路交通法施行令第 42 条の規定により指定された自動車専用道路）をいう。

表 16-1 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（平成 28・29 年）

年		H28				H29				増減	
		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計		
追突	追越・追抜	0	0	8	8	2	1	7	10	2	
	走行車に	6	22	370	398	5	29	368	402	4	
	流入車に	0	2	0	2	0	0	2	2	0	
	流出車に	0	0	2	2	0	0	10	10	8	
	車線停止中	故障車に	1	2	9	12	2	7	13	22	10
		事故車に	0	4	9	13	1	7	16	24	11
		その他	13	24	415	452	12	24	360	396	-56
	路肩停止中	故障車に	0	0	9	9	0	0	10	10	1
		事故車に	0	0	0	0	0	0	3	3	3
		その他	0	2	12	14	0	2	9	11	-3
	料金所付近停止車に	0	1	28	29	0	2	26	28	-1	
	その他	0	0	25	25	2	0	16	18	-7	
	合計	20	57	887	964	24	72	840	936	-28	

(2) 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（平成 28・29 年）

高速道路における追突の道路区分別事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、平成 28 年の死亡 10 件、重傷 47 件、軽傷 431 件の計 488 件から、平成 29 年には死亡 12 件、重傷 47 件、軽傷 387 件の計 446 件となり、死亡は 2 件増加、重傷は増減なし、軽傷は 44 件の減少の、合計 42 件の減少となっています。

走行車線（第二通行帯以上）では、平成 28 年の死亡 5 件、重傷 4 件、軽傷 190 件の計 199 件から、平成 29 年には死亡 6 件、重傷 13 件、軽傷 222 件の計 241 件となり、死亡で 1 件増加、重傷で 9 件増加、軽傷で 32 件増加の、合計 42 件の増加となっています。

追越車線では、平成 28 年の死亡 4 件、重傷 2 件、軽傷 156 件の計 162 件から、平成 29 年には死亡 3 件、重傷 5 件、軽傷 132 件の計 140 件となり、死亡は 1 件減少、重傷は 3 件増加、軽傷は 24 件減少の、合計 22 件の減少となっています。

一方で、ランプウェイ（出路）では、平成 28 年の 29 件から平成 29 年には 21 件となり、合計 8 件（27.6%）の減少となっています。

表 16-2 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（平成 28・29 年）

年 事故内容	H28				H29				増減
	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
道路区分									
走行車線-第一通行帯	10	47	431	488	12	47	387	446	-42
走行車線-第二通行帯以上	5	4	190	199	6	13	222	241	42
追越車線	4	2	156	162	3	5	132	140	-22
登板車線	0	0	4	4	1	1	5	7	3
加速車線	0	0	1	1	0	0	1	1	0
減速車線	0	1	9	10	0	1	4	5	-5
路肩	1	2	24	27	0	3	24	27	0
ランプウェイ-入路	0	1	2	3	0	0	5	5	2
ランプウェイ-出路	0	0	29	29	0	0	21	21	-8
ジャンクション	0	0	5	5	0	0	3	3	-2
料金所等付近-本線上	0	0	13	13	0	1	14	15	2
料金所等付近-その他	0	0	14	14	0	0	15	15	1
サービスエリア	0	0	3	3	0	1	2	3	0
パーキングエリア	0	0	4	4	1	0	2	3	-1
その他	0	0	2	2	1	0	3	4	2
合計	20	57	887	964	24	72	840	936	-28

(3) 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（平成28・29年）

高速道路における対歩行者の死傷事故件数は、平成28年の死亡4件、重傷4件、軽傷5件の計13件から、平成29年には死亡3件、重傷4件、軽傷4件の計11件となり、合計で2件（18.2%）減少しています。

これを事故類型詳細区分別で見ると、故障修理中では、平成28年には0件から、平成29年には死亡1件、重傷1件となり、合計で2件増加しています。

また、路上作業中では、平成28年の死亡1件から、平成29年には0件となり、合計で1件減少しています。

表16-3 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（平成28・29年）

年		H28				H29				増減
事故内容		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
人対車両	故障修理中	0	0	0	0	1	1	0	2	2
	路上作業中	1	0	0	1	0	0	0	0	-1
	その他	3	4	5	12	2	3	4	9	-3
	合計	4	4	5	13	3	4	4	11	-2

(4) 高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数（平成28・29年）

高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、平成28年の死亡3件、重傷1件、軽傷1件の合計5件から、平成29年には死亡2件、重傷3件、軽傷2件の合計7件となり、死亡1件減少、重傷2件増加、軽傷1件増加の合計2件増加しています。

また、走行車線（第二通行帯以上）では、平成28年の死亡1件、重傷1件の合計2件から、平成29年には、重傷1件となり、合計1件減少しています。

表16-4 高速道路における人対車両の道路区分別死傷事故件数（平成28・29年）

年		H28				H29				増減
事故内容		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
道路区分										
	走行車線-第一通行帯	3	1	1	5	2	3	2	7	2
	走行車線-第二通行帯以上	1	1	0	2	0	1	0	1	-1
	追越車線	0	0	0	0	1	0	0	1	1
	登板車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路肩	0	1	0	1	0	0	0	0	-1
	ランプウェイ-入路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ランプウェイ-出路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジャンクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-本線上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービスエリア	0	0	3	3	0	0	0	0	-3
	パーキングエリア	0	1	1	2	0	0	2	2	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	4	4	5	13	3	4	4	11	-2

17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況

(1) 事業用貨物自動車の死傷者数（平成 29 年）

平成 29 年の死傷者数は、死者 279 人、重傷者 1,149 人、軽傷者 17,462 人の計 18,890 人となっています。

第 2 当事者種別では、対普通乗用車 7,188 人、対軽乗用 3,558 人、対自転車 1,605 人、対歩行者 954 人となっています。

死傷者別・第 1 当事者種別でみると、死者は、大型では、対歩行者 42 人、対自転車 30 人、中型では、対歩行者 29 人、対自転車 10 人、準中型では、対歩行者 15 人、対自転車 5 人、普通では、対歩行者 4 人、対自転車 1 人となっています。

一方、重傷者は、大型では、対自転車 111 人、対歩行者 78 人、中型では、対歩行者 79 人、対自転車 58 人、準中型では、対歩行者 35 人、対自転車 33 人、普通では、対自転車 15 人、対歩行者 14 人となっています。

また、軽傷者は、大型では、対普通乗用車 2,945 人、対軽乗用 1,357 人、中型では、対普通乗用車 2,491 人、対軽乗用 1,298 人、準中型では、対普通乗用車 1,078 人、対軽乗用 495 人、普通では、対普通乗用車 495 人、対軽乗用 274 人となっています。

表 17-1 事業用貨物自動車の死傷者数（平成 29 年）

死傷者別 第1当事者種別 第2当事者種別		死者					重傷者					軽傷者					合計
		大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	
乗用車	バス	0	0	1	0	1	0	3	0	0	3	17	29	13	4	63	67
	マイクロバス	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	8	13	1	0	22	23
	普通乗用車	12	2	1	0	15	88	49	25	2	164	2,945	2,491	1,078	495	7,009	7,188
	軽乗用	4	8	2	0	14	63	40	13	8	124	1,357	1,298	491	274	3,420	3,558
	ミニカー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	2	1	1	7	8
	小計	16	10	4	0	30	152	93	38	10	293	4,329	3,833	1,585	774	10,521	10,844
貨物車	大型貨物	9	7	2	0	18	36	13	2	2	53	360	159	43	17	579	650
	中型貨物	4	3	1	0	8	10	9	1	1	21	233	207	35	15	490	519
	準中型貨物	0	0	0	0	0	8	5	5	0	18	173	147	96	17	433	451
	普通貨物	2	0	0	0	2	22	2	0	0	24	297	274	94	57	722	748
	ライトバン	1	0	0	0	1	5	4	1	0	10	176	115	46	18	355	366
	軽貨物	8	2	1	1	12	22	17	9	2	50	374	421	205	104	1,104	1,166
	小計	24	12	4	1	41	103	50	18	5	176	1,613	1,323	519	228	3,683	3,900
トレーラ	2	1	1	0	4	8	1	0	0	9	87	36	9	1	133	146	
自動二輪	小型二輪	6	2	0	1	9	9	18	11	1	39	56	57	41	13	167	215
	軽二輪	3	2	1	0	6	10	6	11	2	29	67	62	55	21	205	240
	原付二輪	3	3	3	0	9	13	12	8	4	37	75	99	71	26	271	317
	小計	12	7	4	1	24	32	36	30	7	105	198	218	167	60	643	772
原付	3	0	0	0	3	37	33	18	8	96	100	137	111	61	409	508	
特殊車	農耕用	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4	1	2	1	1	5	9
	大型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	8	8
	小型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	4
	小計	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4	8	7	1	1	17	21
路面電車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7	7	
軽車両	自転車	30	10	5	1	46	111	58	33	15	217	354	385	376	227	1,342	1,605
	駆動補助機付自転車	1	0	0	0	1	4	1	0	0	5	7	11	6	2	26	32
	その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
	小計	31	10	5	1	47	116	59	33	15	223	361	396	382	229	1,368	1,638
歩行者	42	29	15	4	90	78	79	35	14	206	168	223	154	113	658	954	
駐車車両(運転者不在)	12	4	0	0	16	13	2	0	0	15	50	13	2	0	65	96	
物件	17	3	2	0	22	13	10	2	2	27	26	35	13	7	81	130	
相手なし	3	3	0	0	6	2	1	1	0	4	6	1	0	0	7	17	
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2	
合計	160	78	34	7	279	548	364	176	61	1,149	6,867	6,187	2,935	1,473	17,462	18,890	

(2) 事業用貨物自動車の死傷者の構成率（平成 29 年）

平成 29 年の死傷者の第 1 当事者種別の構成率は、大型では、対普通乗用車 40.2%、対軽乗用 18.8%、対自転車 6.5%、中型では、対普通乗用車 38.3%、対軽乗用 20.3%、対自転車 6.8% 準中型では、対普通乗用車 35.1%、対軽乗用 16.1%、対自転車 13.2%、普通では、対普通乗用車 32.3%、対軽乗用 18.3%、対自転車 15.8%となっています。

表 17-2 相関別死傷者数の構成率（平成 29 年）

	(%)			
	大型	中型	準中型	普通
バス	0.2	0.5	0.4	0.3
マイクロバス	0.1	0.2	0.0	0.0
普通乗用車	40.2	38.3	35.1	32.3
軽乗用	18.8	20.3	16.1	18.3
ミニカー	0.0	0.0	0.1	0.1
大型貨物	5.3	2.7	1.5	1.2
中型貨物	3.3	3.3	1.2	1.0
準中型貨物	2.4	2.3	3.2	1.1
普通貨物	4.2	4.2	3.0	3.7
ライトバン	2.4	1.8	1.5	1.2
軽貨物	5.3	6.6	6.8	6.9
小型二輪	0.9	1.2	1.7	1.0
軽二輪	1.1	1.1	2.1	1.5
原付二輪	1.2	1.7	2.6	1.9
原付	1.8	2.6	4.1	4.5
農耕用	0.0	0.0	0.1	0.1
特殊大型	0.0	0.1	0.0	0.0
特殊小型	0.1	0.0	0.0	0.0
路面電車	0.0	0.0	0.0	0.0
列車	0.1	0.0	0.0	0.0
自転車	6.5	6.8	13.2	15.8
駆動補助機付自転車	0.2	0.2	0.2	0.1
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
歩行者	3.8	5.0	6.5	8.5
駐車車両（運転者不在）	1.0	0.3	0.1	0.0
物件	0.7	0.7	0.5	0.6
相手なし	0.1	0.1	0.0	0.0
不明	0.0	0.0	0.0	0.0
	100.0	100.0	100.0	100.0

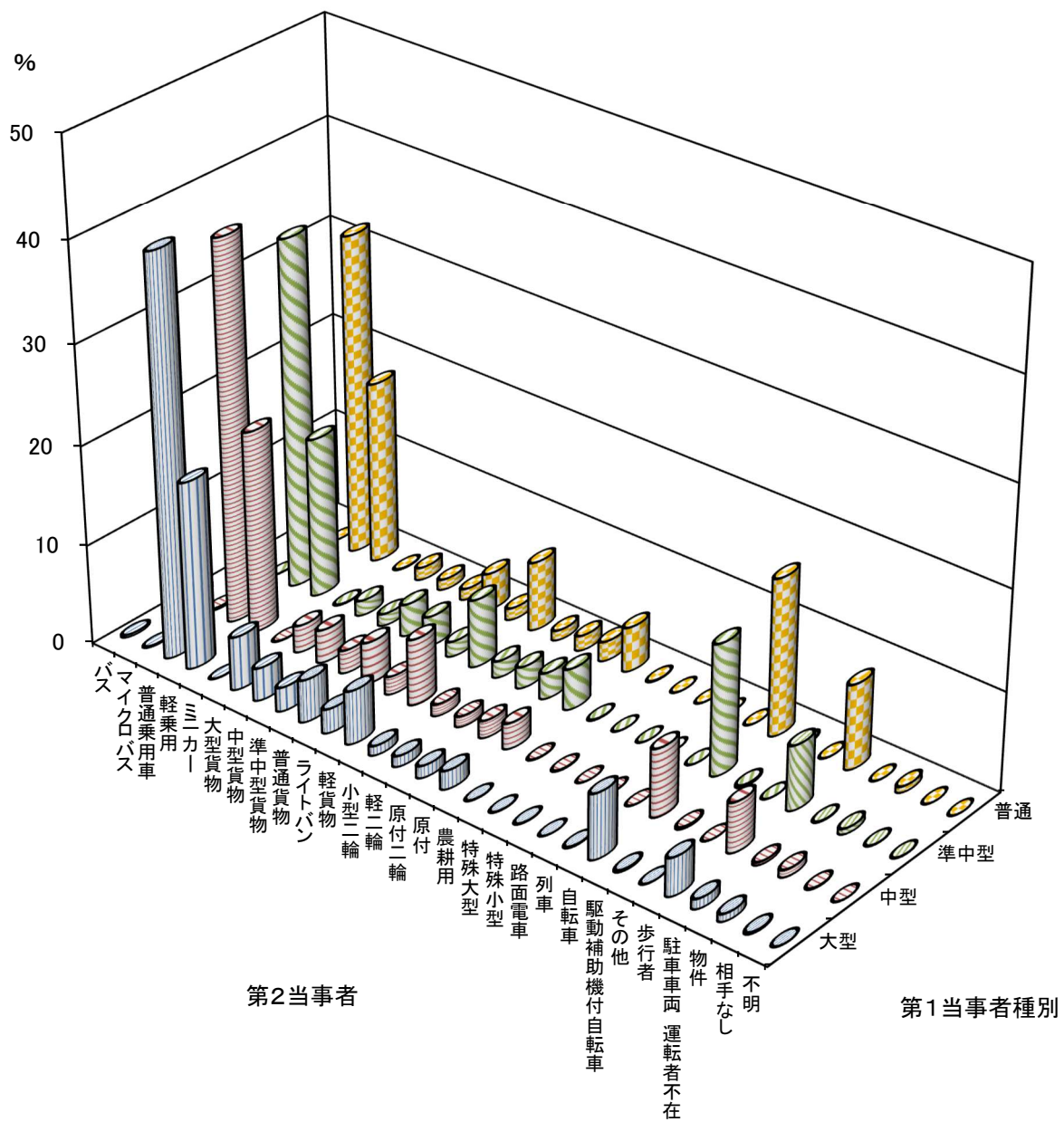


図 17-1 相関別死傷者数の構成率 (平成 29 年)

(3) 事業用貨物自動車の第1当事者種別・年齢別の死傷者数（平成29年）

平成29年の第1当事者種別・年齢別の死傷者数は、40-44歳2,149人、45-49歳2,091人、35-39歳1,784人となっています。

死傷者別にみると、死者は、大型では、45-49歳19人、中型では、65-69歳11人、準中型では、80-84歳5人、普通では、70-74歳2人となっています。

一方、重傷者は、大型では、50-54歳55人、65-69歳49人、中型では、40-44歳40人、45-49歳39人、準中型では、50-54歳、60-64歳、65-69歳各17人、普通では、40-44歳9人、50-54歳7人となっています。

また、軽傷者は、大型では、40-44歳815人、45-49歳779人、中型では、40-44歳713人、45-49歳707人、準中型では、40-44歳339人、45-49歳313人、普通では、45-49歳158人、40-44歳155人となっています。

第1当事者別にみると、大型が7,575人（40.1%）、中型が6,629人（35.1%）、準中型が3,145人（16.6%）、普通1,541人（8.2%）で、大型・中型で全体の約75%を占めています。

また、65歳以上では、死者が103人（36.9%）、重傷者308人（26.8%）、軽傷者2,364人（13.5%）となっています。

年齢別死傷者数の構成率は、死者が45-49歳11.1%、重傷者が65-69歳9.2%、軽傷者が40-44歳11.6%となっています。

表17-3 第1当事者種別・年齢別の死傷者数（平成29年）

(人)

年齢別	死者					重傷者					軽傷者					合計				
	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	合計
6歳以下	2	0	0	0	2	0	2	0	1	3	83	131	53	28	295	85	133	53	29	300
7-12歳	2	1	0	0	3	7	7	6	2	22	101	82	64	31	278	110	90	70	33	303
13-15歳	1	0	0	0	1	9	1	0	2	12	58	44	20	28	150	68	45	20	30	163
16-19歳	4	0	1	0	5	27	12	11	2	52	214	212	82	29	537	245	224	94	31	594
20-24歳	8	7	2	1	18	40	15	7	4	66	537	453	255	133	1,378	585	475	264	138	1,462
25-29歳	5	0	3	0	8	27	21	13	3	64	620	552	255	136	1,563	652	573	271	139	1,635
30-34歳	8	2	2	0	12	36	25	13	3	77	662	545	294	128	1,629	706	572	309	131	1,718
35-39歳	6	6	1	1	14	26	26	8	4	64	680	614	273	139	1,706	712	646	282	144	1,784
40-44歳	17	6	1	0	24	40	40	14	9	103	815	713	339	155	2,022	872	759	354	164	2,149
45-49歳	19	7	4	1	31	45	39	15	4	103	779	707	313	158	1,957	843	753	332	163	2,091
50-54歳	15	5	3	0	23	55	24	17	7	103	603	511	239	134	1,487	673	540	259	141	1,613
55-59歳	8	7	3	0	18	38	28	9	5	80	472	423	205	85	1,185	518	458	217	90	1,283
60-64歳	6	7	3	1	17	36	34	17	5	92	360	328	138	85	911	402	369	158	91	1,020
65-69歳	13	11	2	1	27	49	34	17	6	106	393	392	164	94	1,043	455	437	183	101	1,176
70-74歳	8	3	1	2	14	27	21	10	4	62	213	225	106	47	591	248	249	117	53	667
75-79歳	17	7	2	0	26	40	23	10	0	73	157	146	67	30	400	214	176	79	30	499
80-84歳	13	1	5	0	19	31	7	4	0	42	89	79	51	21	240	133	87	60	21	301
85-89歳	6	5	1	0	12	12	5	4	0	21	28	18	13	5	64	46	28	18	5	97
90-94歳	1	3	0	0	4	3	0	1	0	4	3	12	4	7	26	7	15	5	7	34
95歳以上	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	160	78	34	7	279	548	364	176	61	1,149	6,867	6,187	2,935	1,473	17,462	7,575	6,629	3,145	1,541	18,890

(4) 事業用貨物自動車の年齢別死傷者数の構成率（平成 29 年）

平成 29 年の年齢別死傷者数の構成率は、死者では、45-49 歳 11.1%、65-69 歳 9.7%、75-79 歳 9.3%となっています。

一方、重傷者では、65-69 歳 9.2%、40-44 歳及び 45-49 歳並びに 50-54 歳各 9.0%、60-64 歳 8.0%となっています。

また、軽傷者では、40-44 歳 11.6%、45-49 歳 11.2%、35-39 歳 9.8%となっています。

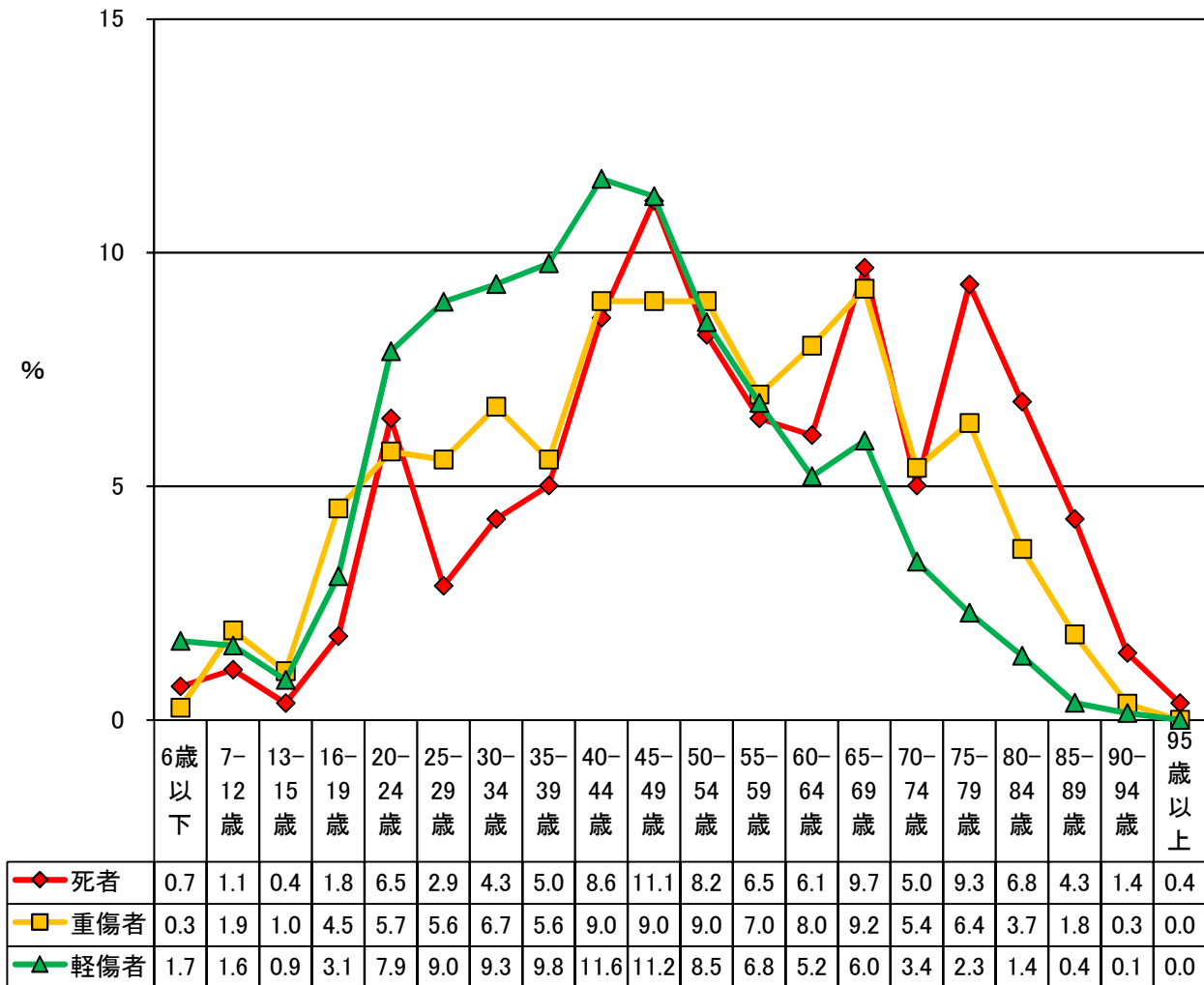


図 17-2 年齢別死傷者数の構成率（平成 29 年）

(5) 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 20-29 年）

事業用貨物自動車の死者数全体の推移は、平成 20 年から平成 24 年までは増減を繰り返していますが、平成 25 年以降はほぼ減少傾向にあり、平成 28 年以降は 300 人を下回っています。

第 2 当事者別でみると、比較的顕著な減少傾向にあるのは対歩行者で、平成 24 年の 143 人をピークに平成 28 年には 89 人まで減少しています。

表 17-4 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 20-29 年）

第2当事者	年									
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
乗用車	56	32	46	51	48	41	30	33	31	30
貨物車	58	59	71	57	52	53	51	41	36	41
二輪車	40	47	35	37	38	37	28	25	29	27
対自転車	90	71	84	78	57	73	74	59	53	47
対歩行者	141	143	121	119	143	124	121	112	89	90
物件	19	12	23	10	28	14	23	20	15	22
その他	24	23	22	16	23	22	13	22	17	22
合計	428	387	402	368	389	364	340	312	270	279

※ 「第 2 当事者」は、表 17-1 の項目とする。

※ 「その他」は、特殊車、路面電車、列車、駐車車両（運転者不在）、相手なし、不明の合計とする。

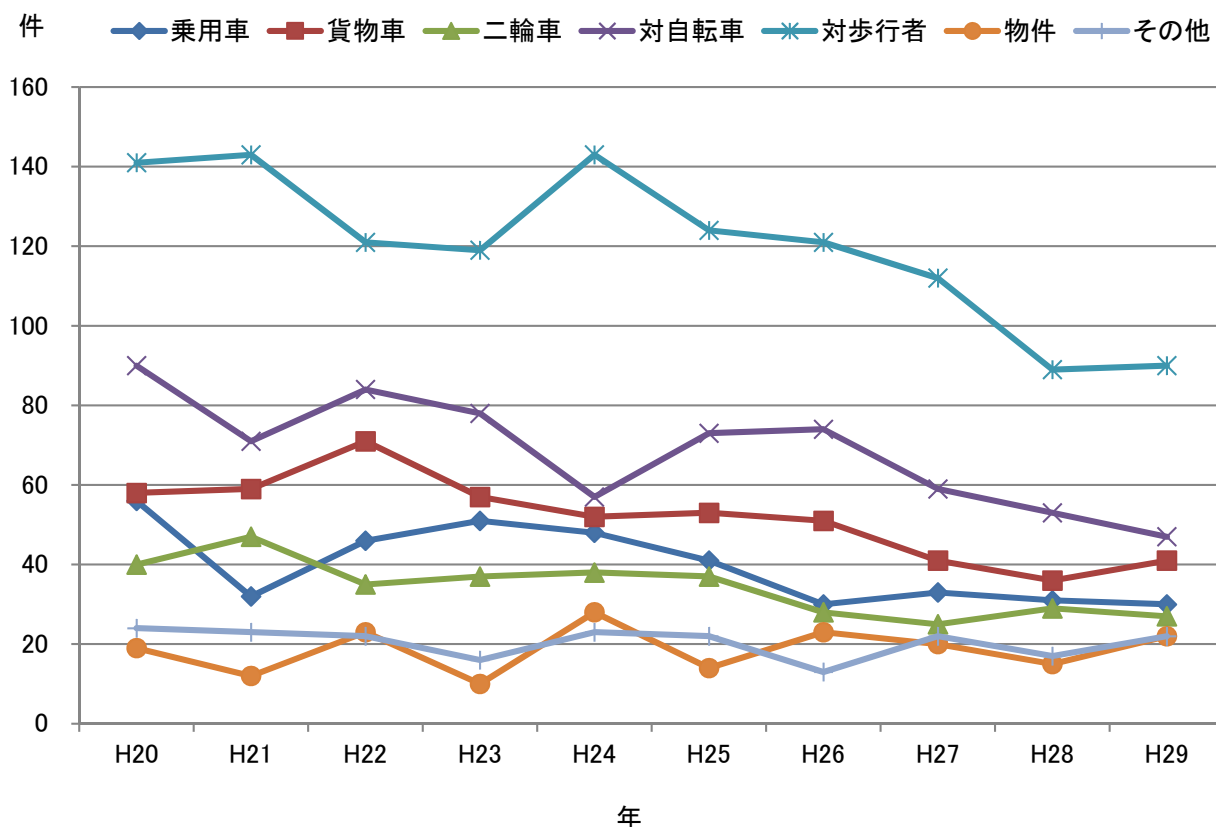


図 17-3 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 20-29 年）

(6) 事業用貨物自動車の対歩行者・対自転車の年齢別死者数（平成 29 年）

平成 29 年の対歩行者と対自転車の年齢別死者数は、歩行者の年齢別でみると、第 1 当事者種別では、大型は 75-79 歳 7 人、80-84 歳及び 85-89 歳各 5 人、中型は、65-69 歳 7 人、75-79 歳 4 人、準中型は、80-84 歳 4 人、普通は、70-74 歳 2 人となり、高齢者が多くなっています。

自転車の年齢別でみると、大型では、75-79 歳及び 80-84 歳各 4 人、中型では、60-64 歳及び 75-79 歳各 2 人、準中型では、16-19 歳、25-29 歳、30-34 歳、60-64 歳、80-84 歳各 1 人、普通では、65-69 歳 1 人となっています。

表 17-5 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（平成 29 年）

第2当事者 第1当事者 年齢(第2当事者)	対歩行者					対自転車					合計
	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	
6歳以下	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
7-12歳	0	1	0	0	1	2	0	0	0	2	3
13-15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16-19歳	0	0	0	0	0	3	0	1	0	4	4
20-24歳	1	1	2	1	5	1	1	0	0	2	7
25-29歳	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2
30-34歳	2	0	0	0	2	1	0	1	0	2	4
35-39歳	1	2	0	1	4	1	0	0	0	1	5
40-44歳	4	3	1	0	8	1	1	0	0	2	10
45-49歳	2	2	1	0	5	2	0	0	0	2	7
50-54歳	4	1	2	0	7	2	1	0	0	3	10
55-59歳	1	0	0	0	1	1	1	0	0	2	3
60-64歳	0	2	2	0	4	3	2	1	0	6	10
65-69歳	4	7	1	0	12	2	1	0	1	4	16
70-74歳	3	0	0	2	5	3	0	0	0	3	8
75-79歳	7	4	1	0	12	4	2	0	0	6	18
80-84歳	5	1	4	0	10	4	0	1	0	5	15
85-89歳	5	3	1	0	9	0	1	0	0	1	10
90-94歳	1	2	0	0	3	0	0	0	0	0	3
95歳以上	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	42	29	15	4	90	31	10	5	1	47	137

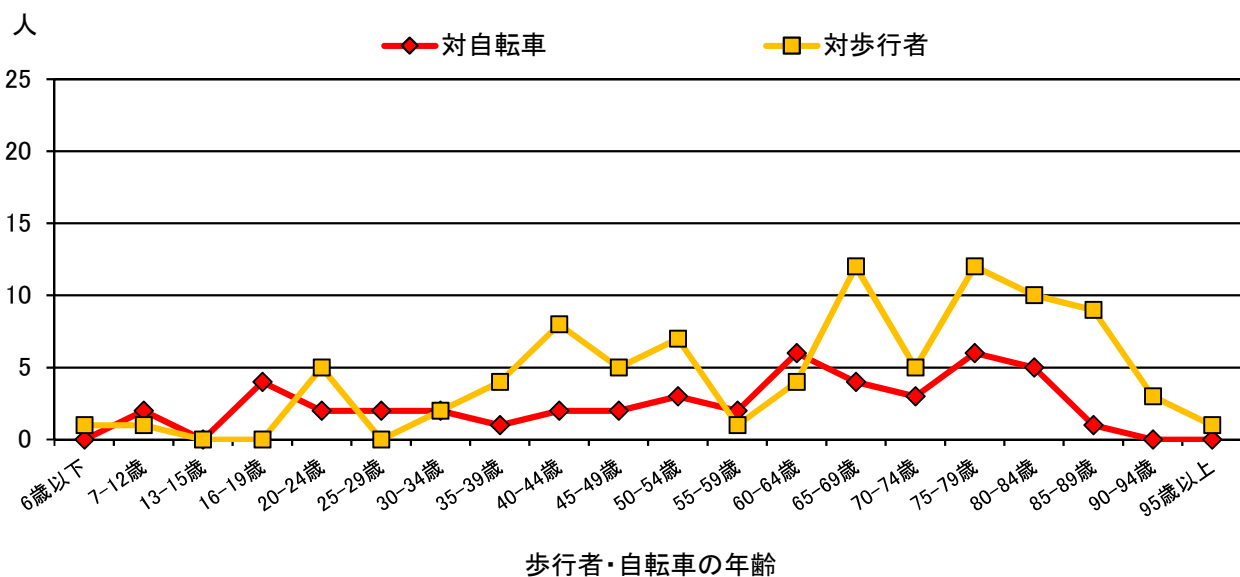


図 17-4 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（平成 29 年）

付 録

- 付録 1. 都道府県別の死傷事故件数（平成29年）
- 付録 2. 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（平成29年）
- 付録 3. 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（平成29年）
- 付録 4. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（平成29年）
- 付録 5. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（平成29年）
- 付録 6. 交通事故発生状況の推移（平成3-29年）
- 付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成20-29年）
- 付録 8. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成20-29年）
- 付録 9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成20-29年）
- 付録10. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成20-29年）
- 付録11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（平成29年）
- 付録12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（平成29年）
- 付録13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成20-29年）
- 付録14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成20-29年）
- 付録15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（平成29年）
- 付録16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成29年）
- 付録17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（平成29年）
- 付録18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成29年）
- 付録19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況
- 付録20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況
- 付録21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況
- 付録22. 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況
- 付録23. 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況
- 付録24. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数（平成26-29年）
- 付録25. 事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成28-29年）

付録1 都道府県別の死傷事故件数（平成29年）

区分 都道府県		死亡			重傷			軽傷			合計			
		件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	
北海道	札幌	70	-14	-16.7	642	-54	-7.8	7,105	-109	-1.5	7,817	-177	-2.2	
	函館	12	3	33.3	95	7	8.0	729	-84	-10.3	836	-74	-8.1	
	旭川	21	-1	-4.5	104	-22	-17.5	817	-104	-11.3	942	-127	-11.9	
	釧路	27	5	22.7	136	-26	-16.0	742	-59	-7.4	905	-80	-8.1	
	北見	14	2	16.7	40	-18	-31.0	261	-40	-13.3	315	-56	-15.1	
	計	144	-5	-3.4	1,017	-113	-10.0	9,654	-396	-3.9	10,815	-514	-4.5	
東北	青森	42	-7	-14.3	242	26	12.0	2,974	-501	-14.4	3,258	-482	-12.9	
	岩手	55	-15	-21.4	323	-61	-15.9	1,853	-66	-3.4	2,231	-142	-6.0	
	宮城	50	-17	-25.4	663	73	12.4	6,778	-551	-7.5	7,491	-495	-6.2	
	秋田	30	-21	-41.2	284	-33	-10.4	1,720	-89	-4.9	2,034	-143	-6.6	
	山形	37	9	32.1	490	-78	-13.7	5,289	-251	-4.5	5,816	-320	-5.2	
	福島	64	-24	-27.3	588	21	3.7	4,936	-211	-4.1	5,588	-214	-3.7	
東京	163	8	5.2	733	411	127.6	31,867	-68	-0.2	32,763	351	1.1		
関東	茨城	140	-6	-4.1	882	-63	-6.7	8,657	-707	-7.6	9,679	-776	-7.4	
	栃木	94	19	25.3	512	-22	-4.1	4,259	-616	-12.6	4,865	-619	-11.3	
	群馬	65	9	16.1	343	37	12.1	12,337	-875	-6.6	12,745	-829	-6.1	
	埼玉	177	27	18.0	2,606	-116	-4.3	23,493	-1,451	-5.8	26,276	-1,540	-5.5	
	千葉	154	-28	-15.4	2,046	120	6.2	15,830	-84	-0.5	18,030	8	0.0	
	神奈川	147	11	8.1	1,308	-2	-0.2	27,085	1,440	5.6	28,540	1,449	5.3	
	新潟	81	-24	-22.9	855	-61	-6.7	3,368	-305	-8.3	4,304	-390	-8.3	
	山梨	37	3	8.8	345	-18	-5.0	3,813	-127	-3.2	4,195	-142	-3.3	
	長野	79	-27	-25.5	673	18	2.7	7,197	-340	-4.5	7,949	-349	-4.2	
	静岡	123	-14	-10.2	1,192	-56	-4.5	28,929	-1,204	-4.0	30,244	-1,274	-4.0	
	中部	富山	36	-23	-39.0	410	-38	-8.5	2,792	-167	-5.6	3,238	-228	-6.6
		石川	34	-12	-26.1	313	-37	-10.6	2,851	-294	-9.3	3,198	-343	-9.7
福井		46	-3	-6.1	265	-52	-16.4	1,238	-243	-16.4	1,549	-298	-16.1	
岐阜		74	-14	-15.9	543	-115	-17.5	5,031	-869	-14.7	5,648	-998	-15.0	
愛知		196	-11	-5.3	968	99	11.4	37,951	-2,524	-6.2	39,115	-2,436	-5.9	
三重		83	-15	-15.3	667	-105	-13.6	4,691	-477	-9.2	5,441	-597	-9.9	
滋賀		53	1	1.9	430	-25	-5.5	4,393	-394	-8.2	4,876	-418	-7.9	
近畿	京都	64	4	6.7	1,189	-32	-2.6	5,892	-914	-13.4	7,145	-942	-11.6	
	大阪	147	-10	-6.4	2,941	105	3.7	32,909	-2,018	-5.8	35,997	-1,923	-5.1	
	兵庫	160	10	6.7	1,829	-218	-10.6	24,802	-341	-1.4	26,791	-549	-2.0	
	奈良	40	-5	-11.1	532	-11	-2.0	3,888	-31	-0.8	4,460	-47	-1.0	
	和歌山	38	-2	-5.0	484	30	6.6	2,069	-351	-14.5	2,591	-323	-11.1	
	中国	鳥取	26	9	52.9	154	-2	-1.3	785	-29	-3.6	965	-22	-2.2
		島根	17	-10	-37.0	220	39	21.5	1,045	-61	-5.5	1,282	-32	-2.4
岡山		94	17	22.1	607	-144	-19.2	6,519	-1,583	-19.5	7,220	-1,710	-19.1	
広島		91	7	8.3	1,217	-80	-6.2	7,576	-806	-9.6	8,884	-879	-9.0	
山口		78	20	34.5	631	23	3.8	4,209	-526	-11.1	4,918	-483	-8.9	
四国	徳島	33	-15	-31.3	354	-43	-10.8	2,764	-370	-11.8	3,151	-428	-12.0	
	香川	47	-14	-23.0	316	83	35.6	5,763	-733	-11.3	6,126	-664	-9.8	
	愛媛	78	2	2.6	857	53	6.6	3,162	-455	-12.6	4,097	-400	-8.9	
	高知	29	-11	-27.5	376	-27	-6.7	1,385	-365	-20.9	1,790	-403	-18.4	
九州	福岡	138	1	0.7	1,010	-20	-1.9	33,714	-2,427	-6.7	34,862	-2,446	-6.6	
	佐賀	36	2	5.9	139	16	13.0	6,590	-1,036	-13.6	6,765	-1,018	-13.1	
	長崎	47	7	17.5	491	6	1.2	4,753	-374	-7.3	5,291	-361	-6.4	
	熊本	71	4	6.0	758	37	5.1	4,957	-406	-7.6	5,786	-365	-5.9	
	大分	44	2	4.8	377	-34	-8.3	3,710	-315	-7.8	4,131	-347	-7.7	
	宮崎	42	-3	-6.7	358	6	1.7	7,893	-725	-8.4	8,293	-722	-8.0	
	鹿児島	65	1	1.6	789	-17	-2.1	5,710	-894	-13.5	6,564	-910	-12.2	
	沖縄	41	3	7.9	613	-20	-3.2	4,514	-306	-6.3	5,168	-323	-5.9	
合計	3,630	-160	-4.2	34,940	-440	-1.2	433,595	-26,436	-5.7	472,165	-27,036	-5.4		

付録2 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（平成29年）

(件)

第1当事者種別 都道府県		事業用										事業用 合計
		乗用車				貨物車						
		バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	トレーラ	
北海道	札幌	33	0	550	583	115	78	21	18	232	33	815
	函館	3	0	34	37	5	6	5	1	17	0	54
	旭川	4	0	25	29	22	8	3	4	37	9	66
	釧路	4	1	21	26	17	4	2	0	23	5	49
	北見	3	0	5	8	6	3	1	0	10	3	18
	計	47	1	635	683	165	99	32	23	319	50	1,002
東北	青森	10	1	70	81	34	30	5	3	72	1	153
	岩手	4	0	33	37	23	25	10	2	60	3	97
	宮城	7	2	165	174	82	64	11	14	171	26	345
	秋田	2	1	18	21	19	20	3	2	44	1	65
	山形	8	2	30	40	46	44	7	6	103	7	143
	福島	8	2	55	65	80	46	16	9	151	6	216
東京		168	20	3,412	3,600	361	468	421	273	1,523	129	5,123
関東	茨城	11	2	52	65	136	88	25	27	276	36	341
	栃木	1	1	38	40	63	66	10	2	141	17	181
	群馬	13	3	48	64	125	104	26	10	265	23	329
	埼玉	46	2	423	471	367	423	194	104	1,088	74	1,559
	千葉	64	3	337	404	240	236	138	33	647	45	1,051
	神奈川	149	5	992	1,146	339	333	263	120	1,055	85	2,201
	新潟	5	2	56	63	51	25	11	6	93	5	156
	山梨	4	0	31	35	27	26	7	12	72	8	107
	長野	11	1	75	87	74	72	23	13	182	13	269
	静岡	47	3	356	406	369	240	104	42	755	40	1,161
中部	富山	2	0	17	19	35	31	9	2	77	6	96
	石川	15	1	56	72	40	26	7	7	80	5	152
	福井	1	0	10	11	20	26	2	3	51	6	62
	岐阜	6	2	37	45	77	45	11	8	141	14	186
	愛知	69	7	657	733	481	439	128	93	1,141	84	1,874
	三重	8	0	18	26	122	72	20	12	226	24	252
近畿	滋賀	10	4	41	55	103	65	30	6	204	17	259
	京都	70	1	374	445	78	86	63	19	246	8	691
	大阪	130	12	1,574	1,716	540	525	368	152	1,585	95	3,301
	兵庫	110	5	644	759	352	281	158	50	841	63	1,600
	奈良	4	0	30	34	49	46	19	9	123	6	157
	和歌山	3	0	28	31	24	16	13	4	57	3	88
中国	鳥取	2	0	11	13	12	5	3	1	21	0	34
	島根	5	0	12	17	8	9	4	1	22	3	39
	岡山	9	0	67	76	97	62	24	3	186	17	262
	広島	18	0	242	260	136	71	29	16	252	13	512
	山口	11	3	73	87	84	54	9	8	155	13	242
四国	徳島	6	0	46	52	23	16	10	6	55	5	107
	香川	10	0	68	78	51	44	10	8	113	10	191
	愛媛	8	0	70	78	36	28	20	7	91	4	169
	高知	7	0	35	42	10	5	6	3	24	2	66
九州	福岡	147	8	1,235	1,390	372	262	114	43	791	34	2,181
	佐賀	7	2	56	65	58	59	19	9	145	6	210
	長崎	43	0	189	232	34	34	21	10	99	6	331
	熊本	12	2	104	118	56	49	12	8	125	10	243
	大分	6	0	75	81	40	33	14	6	93	12	174
	宮崎	22	1	128	151	61	22	8	18	109	19	260
	鹿児島	32	1	119	152	48	33	9	10	100	11	252
	沖縄	13	1	287	301	15	8	6	17	46	7	347
合計		1,391	101	13,129	14,621	5,663	4,861	2,452	1,240	14,216	1,072	28,837

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型、準中型及び普通）の内数。

付録3 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（平成29年）

（件）

第1当事者種別	事業用										事業用 合計	
	乗用車				貨物車							
	バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	トレーラ		
法令違反												
車 両 の 運 者	信号無視	18	3	340	361	209	181	73	40	503	38	864
	通行区分	7	-	27	34	29	28	13	6	76	9	110
	最高速度	-	-	6	6	15	8	3	-	26	4	32
	横断転回後退	3	-	157	160	23	23	16	10	72	4	232
	車間距離不保持	9	1	26	36	35	40	12	4	91	3	127
	追越し	10	-	18	28	48	26	6	2	82	7	110
	踏切不停止	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1
	右折	2	2	42	46	18	17	5	4	44	6	90
	左折	7	-	77	84	40	22	15	10	87	12	171
	環状交差点違反	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	優先通行妨害	9	2	237	248	53	54	31	15	153	8	401
	交差点安全進行	60	1	1,210	1,271	166	158	142	81	547	40	1,818
	歩行者妨害等	37	2	567	606	102	98	68	33	301	14	907
	徐行	4	1	115	120	-	10	18	9	37	-	157
	一時不停止	1	1	461	463	21	49	31	21	122	5	585
	整備不良	1	-	1	2	10	-	1	-	11	3	13
	酒酔い	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1
	過労運転	1	-	5	6	7	12	2	1	22	-	28
	薬物運転	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	2
	安 全 運 転 義 務 者	運転操作	260	8	840	1,108	367	298	126	76	867	72
前方		42	6	526	574	569	652	259	103	1,583	106	2,157
漫然												
不注意		81	12	1,353	1,446	1,141	1,089	472	226	2,928	202	4,374
脇見												
動静不注視		197	16	926	1,139	916	782	348	168	2,214	163	3,353
安全不確認		397	34	5,145	5,576	1,549	1,092	679	370	3,690	292	9,266
安全速度		17	2	38	57	44	17	5	5	71	12	128
その他	156	4	303	463	91	79	46	22	238	27	701	
その他の違反	72	6	703	781	205	125	78	33	441	44	1,222	
不明	-	-	4	4	3	1	3	1	8	-	12	
計	1,391	101	13,129	14,621	5,663	4,861	2,452	1,240	14,216	1,072	28,837	
歩 行 者	信号無視	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車両直前直後横断	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他横断	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	酩酊・はいかい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	路上遊戯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	飛び出し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の違反	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
当事者不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	1,391	101	13,129	14,621	5,663	4,861	2,452	1,240	14,216	1,072	28,837	

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型、準中型及び普通）の内数。

付録4 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（平成29年）

区分 運輸支局等		死 亡				重 傷				軽 傷				合 計		
		バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック
北海道	札幌	2	1	2	5	3	27	33	63	23	503	166	692	28	531	201
	函館	0	0	2	2	0	3	2	5	3	31	17	51	3	34	21
	室蘭	0	0	2	2	0	0	4	4	3	16	41	60	3	16	47
	帯広	0	0	1	1	0	3	2	5	2	10	15	27	2	13	18
	釧路	0	0	1	1	0	2	2	4	3	6	8	17	3	8	11
	北見	0	0	0	0	0	0	4	4	2	4	7	13	2	4	11
	旭川	0	0	1	1	0	3	4	7	5	21	25	51	5	24	30
	小計	2	1	9	12	3	38	51	92	41	591	279	911	46	630	339
東北	宮城	0	0	4	4	1	22	10	33	7	143	171	321	8	165	185
	福島	1	1	7	9	0	2	20	22	9	53	137	199	10	56	164
	岩手	0	0	5	5	1	5	12	18	3	28	55	86	4	33	72
	青森	0	0	3	3	3	10	12	25	9	61	72	142	12	71	87
	山形	0	0	1	1	1	0	6	7	8	30	90	128	9	30	97
	秋田	0	0	2	2	0	2	10	12	3	15	53	71	3	17	65
	小計	1	1	22	24	6	41	70	117	39	330	578	947	46	372	670
北陸信越	新潟	0	0	5	5	1	10	19	30	7	46	96	149	8	56	120
	長野	0	1	2	3	1	9	28	38	12	63	146	221	13	73	176
	石川	0	0	2	2	3	6	7	16	13	50	87	150	16	56	96
	富山	0	0	3	3	0	2	9	11	3	15	96	114	3	17	108
	小計	0	1	12	13	5	27	63	95	35	174	425	634	40	202	500
関東	東京	1	6	10	17	8	53	36	97	177	3,375	1,074	4,626	186	3,434	1,120
	神奈川	3	1	12	16	11	28	36	75	135	932	880	1,947	149	961	928
	千葉	1	4	12	17	10	43	58	111	65	273	639	977	76	320	709
	埼玉	2	4	13	19	7	35	72	114	43	357	980	1,380	52	396	1,065
	茨城	0	0	9	9	3	7	36	46	12	41	320	373	15	48	365
	群馬	0	0	4	4	0	0	18	18	10	48	261	319	10	48	283
	栃木	0	0	1	1	0	5	20	25	2	33	124	159	2	38	145
	山梨	0	0	1	1	0	2	6	8	5	29	63	97	5	31	70
	小計	7	15	62	84	39	173	282	494	449	5,088	4,341	9,878	495	5,276	4,685
中部	愛知	1	0	11	12	3	11	50	64	69	634	985	1,688	73	645	1,046
	静岡	0	0	7	7	2	16	33	51	40	328	623	991	42	344	663
	岐阜	0	0	2	2	1	5	12	18	6	31	170	207	7	36	184
	三重	0	0	4	4	2	0	14	16	7	18	188	213	9	18	206
	福井	0	0	0	0	1	1	4	6	1	8	48	57	2	9	52
	小計	1	0	24	25	9	33	113	155	123	1,019	2,014	3,156	133	1,052	2,151
近畿	大阪	1	5	36	42	16	114	131	261	125	1,464	1,497	3,086	142	1,583	1,664
	大京都	0	0	8	8	9	47	35	91	60	331	269	660	69	378	312
	兵庫	1	0	14	15	10	32	49	91	100	598	610	1,308	111	630	673
	滋賀	0	0	1	1	3	4	13	20	9	31	103	143	12	35	117
	奈良	0	0	2	2	1	4	12	17	4	24	114	142	5	28	128
	和歌山	0	0	0	0	0	5	13	18	3	23	96	122	3	28	109
	小計	2	5	61	68	39	206	253	498	301	2,471	2,689	5,461	342	2,682	3,003
中国	広島	0	1	7	8	3	30	16	49	16	209	233	458	19	240	256
	鳥取	0	0	0	0	0	4	3	7	3	7	36	46	3	11	39
	島根	0	0	2	2	1	3	2	6	3	8	16	27	4	11	20
	岡山	0	1	11	12	2	2	22	26	8	64	186	258	10	67	219
	山口	0	0	1	1	3	8	12	23	12	65	96	173	15	73	109
	小計	0	2	21	23	9	47	55	111	42	353	567	962	51	402	643
四国	香川	0	1	4	5	0	3	7	10	13	65	124	202	13	69	135
	徳島	0	0	0	0	1	8	6	15	7	37	54	98	8	45	60
	愛媛	0	0	12	12	1	11	18	30	6	48	80	134	7	59	110
	高知	0	1	2	3	1	1	4	6	5	33	29	67	6	35	35
	小計	0	2	18	20	3	23	35	61	31	183	287	501	34	208	340
九州	福岡	0	5	13	18	8	32	39	79	142	1,186	776	2,104	150	1,223	828
	佐賀	0	0	4	4	0	3	5	8	9	52	129	190	9	55	138
	長崎	0	1	3	4	3	22	6	31	43	164	93	300	46	187	102
	熊本	0	0	4	4	3	11	13	27	6	92	136	234	9	103	153
	大分	0	0	4	4	0	8	10	18	8	67	79	154	8	75	93
	宮崎	1	2	4	7	2	5	7	14	20	119	104	243	23	126	115
	鹿児島	0	1	3	4	14	15	16	45	22	105	127	254	36	121	146
	小計	1	9	35	45	30	96	96	222	250	1,785	1,444	3,479	281	1,890	1,575
沖縄	0	2	0	2	2	33	8	43	12	249	37	298	14	284	45	
不明	1	1	6	8	2	4	31	37	7	126	228	361	10	131	265	
	合計	15	39	270	324	147	721	1,057	1,925	1,330	12,369	12,889	26,588	1,492	13,129	14,216

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、バス及びマイクロバス、ハイタクは、ミニバン・セダン等、トラックは、貨物車。

付録5 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（平成29年）

区分 運輸支局等	死 亡				重 傷				軽 傷				合 計			
	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	
北海道	札幌	2	1	2	5	3	28	37	68	31	579	200	810	36	608	239
	函館	0	0	2	2	0	3	2	5	5	47	17	69	5	50	21
	室蘭	0	0	2	2	0	0	8	8	3	21	63	87	3	21	73
	帯広	0	0	1	1	0	3	2	5	3	10	22	35	3	13	25
	釧路	0	0	1	1	0	2	2	4	3	6	10	19	3	8	13
	北見	0	0	0	0	0	0	4	4	3	5	8	16	3	5	12
	旭川	0	0	1	1	0	4	4	8	5	27	42	74	5	31	47
小計	2	1	9	12	3	40	59	102	53	695	362	1,110	58	736	430	
東北	宮城	0	0	4	4	1	22	11	34	10	167	228	405	11	189	243
	福島	1	1	7	9	0	2	23	25	11	60	188	259	12	63	218
	岩手	0	0	5	5	1	5	14	20	3	30	75	108	4	35	94
	青森	0	0	4	4	3	10	12	25	13	79	106	198	16	89	122
	山形	0	0	1	1	1	0	6	7	15	34	105	154	16	34	112
	秋田	0	0	2	2	0	2	10	12	3	17	65	85	3	19	77
小計	1	1	23	25	6	41	76	123	55	387	767	1,209	62	429	866	
北陸信越	新潟	0	0	7	7	1	10	21	32	8	54	127	189	9	64	155
	長野	0	1	2	3	1	10	30	41	14	72	205	291	15	83	237
	石川	0	0	2	2	3	6	7	16	13	60	117	190	16	66	126
	富山	0	0	3	3	0	2	9	11	3	18	130	151	3	20	142
小計	0	1	14	15	5	28	67	100	38	204	579	821	43	233	660	
関東	東京	1	6	10	17	10	54	38	102	273	3,883	1,342	5,498	284	3,943	1,390
	神奈川	3	1	12	16	11	29	41	81	160	1,071	1,135	2,366	174	1,101	1,188
	千葉	1	4	12	17	13	44	60	117	90	324	867	1,281	104	372	939
	埼玉	2	4	13	19	7	35	75	117	62	422	1,282	1,766	71	461	1,370
	茨城	0	0	9	9	3	7	36	46	12	49	477	538	15	56	522
	群馬	0	0	4	4	0	0	19	19	15	58	353	426	15	58	376
	栃木	0	0	1	1	0	6	22	28	3	40	172	215	3	46	195
	山梨	0	0	1	1	0	3	6	9	6	33	84	123	6	36	91
小計	7	15	62	84	44	178	297	519	621	5,880	5,712	12,213	672	6,073	6,071	
中部	愛知	1	0	12	13	3	12	56	71	82	761	1,350	2,193	86	773	1,418
	静岡	0	0	7	7	2	16	34	52	43	409	856	1,308	45	425	897
	岐阜	0	0	2	2	1	6	14	21	7	36	241	284	8	42	257
	三重	0	0	4	4	2	0	14	16	8	20	276	304	10	20	294
	福井	0	0	0	0	1	1	4	6	3	9	59	71	4	10	63
小計	1	0	25	26	9	35	122	166	143	1,235	2,782	4,160	153	1,270	2,929	
近畿	大阪	1	5	37	43	16	116	151	283	160	1,717	2,034	3,911	177	1,838	2,222
	京都	0	0	8	8	9	49	36	94	68	391	349	808	77	440	393
	兵庫	1	0	14	15	10	32	51	93	117	708	829	1,654	128	740	894
	滋賀	0	0	1	1	5	4	13	22	30	36	154	220	35	40	168
	奈良	0	0	2	2	1	4	14	19	6	28	160	194	7	32	176
	和歌山	0	0	0	0	0	5	13	18	5	25	139	169	5	30	152
	小計	2	5	62	69	41	210	278	529	386	2,905	3,665	6,956	429	3,120	4,005
中国	広島	0	1	8	9	3	30	17	50	17	241	332	590	20	272	357
	鳥取	0	0	0	0	0	4	3	7	3	8	48	59	3	12	51
	島根	0	0	2	2	1	3	2	6	3	10	20	33	4	13	24
	岡山	0	1	12	13	2	2	23	27	9	67	252	328	11	70	287
	山口	0	0	1	1	3	8	12	23	18	75	146	239	21	83	159
小計	0	2	23	25	9	47	57	113	50	401	798	1,249	59	450	878	
四国	香川	0	1	4	5	0	3	7	10	24	78	165	267	24	82	176
	徳島	0	0	0	0	1	8	7	16	7	46	79	132	8	54	86
	愛媛	0	0	13	13	1	11	23	35	6	54	131	191	7	65	167
	高知	0	1	2	3	1	1	4	6	6	37	36	79	7	39	42
小計	0	2	19	21	3	23	41	67	43	215	411	669	46	240	471	
九州	福岡	0	5	13	18	8	32	41	81	173	1,480	1,074	2,727	181	1,517	1,128
	佐賀	0	0	4	4	0	3	8	11	9	63	184	256	9	66	196
	長崎	0	1	3	4	3	23	6	32	50	202	141	393	53	226	150
	熊本	0	0	4	4	3	12	17	32	10	106	206	322	13	118	227
	大分	0	0	4	4	0	8	11	19	11	86	109	206	11	94	124
	宮崎	1	2	4	7	2	5	8	15	20	121	136	277	23	128	148
	鹿児島	0	1	3	4	14	16	16	46	26	121	154	301	40	138	173
小計	1	9	35	45	30	99	107	236	299	2,179	2,004	4,482	330	2,287	2,146	
沖繩	0	2	0	2	3	34	9	46	14	287	59	360	17	323	68	
不明	1	1	7	9	8	4	36	48	41	161	323	525	50	166	366	
合計	15	39	279	333	161	739	1,149	2,049	1,743	14,549	17,462	33,754	1,919	15,327	18,890	

※ 軽自動車及びミニカーを除く

※ バスは、バス及びマイクロバス、ハイタクは、ミニバン及びセダン等、トラックは、貨物車。

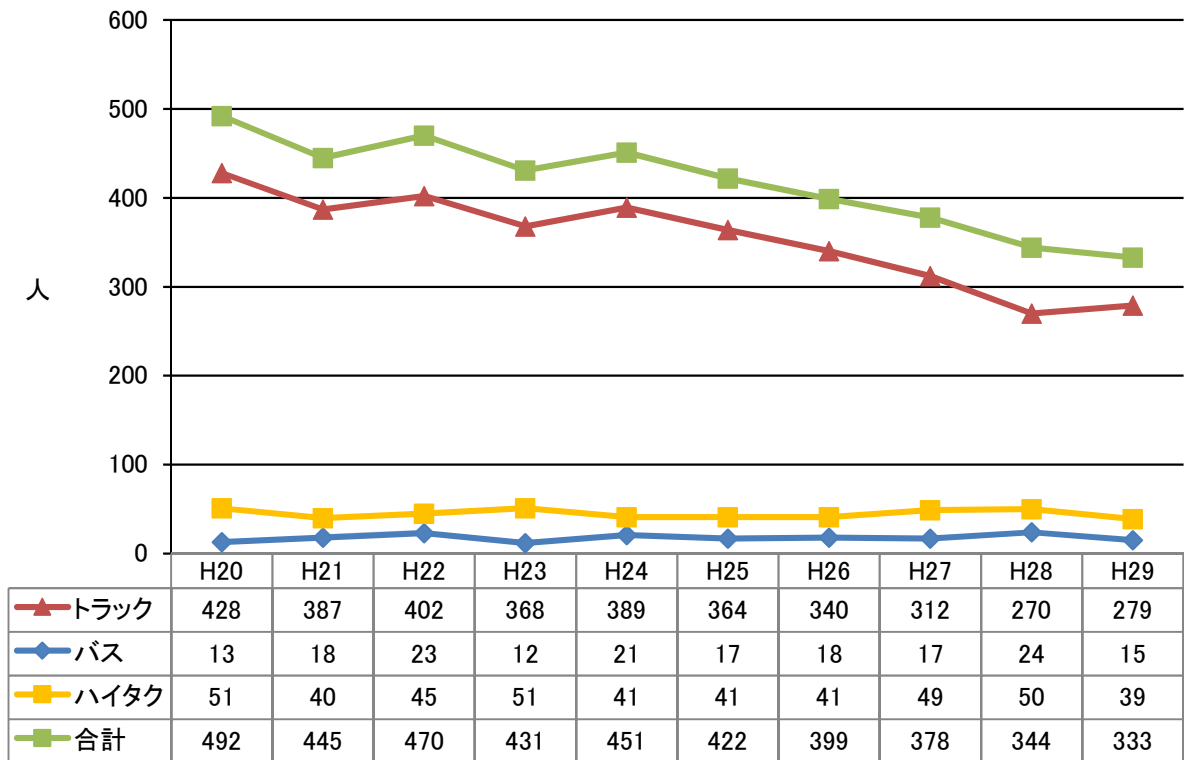
※ 死傷者数とは、事業用自動車第1当事者となった事故における全当事者数をいう。

付録6 交通事故発生状況の推移（平成3-29年）

事故状況 年	全体			貨物自動車					
	事故件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)	事故件数(件)		死者数(人)		負傷者数(人)	
				事業用	自家用	事業用	自家用	事業用	自家用
平成3年	662,392	11,109	810,245	23,396	73,707	761	1,172	30,840	89,065
平成4年	695,346	11,452	844,003	23,694	74,660	763	1,133	30,605	89,592
平成5年	724,678	10,945	878,633	24,258	77,740	708	1,074	31,281	93,211
平成6年	729,461	10,653	881,723	26,114	78,910	750	1,042	33,884	94,482
平成7年	761,794	10,684	922,677	27,840	82,551	800	1,125	35,984	99,112
平成8年	771,085	9,943	942,204	28,102	80,633	762	980	36,716	97,948
平成9年	780,401	9,642	958,925	28,453	79,063	710	954	37,361	96,147
平成10年	803,882	9,214	990,676	28,086	77,580	728	902	36,957	94,516
平成11年	850,371	9,012	1,050,399	29,721	80,294	715	896	39,630	98,544
平成12年	931,950	9,073	1,155,707	32,953	84,938	763	801	43,960	104,756
平成13年	947,253	8,757	1,181,039	33,292	83,530	690	820	44,669	103,559
平成14年	936,950	8,396	1,168,029	32,162	79,297	688	735	43,138	98,481
平成15年	948,281	7,768	1,181,681	32,492	78,786	657	691	43,726	97,801
平成16年	952,720	7,436	1,183,617	32,403	76,464	637	622	43,460	94,962
平成17年	934,346	6,937	1,157,113	32,000	73,446	632	571	42,656	90,986
平成18年	887,267	6,415	1,098,564	30,328	68,005	557	519	40,328	84,300
平成19年	832,704	5,796	1,034,652	27,356	61,829	534	506	36,316	77,224
平成20年	766,394	5,209	945,703	24,222	55,315	428	430	31,852	68,608
平成21年	737,637	4,979	911,215	20,681	49,851	387	371	27,049	62,133
平成22年	725,924	4,948	896,297	21,049	48,747	402	412	27,897	60,605
平成23年	692,084	4,691	854,613	20,568	46,826	368	386	27,282	58,427
平成24年	665,157	4,438	825,392	19,474	43,978	389	316	25,739	55,825
平成25年	629,033	4,388	781,492	18,491	41,172	364	289	24,599	51,903
平成26年	573,842	4,113	711,374	17,801	37,502	340	328	23,662	47,720
平成27年	536,899	4,117	666,023	16,156	34,719	312	257	21,366	44,468
平成28年	499,201	3,904	618,853	14,600	32,197	270	277	19,165	41,186
平成29年	472,165	3,694	580,850	14,216	30,290	279	236	18,611	38,239

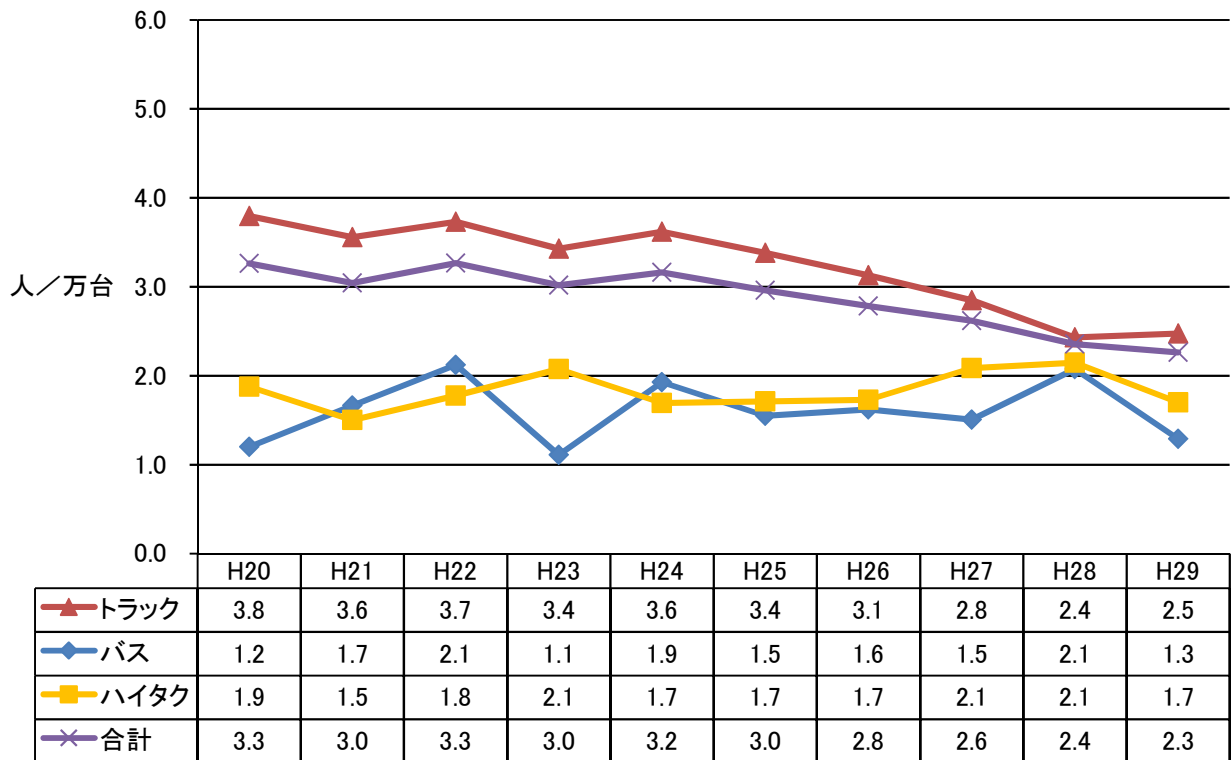
※貨物自動車は、軽自動車を除く。

付録7 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成20-29年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

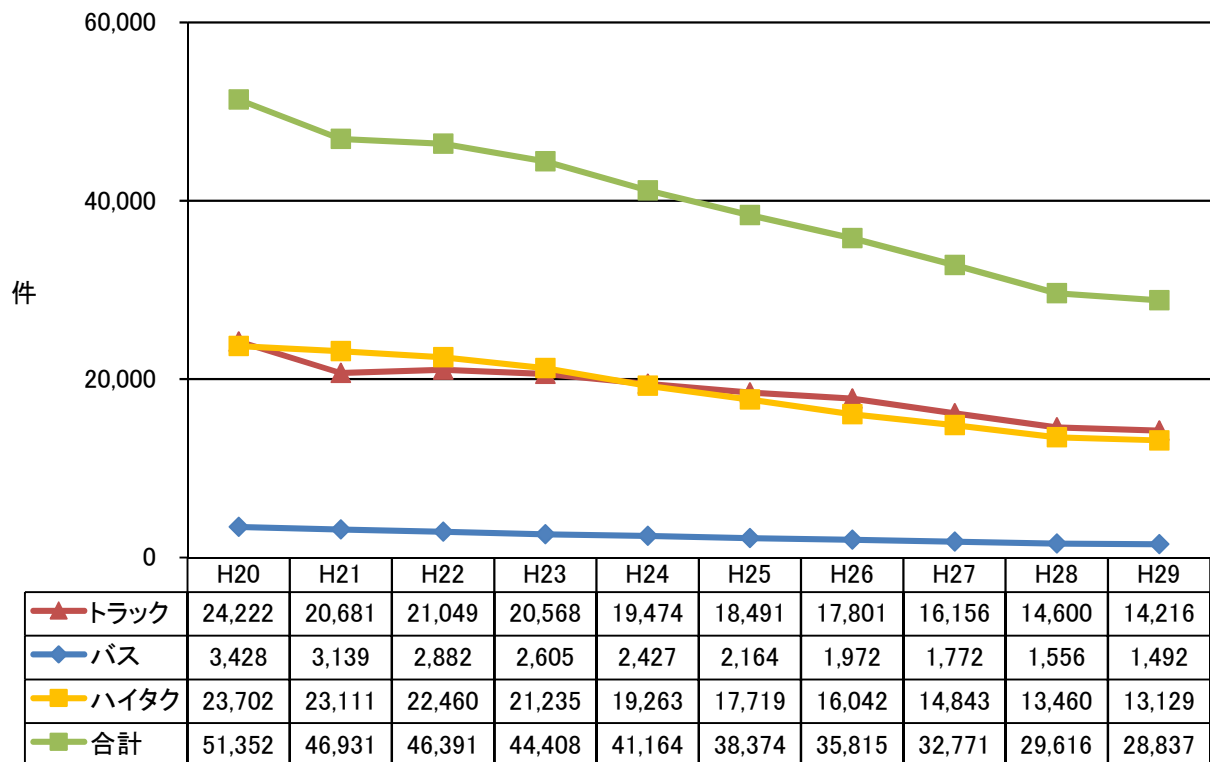
付録8 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成20-29年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

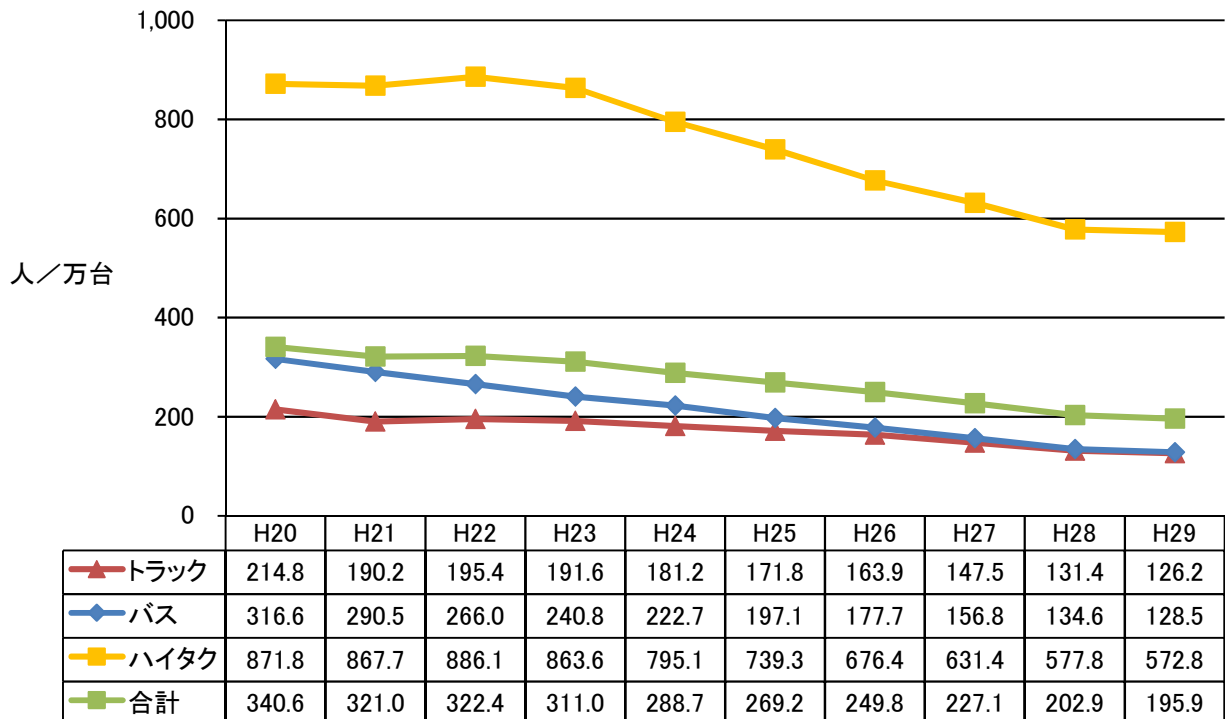
※ 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（平成29年12月末現在）」を使用した。

付録9 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成20-29年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

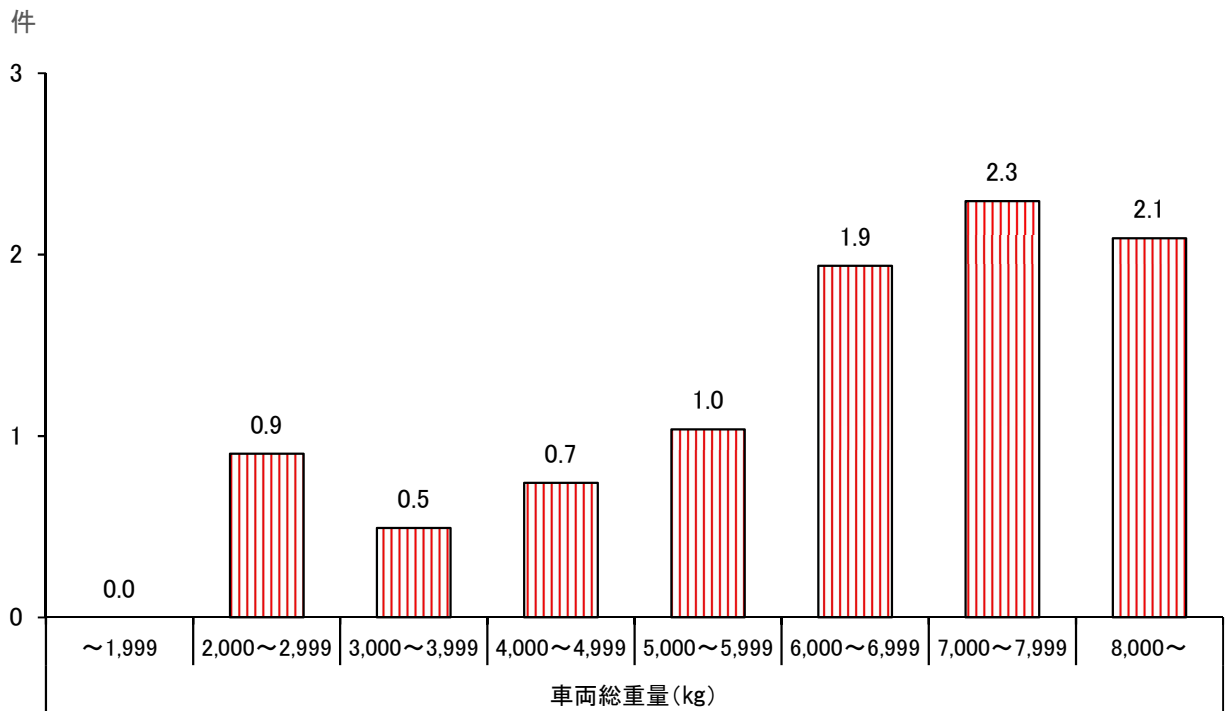
付録10 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成20-29年）



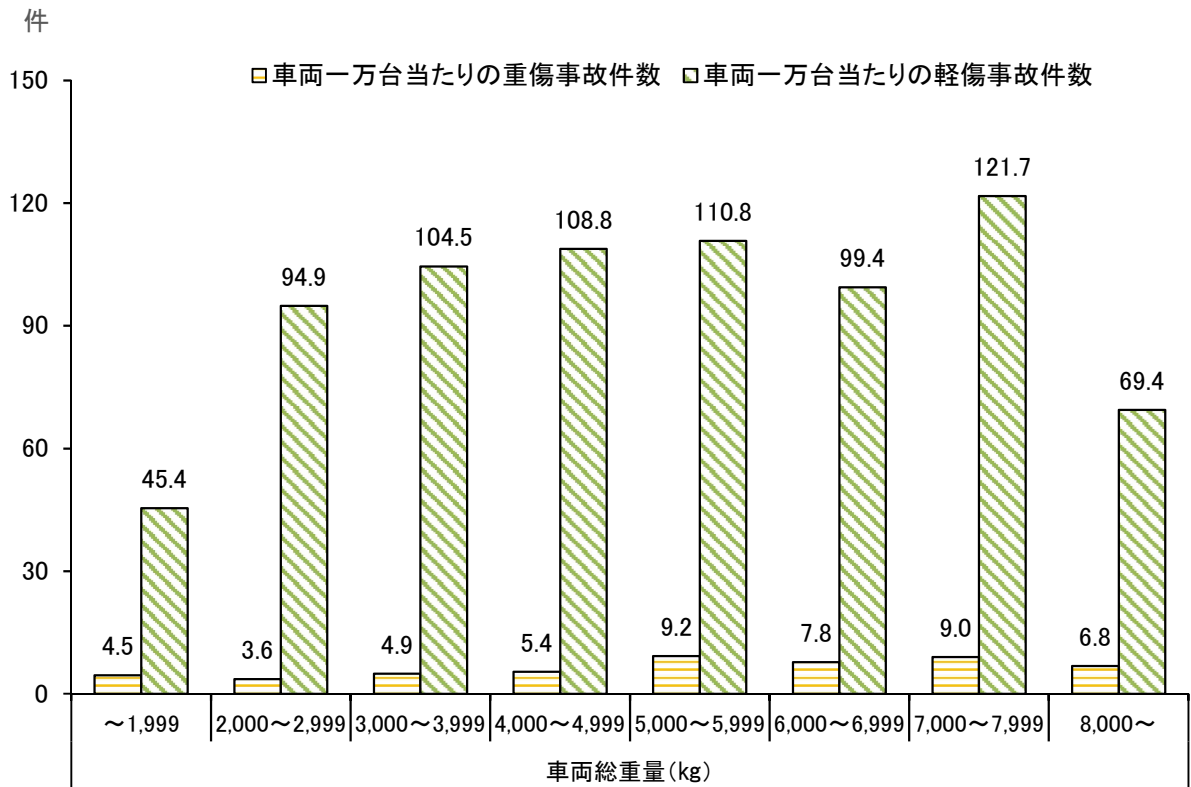
※ 軽自動車及びミニカーを除く

※ 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（平成29年12月末現在）」を使用した。

付録11 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（平成29年）



付録12 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（平成29年）



付録13 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成20-29年）

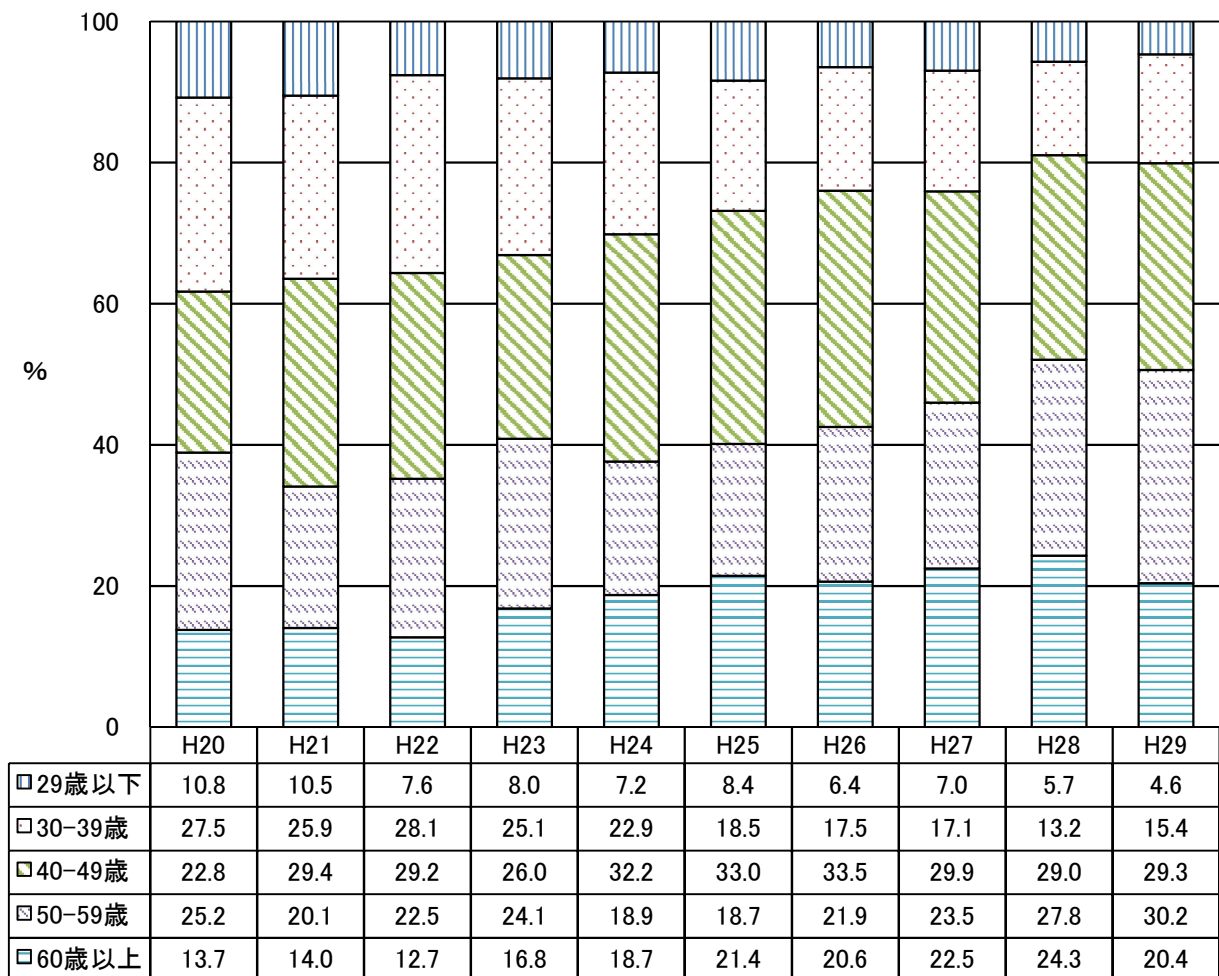
(1-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H20		51	130	108	119	65	473
H21		45	111	126	86	60	428
H22		34	126	131	101	57	449
H23		33	103	107	99	69	411
H24		31	98	138	81	80	428
H25		34	75	134	76	87	406
H26		25	68	130	85	80	388
H27		26	64	112	88	84	374
H28		18	42	92	88	77	317
H29		15	50	95	98	66	324

※ 軽自動車及びミニカーを除く

(1-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



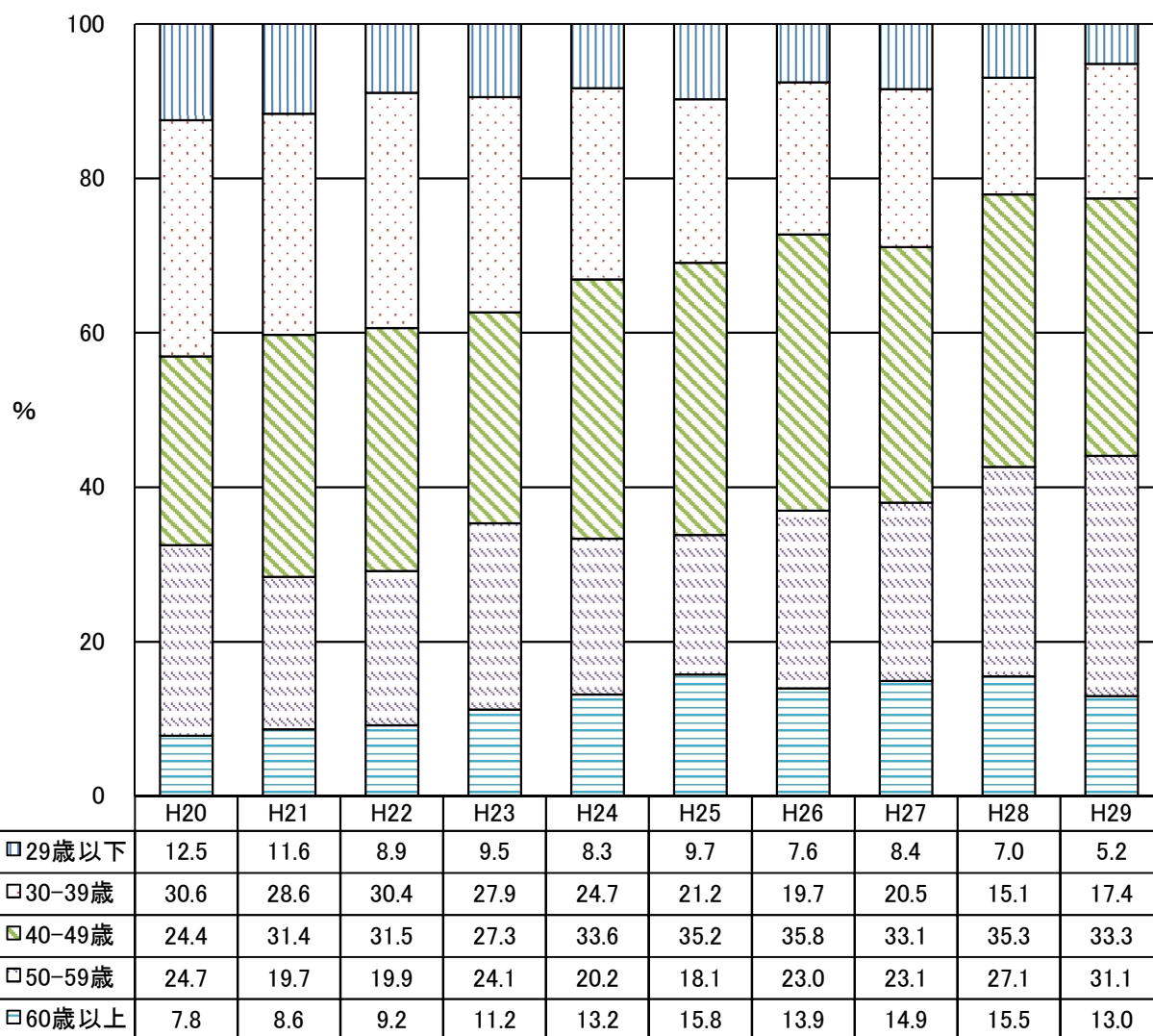
(2-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H20		51	125	100	101	32	409
H21		43	106	116	73	32	370
H22		34	116	120	76	35	381
H23		33	97	95	84	39	348
H24		31	92	125	75	49	372
H25		34	74	123	63	55	349
H26		25	65	118	76	46	330
H27		26	63	102	71	46	308
H28		18	39	91	70	40	258
H29		14	47	90	84	35	270

※ 軽自動車を除く

(2-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（トラック）



付録14 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成20-29年）

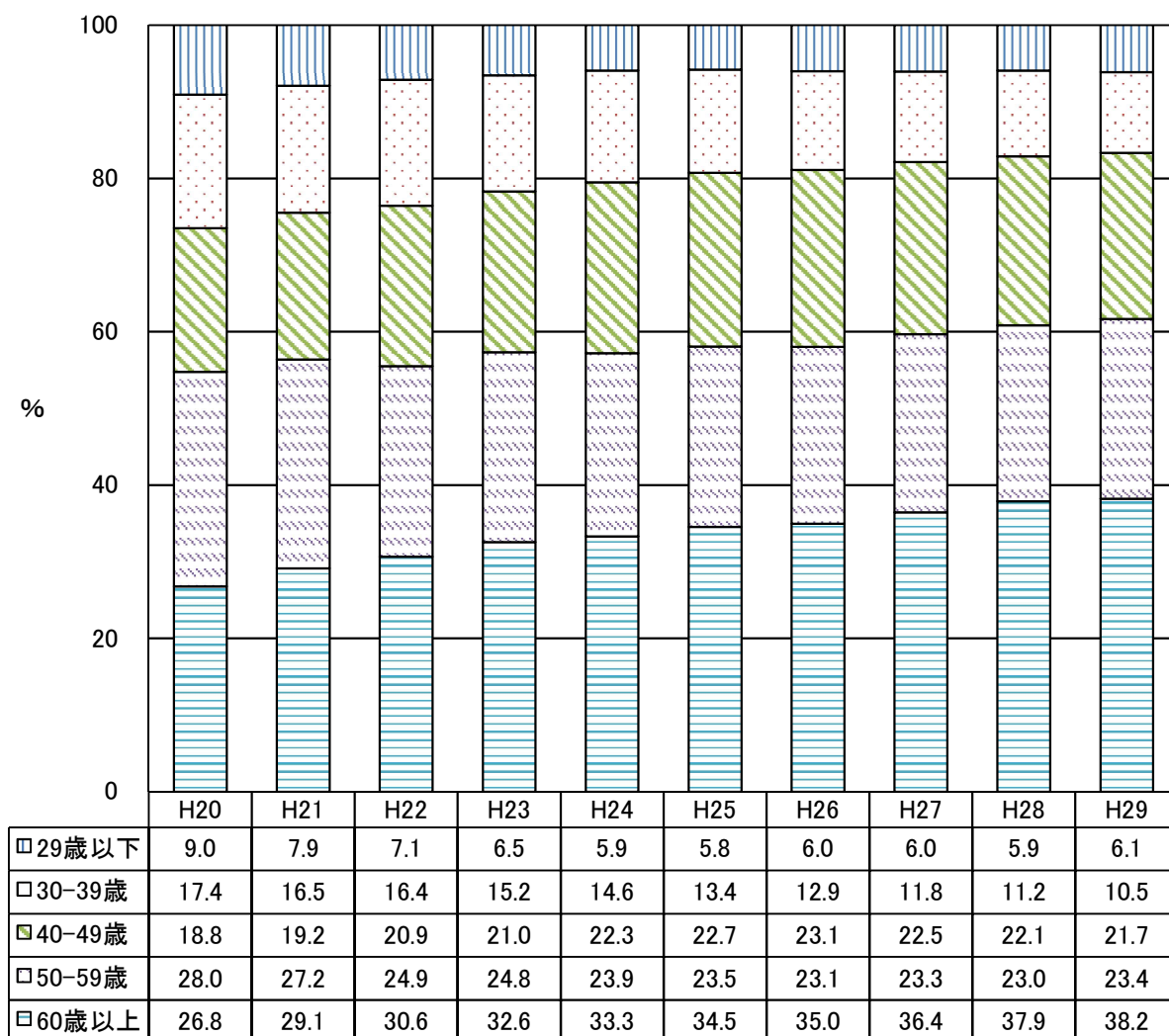
(1-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H20		4,645	8,954	9,636	14,380	13,737	51,352
H21		3,720	7,760	9,000	12,785	13,666	46,931
H22		3,312	7,613	9,708	11,547	14,211	46,391
H23		2,902	6,736	9,318	10,991	14,461	44,408
H24		2,442	5,991	9,178	9,843	13,710	41,164
H25		2,232	5,155	8,709	9,026	13,252	38,374
H26		2,154	4,614	8,262	8,267	12,518	35,815
H27		1,976	3,878	7,359	7,621	11,937	32,771
H28		1,759	3,307	6,534	6,804	11,212	29,616
H29		1,764	3,035	6,258	6,757	11,023	28,837

※ 軽自動車及びミニカーを除く

(1-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



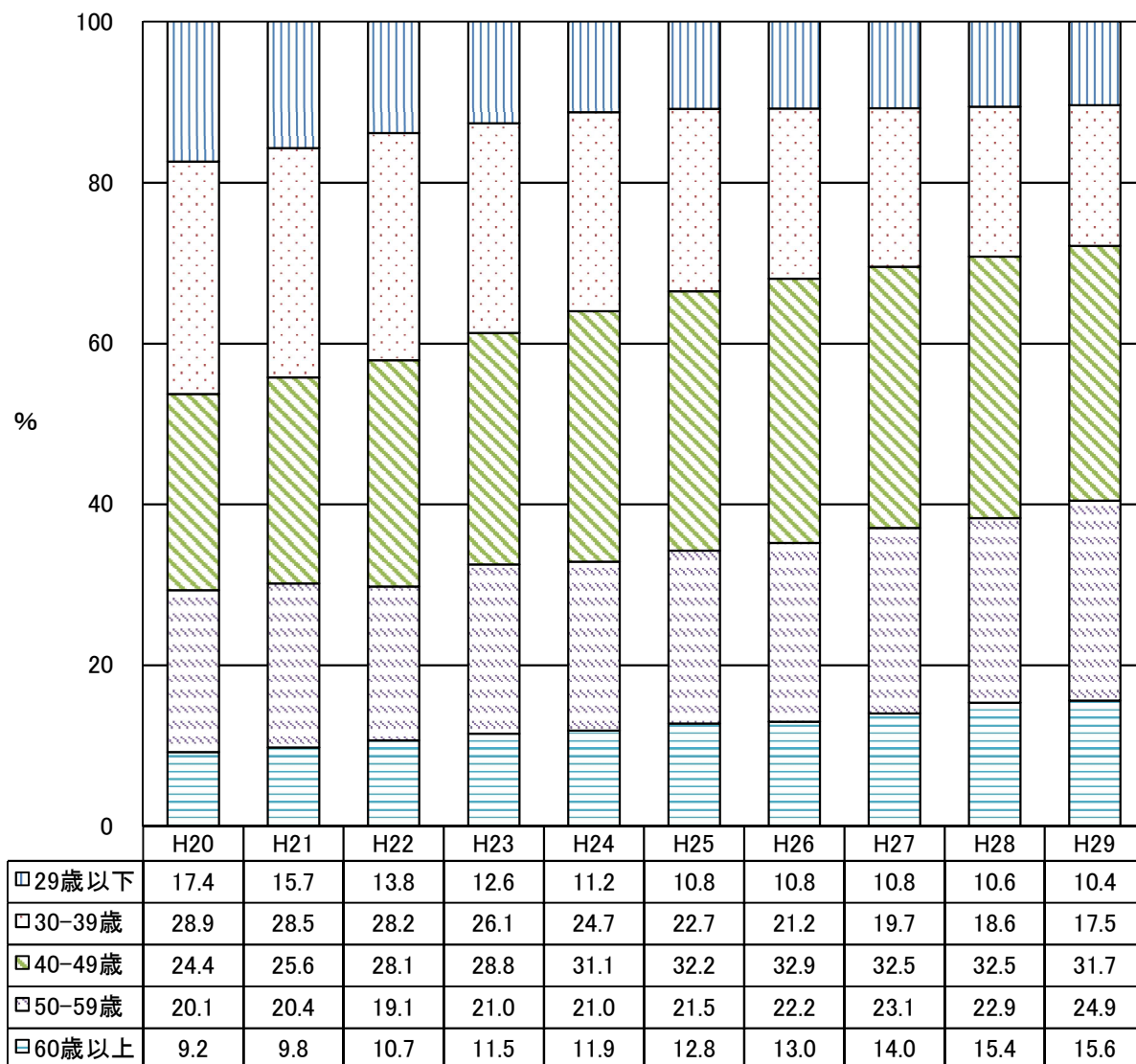
(2-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H20		4,209	6,997	5,911	4,870	2,235	24,222
H21		3,249	5,897	5,296	4,213	2,026	20,681
H22		2,912	5,946	5,918	4,030	2,243	21,049
H23		2,595	5,363	5,919	4,320	2,371	20,568
H24		2,189	4,818	6,065	4,084	2,318	19,474
H25		2,005	4,190	5,962	3,971	2,363	18,491
H26		1,921	3,766	5,848	3,950	2,316	17,801
H27		1,739	3,181	5,244	3,728	2,264	16,156
H28		1,543	2,717	4,750	3,345	2,245	14,600
H29		1,473	2,487	4,501	3,534	2,221	14,216

※ 軽自動車を除く

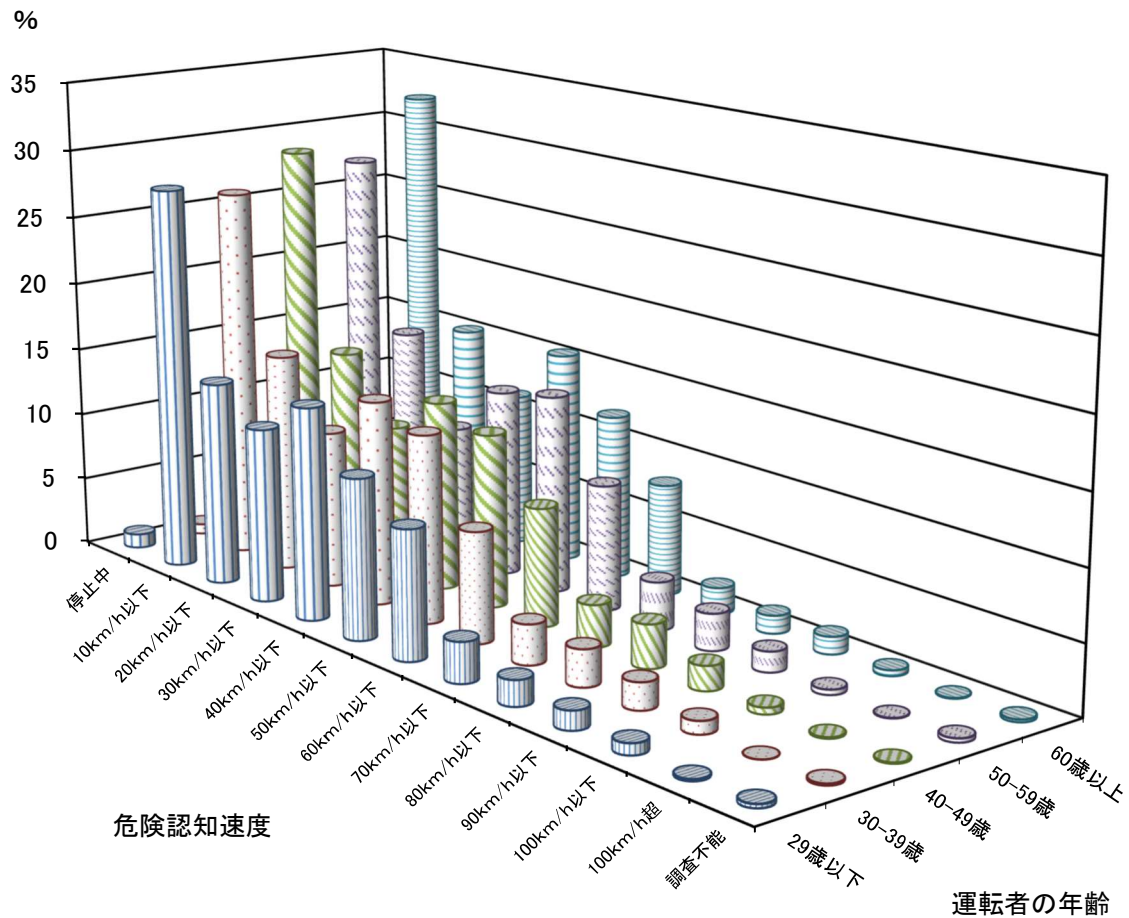
(2-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（トラック）



付録15 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（平成29年）

(%)

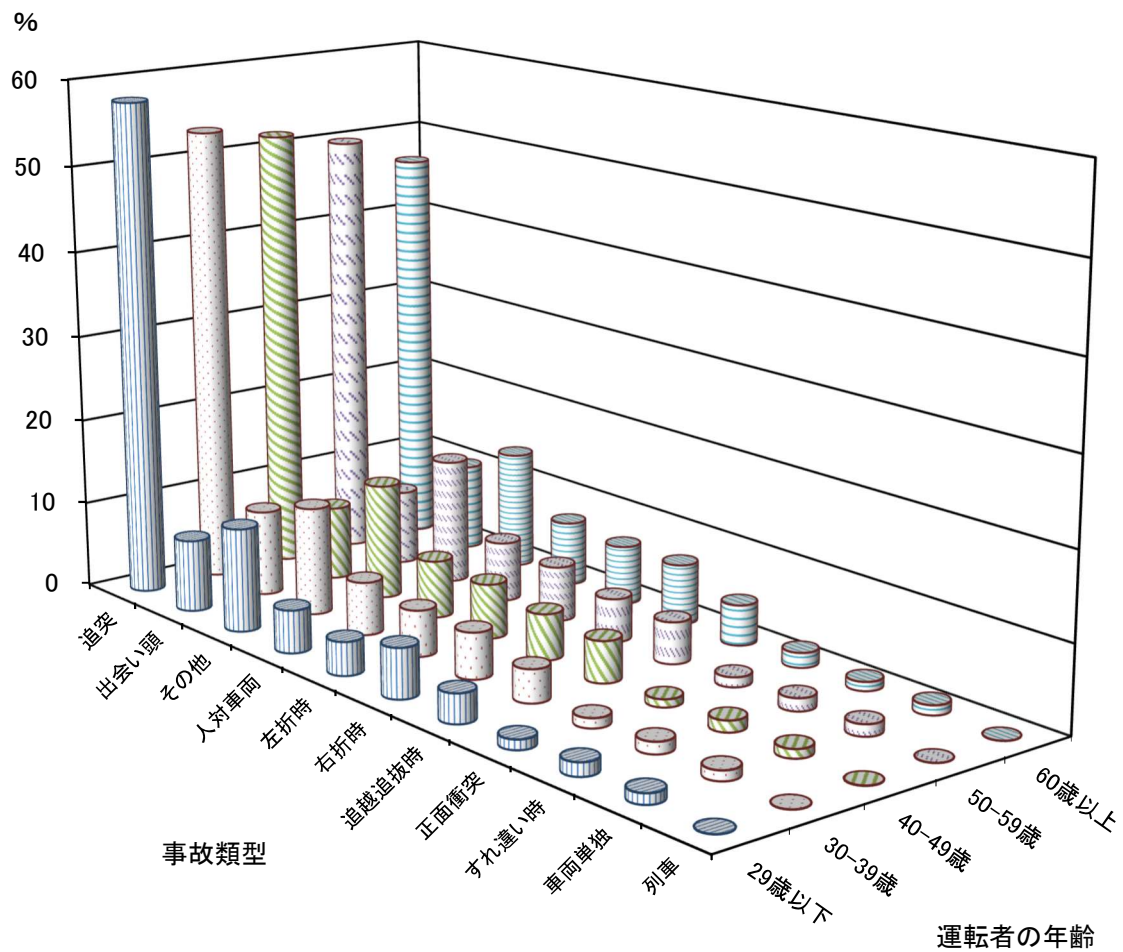
運転者年齢 危険認知速度	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
停止中	1.0	0.7	1.0	0.8	0.4	0.8
10km/h以下	28.0	27.1	29.5	28.2	32.4	29.1
20km/h以下	14.8	15.9	15.3	15.9	15.3	15.5
30km/h以下	12.6	11.4	10.8	9.7	11.3	10.9
40km/h以下	15.3	14.8	13.8	13.6	15.5	14.3
50km/h以下	11.5	13.6	12.6	14.4	12.0	13.0
60km/h以下	9.3	8.0	8.6	9.1	8.1	8.6
70km/h以下	2.9	2.9	3.0	3.5	1.9	2.9
80km/h以下	1.8	2.7	3.1	2.7	1.3	2.5
90km/h以下	1.4	1.9	1.8	1.5	1.3	1.6
100km/h以下	0.8	0.9	0.5	0.4	0.4	0.5
100km/h超	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
調査不能	0.3	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録16 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成29年）

(%)

事故類型 \ 運転者の年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
追突	57.7	53.2	51.7	49.8	46.5	51.3
出会い頭	8.4	9.9	8.6	8.7	10.1	9.0
その他	12.0	12.5	13.4	14.5	13.6	13.4
人対車両	5.0	6.2	6.7	6.9	7.4	6.6
左折時	3.9	5.3	6.3	6.3	6.8	6.0
右折時	5.8	5.3	5.3	5.0	7.0	5.6
追越追抜時	3.4	3.8	4.8	4.8	4.7	4.5
正面衝突	1.2	1.1	0.9	1.1	1.7	1.2
すれ違い時	1.6	1.4	1.3	1.5	1.0	1.3
車両単独	1.2	1.2	1.0	1.4	1.1	1.2
列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録17 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（平成29年）

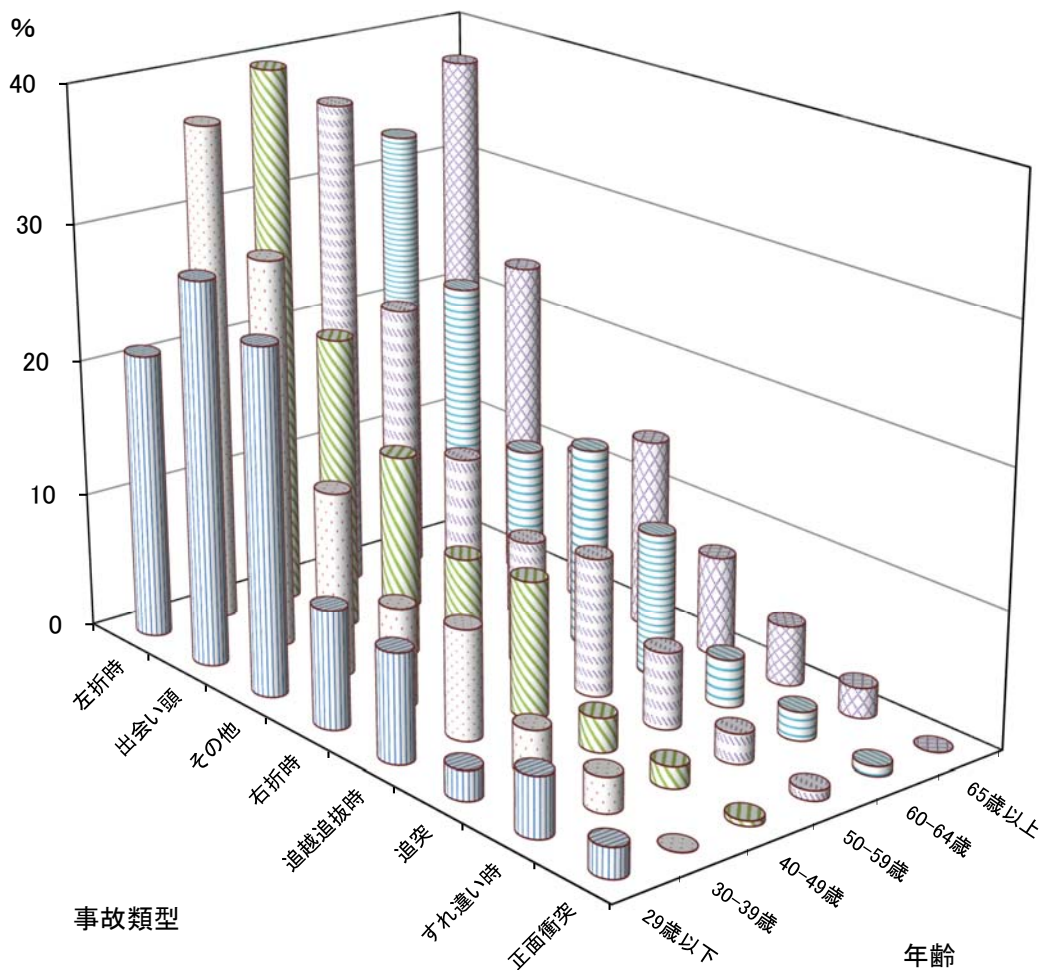
(件)

事故内容		死亡			重傷			軽傷			合計			
		道路区分	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計
事故類型詳細区分		高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	
自 転 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	3	3	0	6	6	0	9	9
	追突	進行中	0	6	6	0	25	25	0	25	25	0	56	56
		駐・停車中	0	1	1	0	2	2	0	0	0	0	3	3
	出会い頭衝突	0	10	10	0	42	42	0	335	335	0	387	387	
	追越・追抜時衝突	0	4	4	0	22	22	0	126	126	0	152	152	
	進路変更時衝突	0	0	0	0	2	2	0	16	16	0	18	18	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	5	5	0	31	31	0	36	36	
	左折時衝突	0	22	22	0	81	81	0	479	479	0	582	582	
	右折時衝突	0	3	3	0	20	20	0	136	136	0	159	159	
	横断時衝突	0	0	0	0	2	2	0	20	20	0	22	22	
	転回時衝突	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	6	6	
	後退時衝突	0	0	0	0	2	2	0	36	36	0	38	38	
	その他	0	1	1	0	15	15	0	137	137	0	153	153	
	小計	0	47	47	0	222	222	0	1,352	1,352	0	1,621	1,621	
二 輪 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	14	14	0	14	14
	追突	進行中	0	0	0	1	6	7	2	24	26	3	30	33
		駐・停車中	2	0	2	0	12	12	2	142	144	4	154	158
	出会い頭衝突	0	6	6	0	45	45	0	164	164	0	215	215	
	追越・追抜時衝突	0	2	2	1	29	30	3	115	118	4	146	150	
	進路変更時衝突	0	2	2	2	12	14	4	96	100	6	110	116	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	3	3	0	12	12	0	15	15	
	左折時衝突	0	1	1	0	14	14	0	116	116	0	131	131	
	右折時衝突	0	8	8	0	53	53	0	167	167	0	228	228	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	
	転回時衝突	0	3	3	0	4	4	0	22	22	0	29	29	
	後退時衝突	0	3	3	0	5	5	0	59	59	0	67	67	
	その他	0	0	0	1	12	13	0	70	70	1	82	83	
	小計	2	25	27	5	195	200	11	1,003	1,014	18	1,223	1,241	
車 両 相 互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2
		その他	1	13	14	0	31	31	2	92	94	3	136	139
	追突	進行中	4	1	5	28	12	40	340	500	840	372	513	885
		駐・停車中	18	8	26	43	108	151	496	5,482	5,978	557	5,598	6,155
	出会い頭衝突	0	6	6	0	68	68	2	607	609	2	681	683	
	追越・追抜時衝突	1	0	1	2	9	11	80	240	320	83	249	332	
	進路変更時衝突	0	0	0	9	8	17	169	385	554	178	393	571	
	すれ違い時衝突	0	1	1	0	8	8	1	130	131	1	139	140	
	左折時衝突	0	0	0	0	4	4	4	129	133	4	133	137	
	右折時衝突	0	5	5	0	45	45	2	350	352	2	400	402	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
	転回時衝突	0	0	0	0	3	3	0	35	35	0	38	38	
	後退時衝突	0	0	0	0	0	0	17	408	425	17	408	425	
	その他	5	4	9	11	7	18	65	246	311	81	257	338	
	小計	29	38	67	93	303	396	1,178	8,607	9,785	1,300	8,948	10,248	
四 輪 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	追突	進行中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		駐・停車中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	出会い頭衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	追越・追抜時衝突	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
	進路変更時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	左折時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	右折時衝突	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	転回時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	後退時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3	
合計		31	110	141	98	720	818	1,189	10,965	12,154	1,318	11,795	13,113	

付録18 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率
(平成29年)

(%)

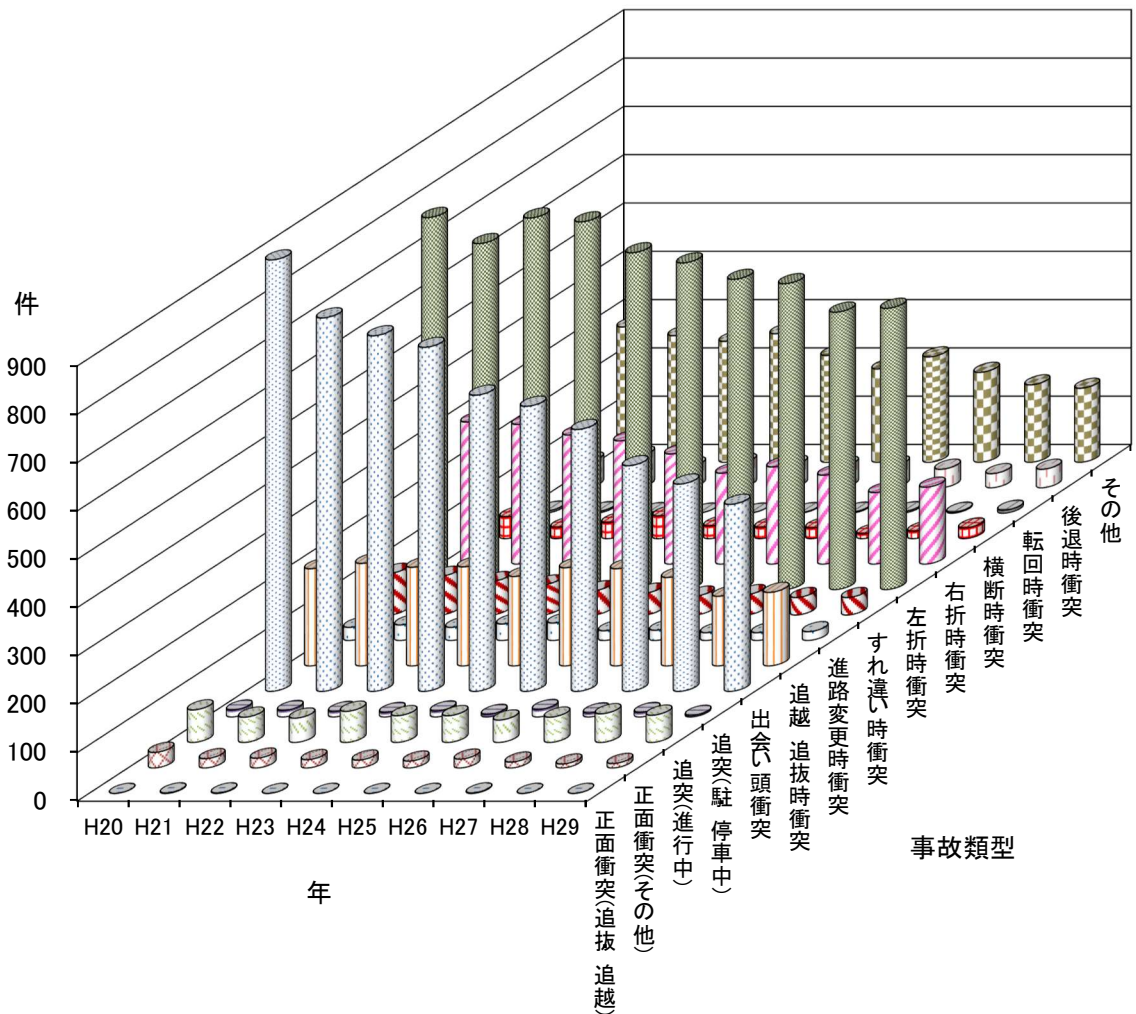
事故類型 \ 運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65歳以上	合計
左折時	21.0	36.6	39.7	36.2	32.9	37.5	35.9
出会い頭	28.3	28.6	21.6	22.6	23.1	23.5	23.9
その他	25.4	13.6	14.8	13.3	12.6	11.0	14.6
右折時	8.7	7.3	9.4	9.2	14.7	14.0	9.8
追越追抜時	8.0	8.1	10.0	10.2	10.5	7.4	9.4
追突	2.2	3.3	2.5	5.6	3.5	4.4	3.6
すれ違い時	4.3	2.6	1.5	2.2	2.1	2.2	2.2
正面衝突	2.2	0.0	0.4	0.7	0.7	0.0	0.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録19 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況

(1) 対自転車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成20-29年）

事故類型		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
対 自 転 車	正面衝突	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0
	追越・追抜	32	19	20	17	16	14	18	12	8	9
	その他	67	52	50	64	55	55	46	52	59	56
	追突	14	13	11	9	12	5	15	8	9	3
	進行中	893	773	736	712	613	590	542	467	429	387
	駐・停車中	201	212	204	205	185	203	201	183	144	152
	出会い頭衝突	27	32	27	34	36	20	21	16	16	18
	進路変更時衝突	86	80	69	62	50	45	39	42	36	36
	すれ違い時衝突	770	716	769	761	697	676	642	633	574	582
	左折時衝突	294	289	267	255	228	188	201	184	148	159
	右折時衝突	45	23	33	47	26	23	22	10	15	22
	横断時衝突	4	3	1	0	0	1	2	3	2	6
	転回時衝突	53	65	43	50	46	44	45	38	29	38
	後退時衝突	280	262	250	266	221	193	218	186	160	153
	その他	2,766	2,540	2,481	2,482	2,185	2,057	2,012	1,835	1,629	1,621
合計											



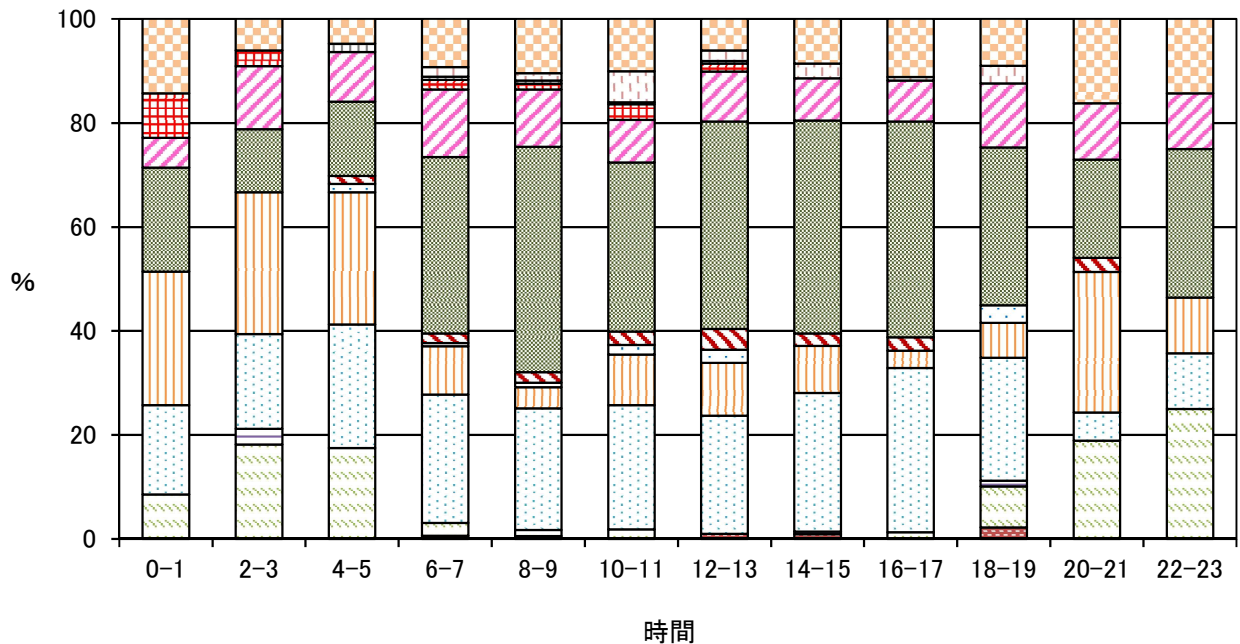
(2-1) 対自転車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成29年）

事故類型		時間（2時間毎）												合計			
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23				
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	1	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	9
	追突	進行中	3	6	11	4	4	5	0	0	2	7	7	7	7	56	
		駐・停車中	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	
	出会い頭衝突	6	6	15	40	81	64	45	56	48	21	2	3	3	387		
	追越・追抜時衝突	9	9	16	15	14	26	20	19	5	6	10	3	3	152		
	進路変更時衝突	0	0	1	1	3	5	5	0	0	3	0	0	0	18		
	すれ違い時衝突	0	0	1	3	7	7	8	5	4	0	1	0	0	36		
	左折時衝突	7	4	9	55	150	87	79	86	63	27	7	8	8	582		
	右折時衝突	2	4	6	21	38	22	19	17	12	11	4	3	3	159		
	横断時衝突	3	1	0	3	4	8	3	0	0	0	0	0	0	22		
	転回時衝突	0	0	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	6		
	後退時衝突	0	0	0	3	5	16	4	6	1	3	0	0	0	38		
	その他	5	2	3	15	36	27	12	18	17	8	6	4	4	153		
合計		35	33	63	162	346	268	198	210	152	89	37	28	1,621			

(2-2) 対自転車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成29年）

事故類型		時間（2時間毎）												合計		
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23			
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0	1.0	1.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.6	
	追突	進行中	8.6	18.2	17.5	2.5	1.2	1.9	0.0	0.0	1.3	7.9	18.9	25.0	3.5	
		駐・停車中	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.2	
	出会い頭衝突	17.1	18.2	23.8	24.7	23.4	23.9	22.7	26.7	31.6	23.6	5.4	10.7	23.9		
	追越・追抜時衝突	25.7	27.3	25.4	9.3	4.0	9.7	10.1	9.0	3.3	6.7	27.0	10.7	9.4		
	進路変更時衝突	0.0	0.0	1.6	0.6	0.9	1.9	2.5	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	1.1		
	すれ違い時衝突	0.0	0.0	1.6	1.9	2.0	2.6	4.0	2.4	2.6	0.0	2.7	0.0	2.2		
	左折時衝突	20.0	12.1	14.3	34.0	43.4	32.5	39.9	41.0	41.4	30.3	18.9	28.6	35.9		
	右折時衝突	5.7	12.1	9.5	13.0	11.0	8.2	9.6	8.1	7.9	12.4	10.8	10.7	9.8		
	横断時衝突	8.6	3.0	0.0	1.9	1.2	3.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4		
	転回時衝突	0.0	0.0	1.6	0.6	0.6	0.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4		
	後退時衝突	0.0	0.0	0.0	1.9	1.4	6.0	2.0	2.9	0.7	3.4	0.0	0.0	2.3		
	その他	14.3	6.1	4.8	9.3	10.4	10.1	6.1	8.6	11.2	9.0	16.2	14.3	9.4		
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

- 正面衝突（追抜・追越）
- 正面衝突（その他）
- 追突（進行中）
- 追突（駐・停車中）
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対自転車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（平成29年）

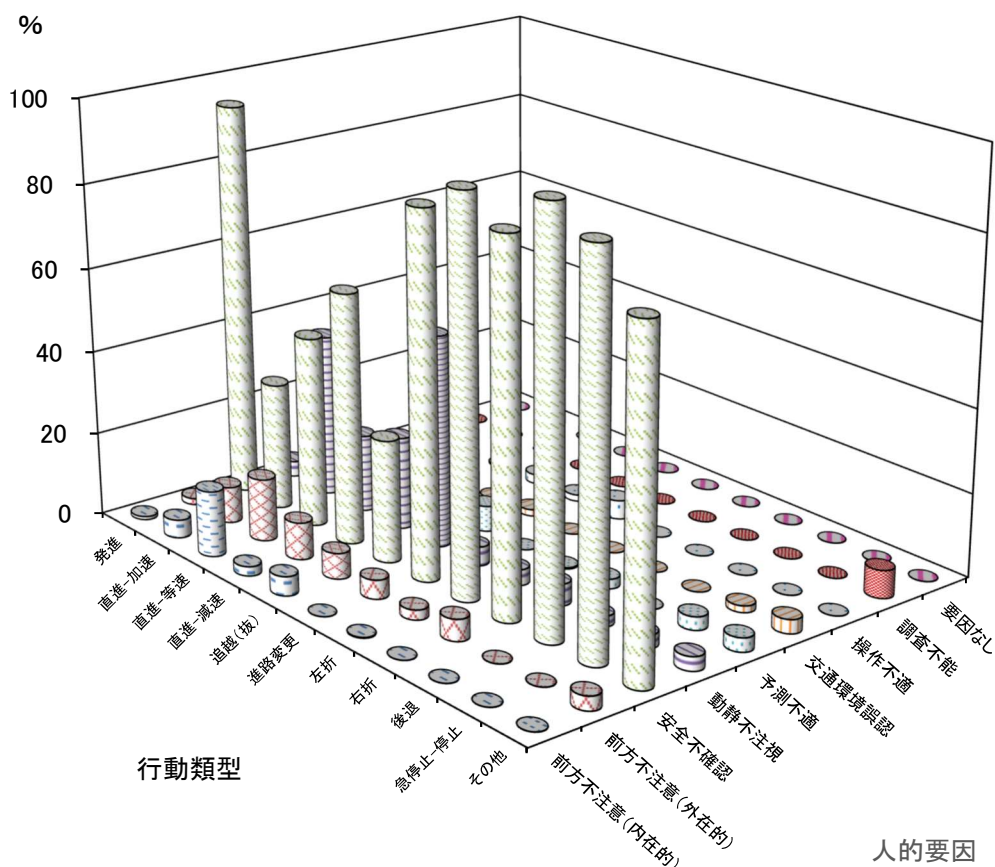
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	1	1	61	1	3	0	1	0	0	0	0	68
前方不注意(外在的)	2	2	58	4	4	1	15	9	0	0	1	96
安全不確認	127	7	177	27	19	19	594	152	39	58	24	1243
動静不注視	5	9	72	10	33	1	24	9	1	2	1	167
予測不適	0	1	13	2	4	0	2	4	0	2	1	29
交通環境誤認	0	1	6	0	1	0	0	0	0	1	1	10
操作不適	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	6
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	135	23	388	45	65	22	636	174	40	63	30	1621

(3-2) 対自転車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（平成29年）

(%)

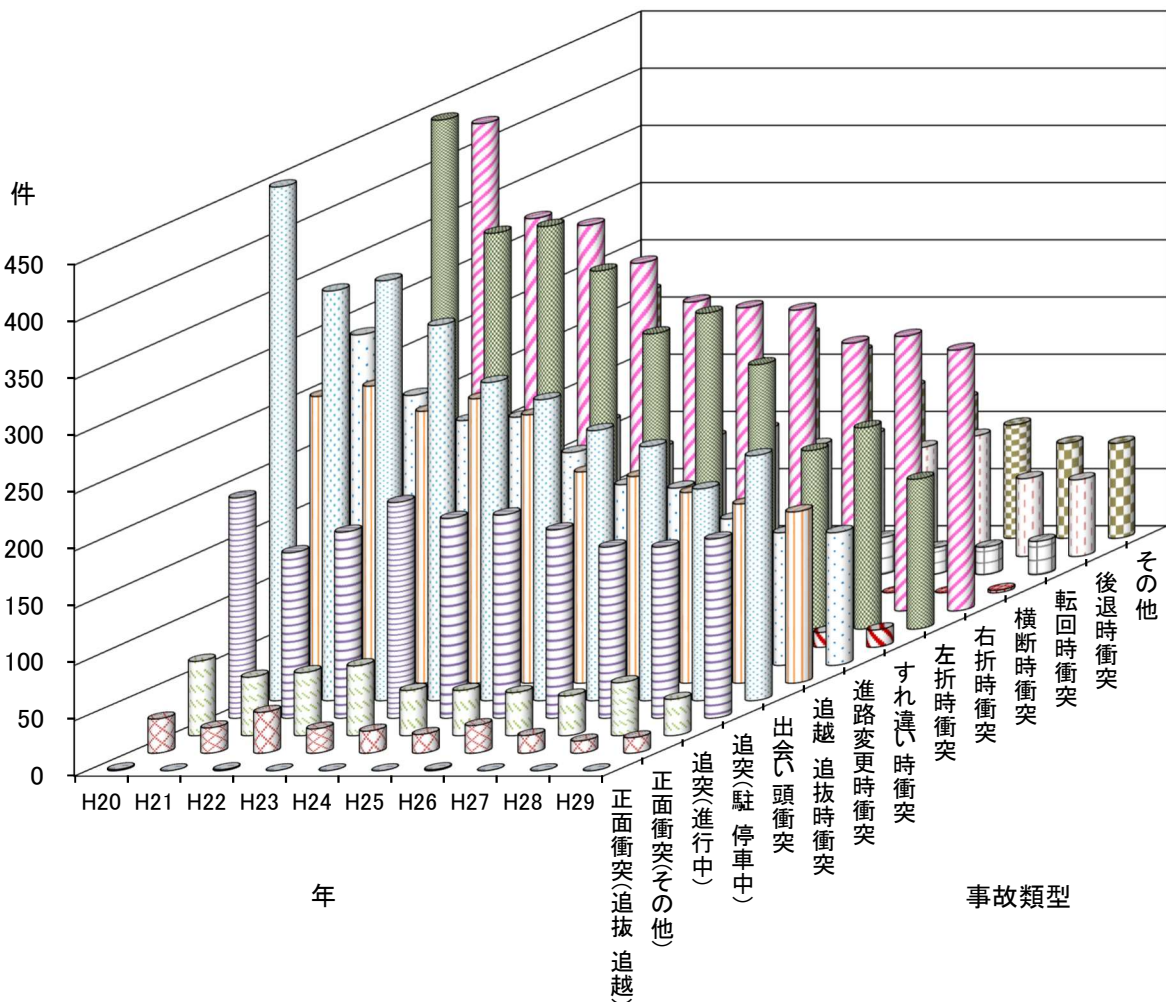
行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	0.7	4.3	15.7	2.2	4.6	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
前方不注意(外在的)	1.5	8.7	14.9	8.9	6.2	4.5	2.4	5.2	0.0	0.0	3.3	5.9
安全不確認	94.1	30.4	45.6	60.0	29.2	86.4	93.4	87.4	97.5	92.1	80.0	76.7
動静不注視	3.7	39.1	18.6	22.2	50.8	4.5	3.8	5.2	2.5	3.2	3.3	10.3
予測不適	0.0	4.3	3.4	4.4	6.2	0.0	0.3	2.3	0.0	3.2	3.3	1.8
交通環境誤認	0.0	4.3	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	3.3	0.6
操作不適	0.0	8.7	0.3	2.2	1.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.1
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録20 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況

(1) 対二輪車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成20-29年）

事故類型		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
対二輪車	正面衝突	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	追越・追抜	31	23	37	22	20	17	25	16	11	14
	その他	67	53	57	63	41	41	39	36	48	33
	追突	194	146	164	190	176	179	166	151	151	158
	進行中	450	359	368	329	279	264	237	223	186	215
	駐・停車中	251	260	238	249	235	185	181	167	157	150
	出会い頭衝突	289	236	214	217	186	158	155	128	116	116
	追越・追抜時衝突	30	29	19	16	19	16	18	14	13	15
	進路変更時衝突	445	346	352	313	258	276	231	156	176	131
	すれ違い時衝突	426	343	337	304	270	265	263	234	240	228
	左折時衝突	3	5	7	3	5	6	1	0	0	2
	横断時衝突	47	43	41	32	29	32	32	23	24	29
	転回時衝突	118	95	104	111	97	106	95	105	68	67
	後退時衝突	216	174	152	178	163	132	122	99	83	83
	その他	2,568	2,112	2,091	2,027	1,778	1,677	1,566	1,352	1,273	1,241
合計											



(2-1) 対二輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成29年）

(件)

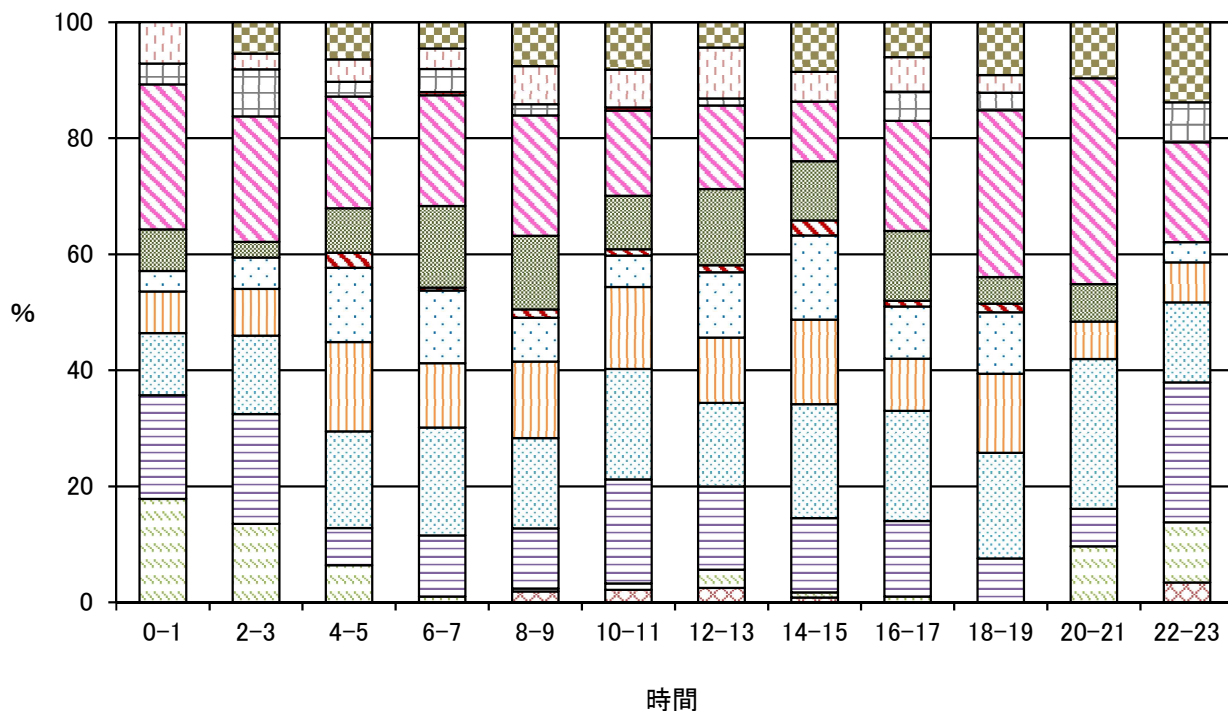
事故類型		時間（2時間毎）												合計			
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23				
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	4	4	4	1	0	0	1	14			
	追突	進行中	5	5	5	2	1	2	5	1	1	0	3	33			
		駐・停車中	5	7	5	21	22	33	23	15	13	5	2	7	158		
	出会い頭衝突		3	5	13	37	33	35	23	23	19	12	8	4	215		
	追越・追抜時衝突		2	3	12	22	28	26	18	17	9	9	2	2	150		
	進路変更時衝突		1	2	10	25	16	10	18	17	9	7	0	1	116		
	すれ違い時衝突		0	0	2	1	3	2	2	3	1	1	0	0	15		
	左折時衝突		2	1	6	28	27	17	21	12	12	3	2	0	131		
	右折時衝突		7	8	15	38	44	27	23	12	19	19	11	5	228		
	横断時衝突		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2		
	転回時衝突		1	3	2	8	4	0	2	0	5	2	0	2	29		
	後退時衝突		2	1	3	7	14	12	14	6	6	2	0	0	67		
	その他		0	2	5	9	16	15	7	10	6	6	3	4	83		
	合計		28	37	78	199	212	184	160	117	100	66	31	29	1241		

(2-2) 対二輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成29年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）												合計		
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23			
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	2.2	2.5	0.9	0.0	0.0	0.0	3.4	1.1	
	追突	進行中	17.9	13.5	6.4	1.0	0.5	1.1	3.1	0.9	1.0	0.0	9.7	10.3	2.7	
		駐・停車中	17.9	18.9	6.4	10.6	10.4	17.9	14.4	12.8	13.0	7.6	6.5	24.1	12.7	
	出会い頭衝突		10.7	13.5	16.7	18.6	15.6	19.0	14.4	19.7	19.0	18.2	25.8	13.8	17.3	
	追越・追抜時衝突		7.1	8.1	15.4	11.1	13.2	14.1	11.3	14.5	9.0	13.6	6.5	6.9	12.1	
	進路変更時衝突		3.6	5.4	12.8	12.6	7.5	5.4	11.3	14.5	9.0	10.6	0.0	3.4	9.3	
	すれ違い時衝突		0.0	0.0	2.6	0.5	1.4	1.1	1.3	2.6	1.0	1.5	0.0	0.0	1.2	
	左折時衝突		7.1	2.7	7.7	14.1	12.7	9.2	13.1	10.3	12.0	4.5	6.5	0.0	10.6	
	右折時衝突		25.0	21.6	19.2	19.1	20.8	14.7	14.4	10.3	19.0	28.8	35.5	17.2	18.4	
	横断時衝突		0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	
	転回時衝突		3.6	8.1	2.6	4.0	1.9	0.0	1.3	0.0	5.0	3.0	0.0	6.9	2.3	
	後退時衝突		7.1	2.7	3.8	3.5	6.6	6.5	8.8	5.1	6.0	3.0	0.0	0.0	5.4	
	その他		0.0	5.4	6.4	4.5	7.5	8.2	4.4	8.5	6.0	9.1	9.7	13.8	6.7	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- 正面衝突(追抜・追越)
- 正面衝突(その他)
- 追突(進行中)
- 追突(駐・停車中)
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対二輪車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(平成29年)

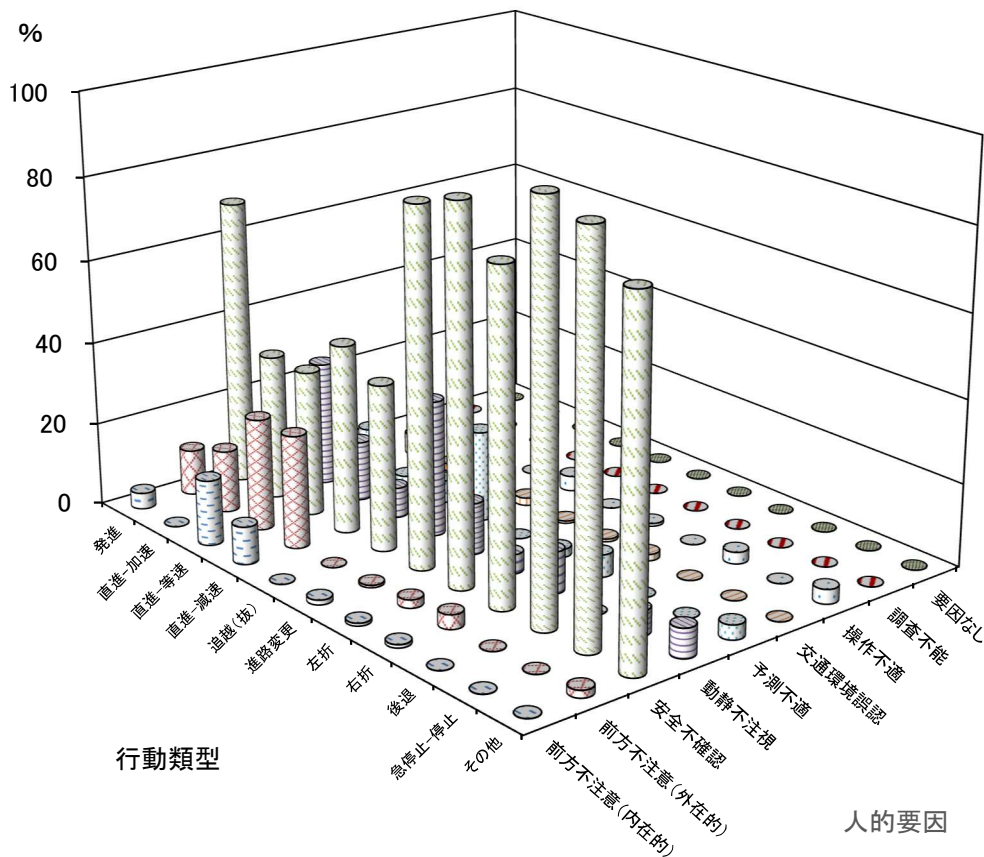
(件)

行動類型	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止 -停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	6	0	35	5	0	2	1	2	0	0	0	51
前方不注意(外在的)	17	3	60	15	0	1	3	9	0	0	1	109
安全不確認	107	7	78	25	22	152	135	205	69	16	48	864
動静不注視	11	6	32	4	18	22	7	26	0	1	4	131
予測不適	4	2	5	3	12	0	3	14	0	0	2	45
交通環境誤認	1	1	4	3	1	1	1	4	0	0	0	16
操作不適	9	1	8	0	2	0	1	0	2	0	2	25
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	155	20	222	55	55	178	151	260	71	17	57	1241

(3-2) 対二輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(平成29年)

(%)

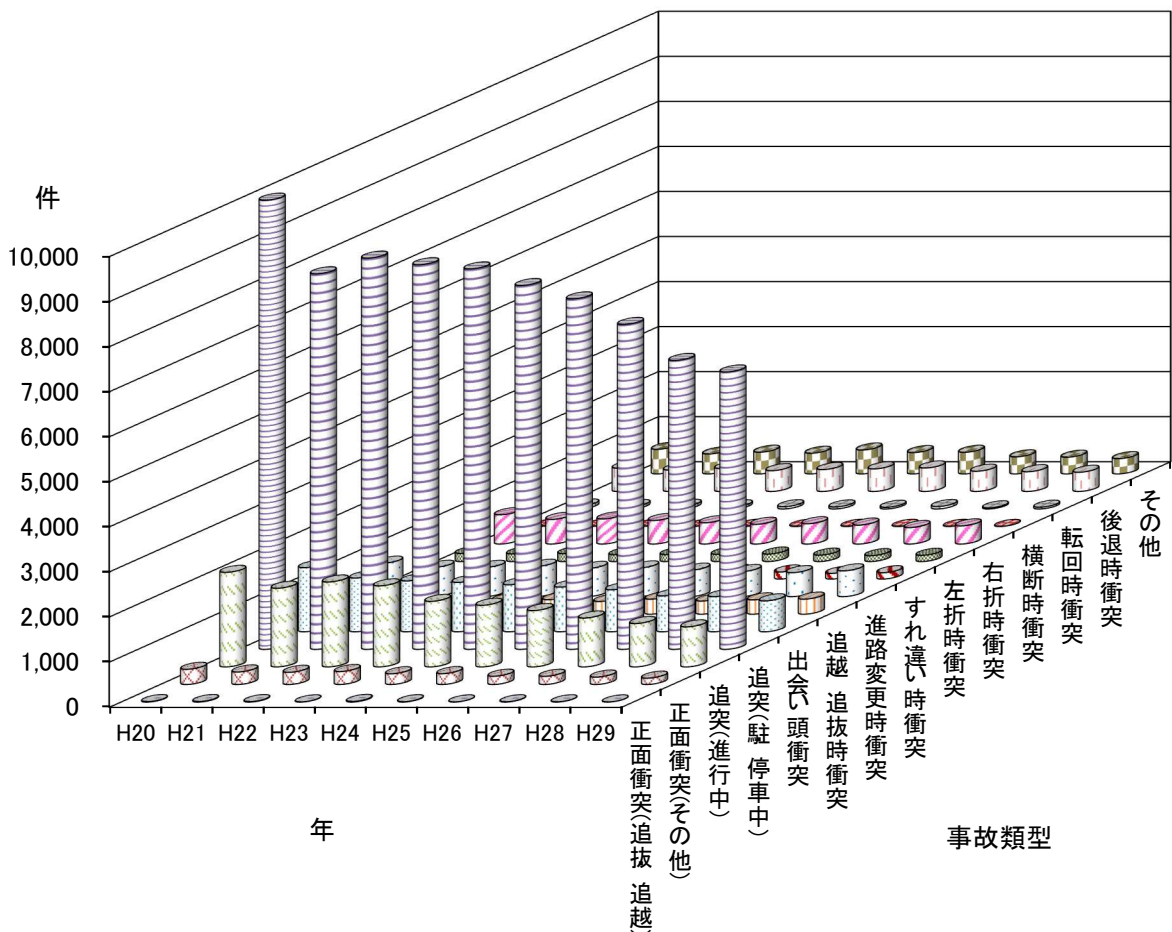
行動類型	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止 -停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	3.9	0.0	15.8	9.1	0.0	1.1	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	4.1
前方不注意(外在的)	11.0	15.0	27.0	27.3	0.0	0.6	2.0	3.5	0.0	0.0	1.8	8.8
安全不確認	69.0	35.0	35.1	45.5	40.0	85.4	89.4	78.8	97.2	94.1	84.2	69.6
動静不注視	7.1	30.0	14.4	7.3	32.7	12.4	4.6	10.0	0.0	5.9	7.0	10.6
予測不適	2.6	10.0	2.3	5.5	21.8	0.0	2.0	5.4	0.0	0.0	3.5	3.6
交通環境誤認	0.6	5.0	1.8	5.5	1.8	0.6	0.7	1.5	0.0	0.0	0.0	1.3
操作不適	5.8	5.0	3.6	0.0	3.6	0.0	0.7	0.0	2.8	0.0	3.5	2.0
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録21 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況

(1) 対四輪車の事故類型別の死傷事故件数の推移（平成20-29年）

事故類型		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
対四輪車	正面衝突	9	10	9	3	13	6	2	5	4	2
	追越・追抜	335	276	268	285	236	239	182	180	162	139
	追突	2,094	1,741	1,880	1,794	1,450	1,363	1,246	1,081	959	885
	進行中	9,968	8,335	8,683	8,536	8,443	8,074	7,778	7,210	6,411	6,155
	駐・停車中	1,421	1,190	1,126	1,093	1,041	989	929	793	777	683
	出会い頭衝突	281	270	255	297	320	281	332	290	316	332
	追越・追抜時衝突	741	650	649	671	625	635	585	554	531	571
	進路変更時衝突	196	158	155	202	175	164	170	157	126	140
	すれ違い時衝突	179	169	175	152	154	160	165	141	129	137
	左折時衝突	649	545	556	522	471	437	449	419	365	402
	右折時衝突	9	6	6	4	7	4	4	3	2	1
	横断時衝突	64	53	57	46	48	44	36	53	24	38
	転回時衝突	517	474	509	460	485	500	520	448	437	425
	後退時衝突	545	441	481	458	530	473	479	378	370	338
	その他	17,008	14,318	14,809	14,523	13,998	13,369	12,877	11,712	10,613	10,248
	合計										



(2-1) 対四輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成29年）

(件)

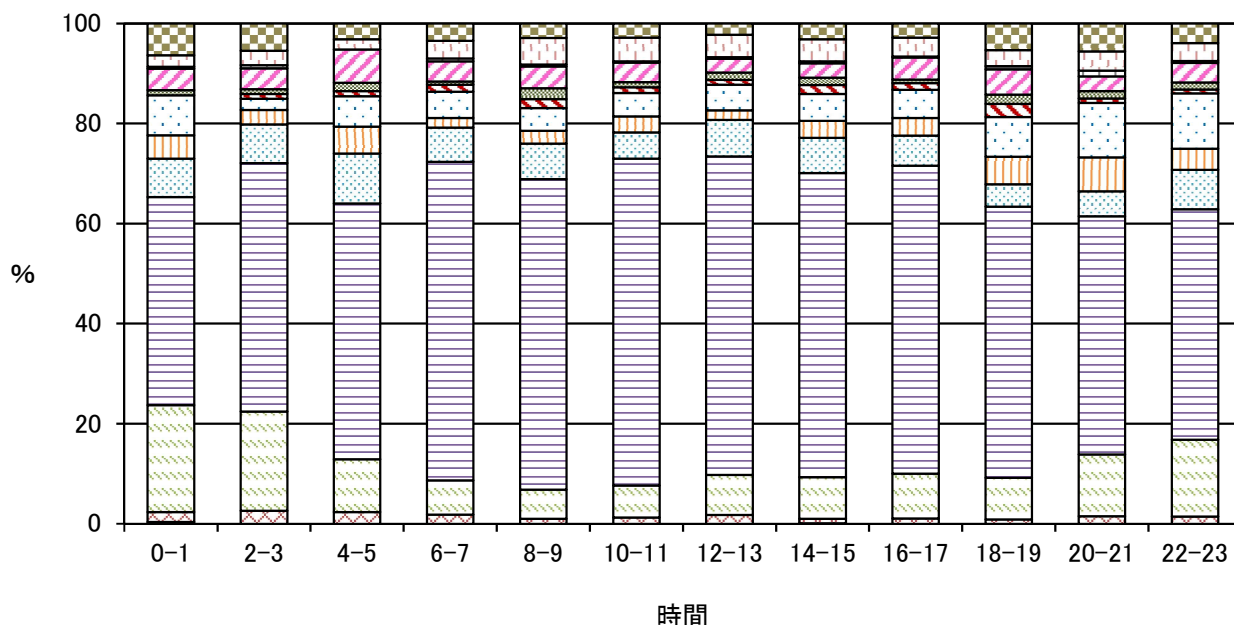
事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
		その他	6	8	11	19	15	22	24	12	9	4	5	4	139
	追突	進行中	64	62	51	74	93	115	112	109	79	41	42	43	885
		駐・停車中	125	155	246	682	987	1,172	890	796	544	267	162	129	6,155
	出会い頭衝突	23	24	48	73	113	94	102	92	53	22	17	22	683	
	追越・追抜時衝突	14	9	26	21	40	58	27	44	31	27	23	12	332	
	進路変更時衝突	24	7	29	56	72	84	71	71	50	39	37	31	571	
	すれ違い時衝突	0	3	5	15	29	21	14	23	12	13	3	2	140	
	左折時衝突	3	3	8	7	35	18	20	19	6	9	5	4	137	
	右折時衝突	13	13	32	43	69	70	39	38	39	25	10	11	402	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	転回時衝突	1	2	0	6	6	5	4	4	2	3	4	1	38	
	後退時衝突	7	9	10	38	84	84	63	58	33	16	13	10	425	
	その他	19	17	15	37	46	51	31	41	25	26	19	11	338	
	合計		300	312	481	1,071	1,589	1,794	1,397	1,309	883	492	340	280	10,248

(2-2) 対四輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成29年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	2.0	2.6	2.3	1.8	0.9	1.2	1.7	0.9	1.0	0.8	1.5	1.4	1.4
	追突	進行中	21.3	19.9	10.6	6.9	5.9	6.4	8.0	8.3	8.9	8.3	12.4	15.4	8.6
		駐・停車中	41.7	49.7	51.1	63.7	62.1	65.3	63.7	60.8	61.6	54.3	47.6	46.1	60.1
	出会い頭衝突	7.7	7.7	10.0	6.8	7.1	5.2	7.3	7.0	6.0	4.5	5.0	7.9	6.7	
	追越・追抜時衝突	4.7	2.9	5.4	2.0	2.5	3.2	1.9	3.4	3.5	5.5	6.8	4.3	3.2	
	進路変更時衝突	8.0	2.2	6.0	5.2	4.5	4.7	5.1	5.4	5.7	7.9	10.9	11.1	5.6	
	すれ違い時衝突	0.0	1.0	1.0	1.4	1.8	1.2	1.0	1.8	1.4	2.6	0.9	0.7	1.4	
	左折時衝突	1.0	1.0	1.7	0.7	2.2	1.0	1.4	1.5	0.7	1.8	1.5	1.4	1.3	
	右折時衝突	4.3	4.2	6.7	4.0	4.3	3.9	2.8	2.9	4.4	5.1	2.9	3.9	3.9	
	横断時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	転回時衝突	0.3	0.6	0.0	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.6	1.2	0.4	0.4	
	後退時衝突	2.3	2.9	2.1	3.5	5.3	4.7	4.5	4.4	3.7	3.3	3.8	3.6	4.1	
	その他	6.3	5.4	3.1	3.5	2.9	2.8	2.2	3.1	2.8	5.3	5.6	3.9	3.3	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 正面衝突(追抜・追越)
- 正面衝突(その他)
- 追突(進行中)
- 追突(駐・停車中)
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対四輪車の行動類型別・人的要因別の事故件数（平成29年）

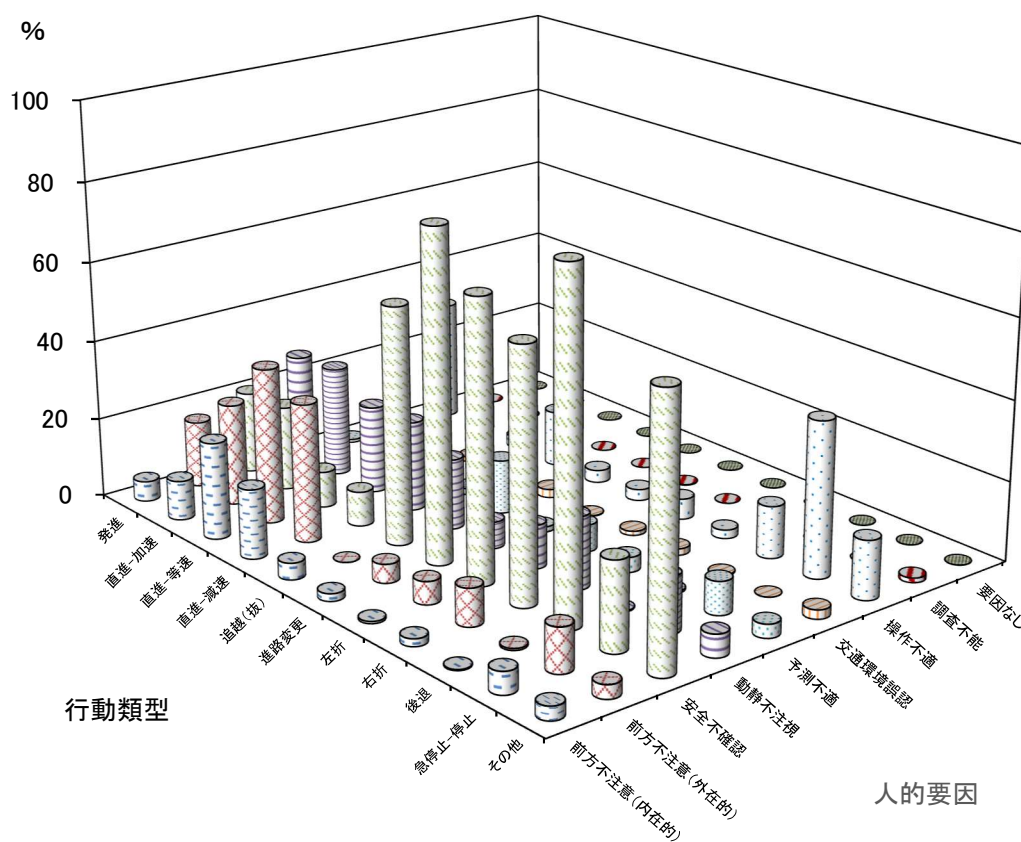
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	69	14	1342	200	4	16	1	7	1	2	3	1659
前方不注意(外在的)	227	36	2159	398	0	40	11	35	2	4	3	2915
安全不確認	280	30	500	100	57	697	134	233	378	8	58	2475
動静不注視	361	39	1217	260	17	57	21	67	1	5	5	2050
予測不適	10	5	73	18	13	11	13	14	2	3	3	165
交通環境誤認	2	2	67	11	2	1	2	6	1	0	2	96
操作不適	413	15	154	161	3	24	10	8	58	14	13	873
調査不能	0	0	12	0	0	1	0	1	0	0	1	15
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1362	141	5524	1148	96	847	192	371	443	36	88	10248

(3-2) 対四輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（平成29年）

(%)

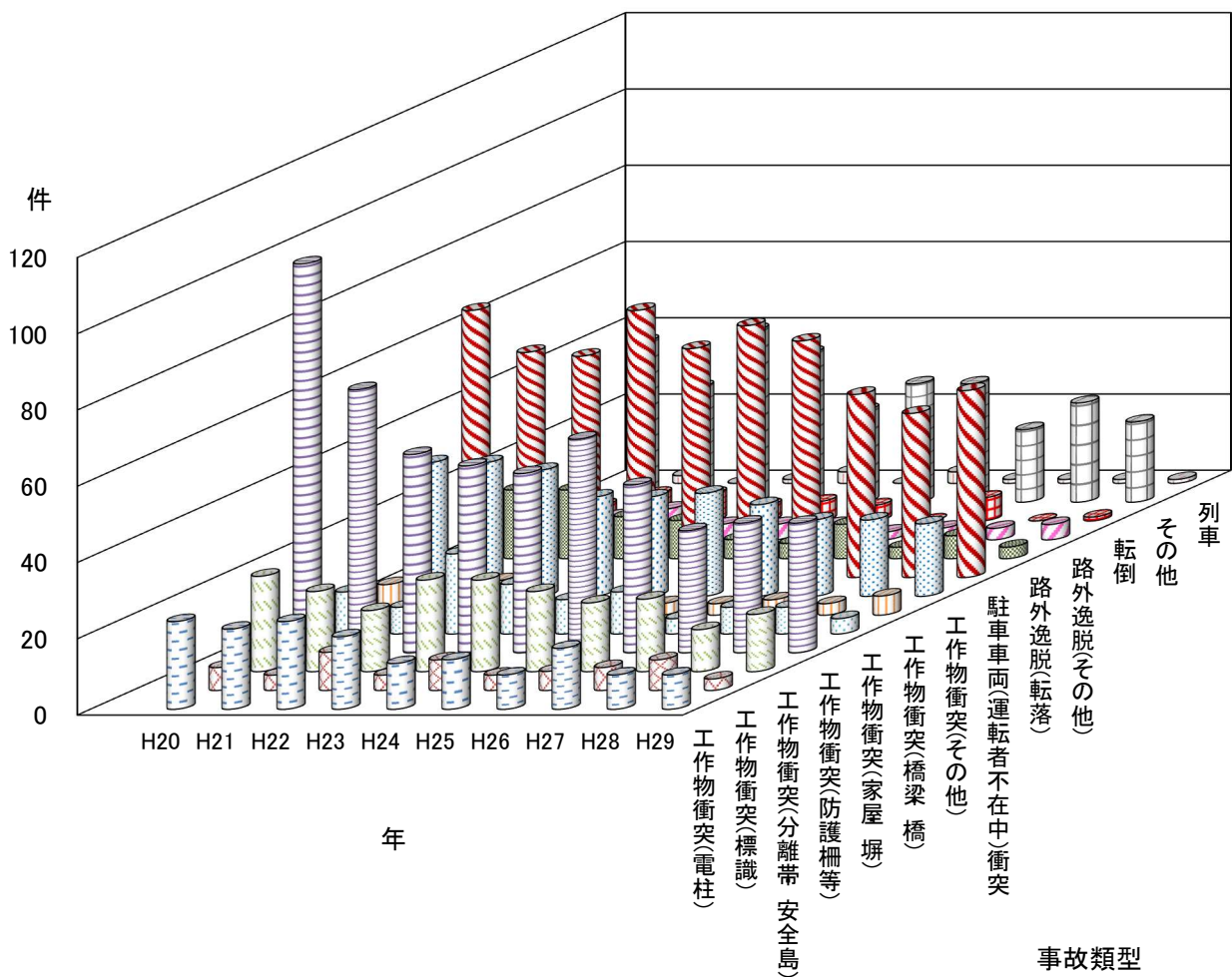
行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	5.1	9.9	24.3	17.4	4.2	1.9	0.5	1.9	0.2	5.6	3.4	16.2
前方不注意(外在的)	16.7	25.5	39.1	34.7	0.0	4.7	5.7	9.4	0.5	11.1	3.4	28.4
安全不確認	20.6	21.3	9.1	8.7	59.4	82.3	69.8	62.8	85.3	22.2	65.9	24.2
動静不注視	26.5	27.7	22.0	22.6	17.7	6.7	10.9	18.1	0.2	13.9	5.7	20.0
予測不適	0.7	3.5	1.3	1.6	13.5	1.3	6.8	3.8	0.5	8.3	3.4	1.6
交通環境誤認	0.1	1.4	1.2	1.0	2.1	0.1	1.0	1.6	0.2	0.0	2.3	0.9
操作不適	30.3	10.6	2.8	14.0	3.1	2.8	5.2	2.2	13.1	38.9	14.8	8.5
調査不能	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	1.1	0.1
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録22 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況

(1) 車両単独事故の事故類型別死傷事故件数の推移 (平成20-29年)

事故類型		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
車両単独	工作物衝突	電柱	23	21	23	19	12	13	9	16	9	9
		標識	6	4	10	4	8	4	5	6	8	3
		分離帯・安全島	25	21	16	24	24	21	18	19	11	15
		防護柵等	102	69	52	49	47	56	44	32	34	34
		家屋・塀	11	7	21	13	9	11	4	7	7	4
		橋梁・橋	8	7	9	3	2	3	3	4	3	5
		その他	35	35	33	26	26	27	24	20	20	19
	駐車車両(運転者不在中)衝突	70	59	58	70	60	66	62	48	43	49	
	路外逸脱	転落	18	18	11	10	5	4	9	3	6	3
		その他	1	6	8	4	4	4	2	3	3	4
	転倒	4	7	7	4	5	4	0	6	0	1	
	その他	42	30	45	39	24	31	31	19	26	21	
小計	345	284	293	265	226	244	211	183	170	167		
列車	2	0	1	3	0	3	1	1	1	1		



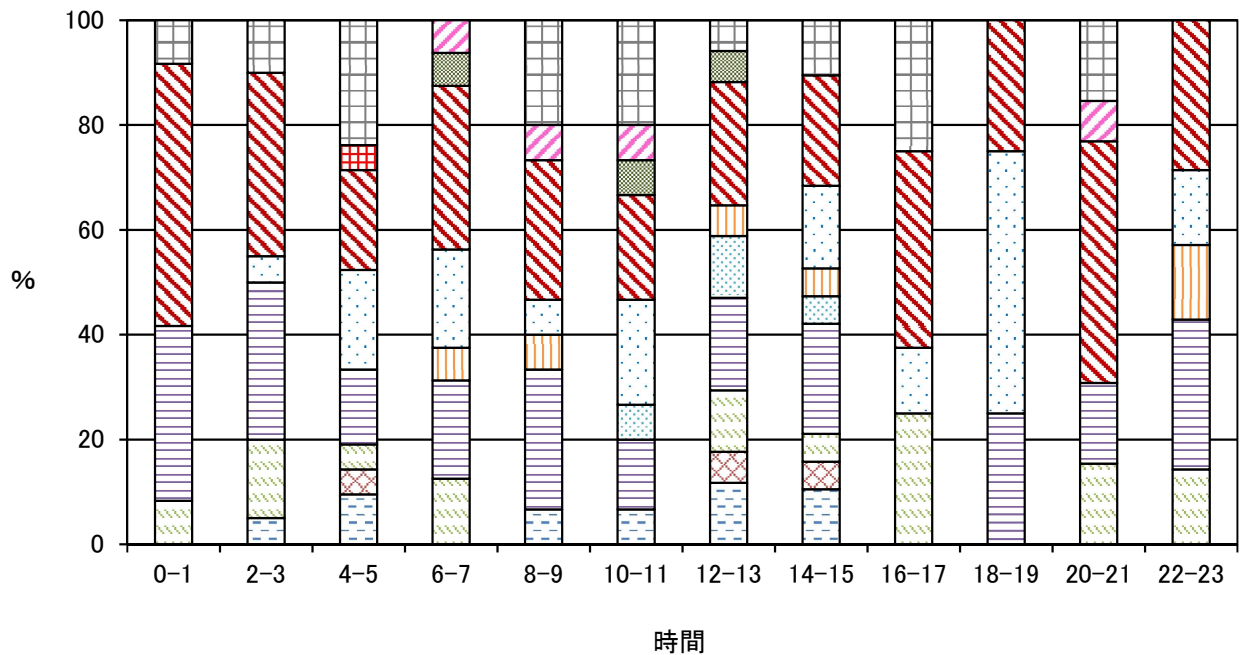
(2-1) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数(平成29年)

事故類型		時間(2時間毎)													合計
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
車両単独	工作物衝突	電柱	0	1	2	0	1	1	2	2	0	0	0	0	9
		標識	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
		分離帯・安全島	1	3	1	2	0	0	2	1	2	0	2	1	15
		防護柵等	4	6	3	3	4	2	3	4	0	1	2	2	34
		家屋・塀	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	4
		橋梁・橋	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	5
		その他	0	1	4	3	1	3	0	3	1	2	0	1	19
	駐車車両(運転者不在中)衝突	6	7	4	5	4	3	4	4	3	1	6	2	49	
	路外逸脱	転落	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3
		その他	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	4
	転倒	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	その他	1	2	5	0	3	3	1	2	2	0	2	0	21	
	合計		12	20	21	16	15	15	17	19	8	4	13	7	167
	列車		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

(2-2) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率(平成29年)

事故類型		時間(2時間毎)													合計
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
車両単独	工作物衝突	電柱	0.0	5.0	9.5	0.0	6.7	6.7	11.8	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4
		標識	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	5.9	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
		分離帯・安全島	8.3	15.0	4.8	12.5	0.0	0.0	11.8	5.3	25.0	0.0	15.4	14.3	9.0
		防護柵等	33.3	30.0	14.3	18.8	26.7	13.3	17.6	21.1	0.0	25.0	15.4	28.6	20.4
		家屋・塀	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	11.8	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
		橋梁・橋	0.0	0.0	0.0	6.3	6.7	0.0	5.9	5.3	0.0	0.0	0.0	14.3	3.0
		その他	0.0	5.0	19.0	18.8	6.7	20.0	0.0	15.8	12.5	50.0	0.0	14.3	11.4
	駐車車両(運転者不在中)衝突	50.0	35.0	19.0	31.3	26.7	20.0	23.5	21.1	37.5	25.0	46.2	28.6	29.3	
	路外逸脱	転落	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.7	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
		その他	0.0	0.0	0.0	6.3	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	2.4	
	転倒	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	
	その他	8.3	10.0	23.8	0.0	20.0	20.0	5.9	10.5	25.0	0.0	15.4	0.0	12.6	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- 工作物衝突(電柱)
- ▣ 工作物衝突(標識)
- 工作物衝突(分離帯・安全島)
- ▣ 工作物衝突(防護柵等)
- ▣ 工作物衝突(家屋・塀)
- ▣ 工作物衝突(橋梁・橋)
- ▣ 工作物衝突(その他)
- ▣ 駐車車両(運転者不在中)
- ▣ 路外逸脱(転落)
- ▣ 路外逸脱(その他)
- ▣ 転倒
- その他



(3-1) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(平成29年)

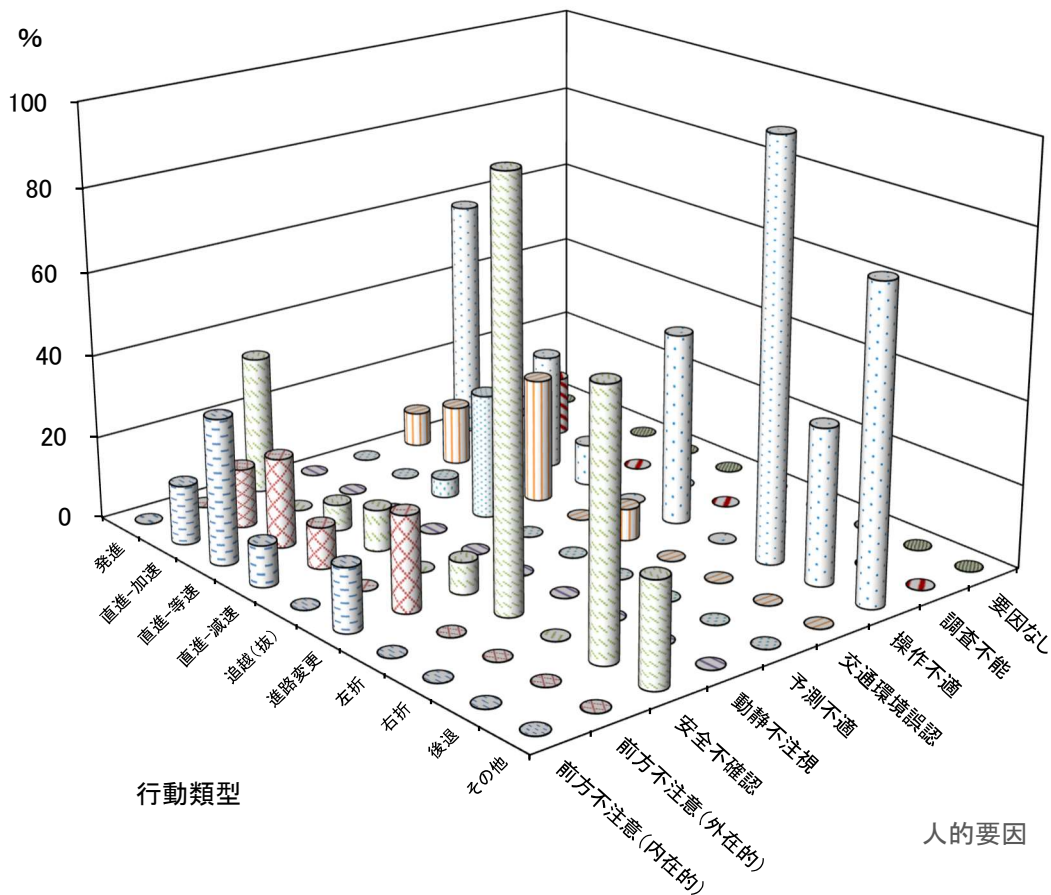
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
人的要因											
前方不注意(内在的)	0	1	39	1	0	2	0	0	0	0	43
前方不注意(外在的)	0	1	24	1	0	3	0	0	0	0	29
安全不確認	4	0	7	1	0	1	1	0	5	1	20
動静不注視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予測不適	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	8
交通環境誤認	1	1	4	3	0	1	0	0	0	0	10
操作不適	7	3	31	1	0	6	0	1	3	3	55
調査不能	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	7	111	10	0	13	1	1	8	4	167

(3-2) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(平成29年)

(%)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
人的要因											
前方不注意(内在的)	0.0	14.3	35.1	10.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.7
前方不注意(外在的)	0.0	14.3	21.6	10.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4
安全不確認	33.3	0.0	6.3	10.0	0.0	7.7	100.0	0.0	62.5	25.0	12.0
動静不注視	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
予測不適	0.0	0.0	4.5	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
交通環境誤認	8.3	14.3	3.6	30.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
操作不適	58.3	42.9	27.9	10.0	0.0	46.2	0.0	100.0	37.5	75.0	32.9
調査不能	0.0	14.3	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

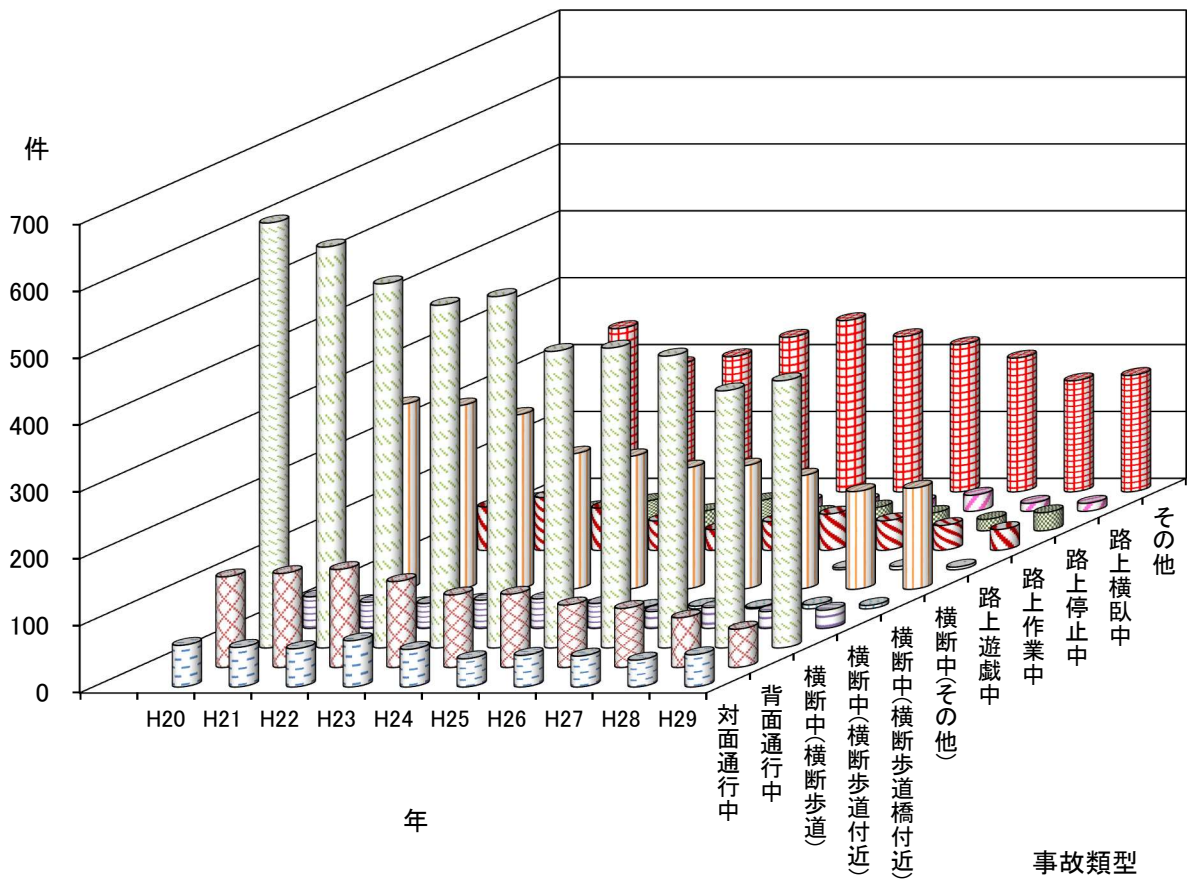


付録23 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況

(1) 対歩行者の事故類型別死傷事故件数の推移（平成20-29年）

(件)

事故類型		年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
人 対 車 両	対面通行中		62	59	57	69	56	42	47	46	40	48	
	背面通行中		135	140	146	128	108	109	93	88	74	57	
	横断中	横断歩道		635	599	544	512	525	443	448	436	384	399
		横断歩道付近		47	39	37	42	44	37	25	31	25	27
		横断歩道橋付近		9	6	11	4	3	2	4	2	6	5
		その他		276	274	260	202	198	181	184	169	146	151
	路上遊戯中		7	6	9	3	2	8	7	3	5	4	
	路上作業中		65	79	63	44	31	43	54	44	37	31	
	路上停止中		46	33	44	29	45	26	34	26	17	27	
	路上横臥中						14	15	13	24	12	12	
	その他		244	190	202	231	256	232	220	200	166	174	
合計			1,526	1,425	1,373	1,264	1,282	1,138	1,129	1,069	912	935	



(2-1) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成29年）

(件)

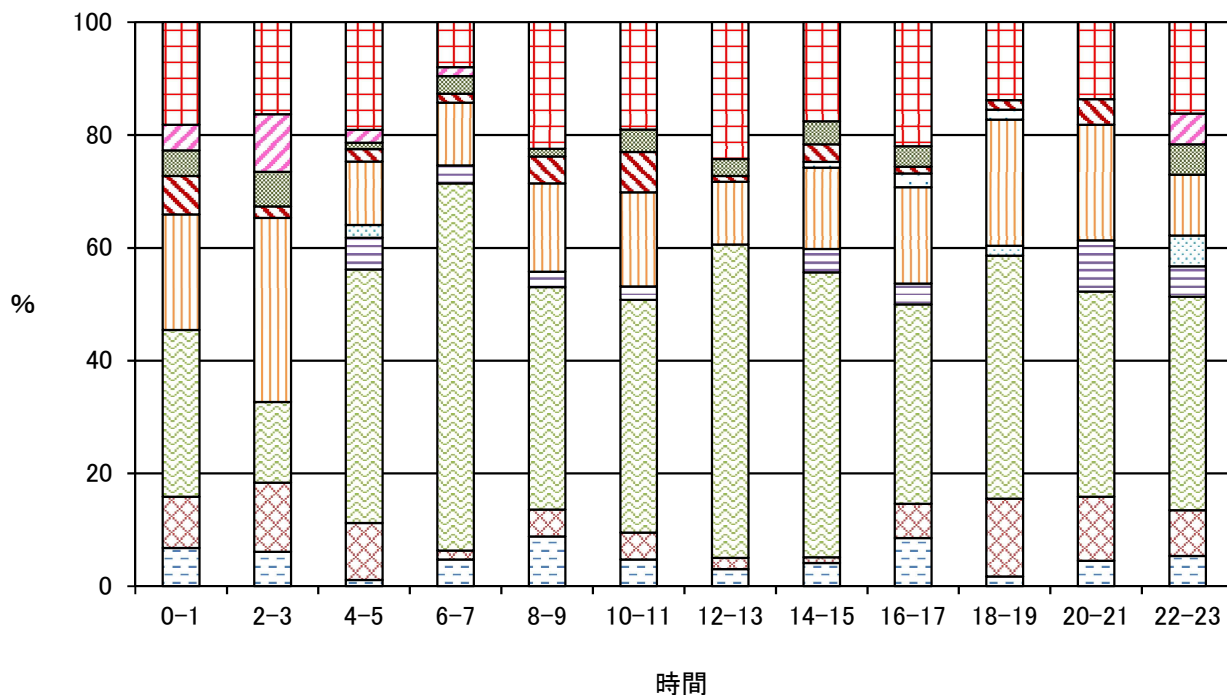
事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
人 対 車 両	対面通行中	3	3	1	3	13	6	3	4	7	1	2	2	48	
	背面通行中	4	6	9	1	7	6	2	1	5	8	5	3	57	
	横断中	横断歩道	13	7	40	41	58	52	55	49	29	25	16	14	399
		横断歩道付近	0	0	5	2	4	3	0	4	3	0	4	2	27
		横断歩道橋付近	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	5
		その他	9	16	10	7	23	21	11	14	14	13	9	4	151
	路上遊戯中	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4	
	路上作業中	3	1	2	1	7	9	1	3	1	1	2	0	31	
	路上停止中	2	3	1	2	2	5	3	4	3	0	0	2	27	
	路上横臥中	2	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2	12	
	その他	8	8	17	5	33	24	24	17	18	8	6	6	174	
	合計	44	49	89	63	147	126	99	97	82	58	44	37	935	

(2-2) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数の構成率（平成29年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
人 対 車 両	対面通行中	6.8	6.1	1.1	4.8	8.8	4.8	3.0	4.1	8.5	1.7	4.5	5.4	5.1	
	背面通行中	9.1	12.2	10.1	1.6	4.8	4.8	2.0	1.0	6.1	13.8	11.4	8.1	6.1	
	横断中	横断歩道	29.5	14.3	44.9	65.1	39.5	41.3	55.6	50.5	35.4	43.1	36.4	37.8	42.7
		横断歩道付近	0.0	0.0	5.6	3.2	2.7	2.4	0.0	4.1	3.7	0.0	9.1	5.4	2.9
		横断歩道橋付近	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	5.4	0.5
		その他	20.5	32.7	11.2	11.1	15.6	16.7	11.1	14.4	17.1	22.4	20.5	10.8	16.1
	路上遊戯中	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.4	1.7	0.0	0.0	0.4	
	路上作業中	6.8	2.0	2.2	1.6	4.8	7.1	1.0	3.1	1.2	1.7	4.5	0.0	3.3	
	路上停止中	4.5	6.1	1.1	3.2	1.4	4.0	3.0	4.1	3.7	0.0	0.0	5.4	2.9	
	路上横臥中	4.5	10.2	2.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	1.3	
	その他	18.2	16.3	19.1	7.9	22.4	19.0	24.2	17.5	22.0	13.8	13.6	16.2	18.6	
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- 対面通行中
- ▣ 背面通行中
- ▣ 横断中(横断歩道)
- ▣ 横断中(横断歩道付近)
- ▣ 横断中(横断歩道橋付近)
- ▣ 横断中(その他)
- ▣ 路上遊戯中
- ▣ 路上作業中
- ▣ 路上停止中
- ▣ 路上横臥中
- ▣ その他



(3-1) 対歩行者の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（平成29年）

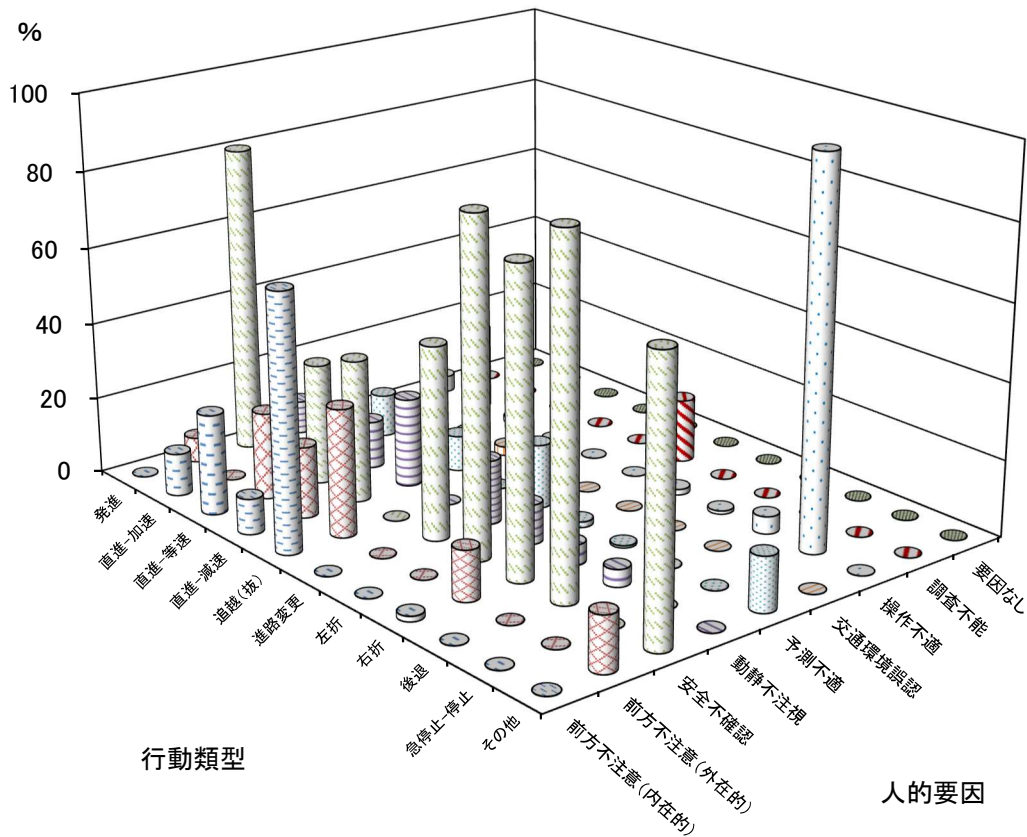
(件)

行動類型	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止 -停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	0	1	74	4	2	0	0	5	0	0	0	86
前方不注意(外在的)	6	0	64	8	1	0	0	47	0	0	1	127
安全不確認	74	4	89	16	0	3	59	282	60	0	5	592
動静不注視	8	1	35	10	0	1	7	19	3	0	0	84
予測不適	0	1	12	4	0	1	1	2	0	0	1	22
交通環境誤認	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
操作不適	4	2	4	0	0	0	1	3	3	1	0	18
調査不能	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	92	9	282	43	3	6	68	358	66	1	7	935

(3-2) 対歩行者の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（平成29年）

(%)

行動類型	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止 -停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	0.0	11.1	26.2	9.3	66.7	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	9.2
前方不注意(外在的)	6.5	0.0	22.7	18.6	33.3	0.0	0.0	13.1	0.0	0.0	14.3	13.6
安全不確認	80.4	44.4	31.6	37.2	0.0	50.0	86.8	78.8	90.9	0.0	71.4	63.3
動静不注視	8.7	11.1	12.4	23.3	0.0	16.7	10.3	5.3	4.5	0.0	0.0	9.0
予測不適	0.0	11.1	4.3	9.3	0.0	16.7	1.5	0.6	0.0	0.0	14.3	2.4
交通環境誤認	0.0	0.0	1.4	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
操作不適	4.3	22.2	1.4	0.0	0.0	0.0	1.5	0.8	4.5	100.0	0.0	1.9
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録24 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数
（平成26-29年）

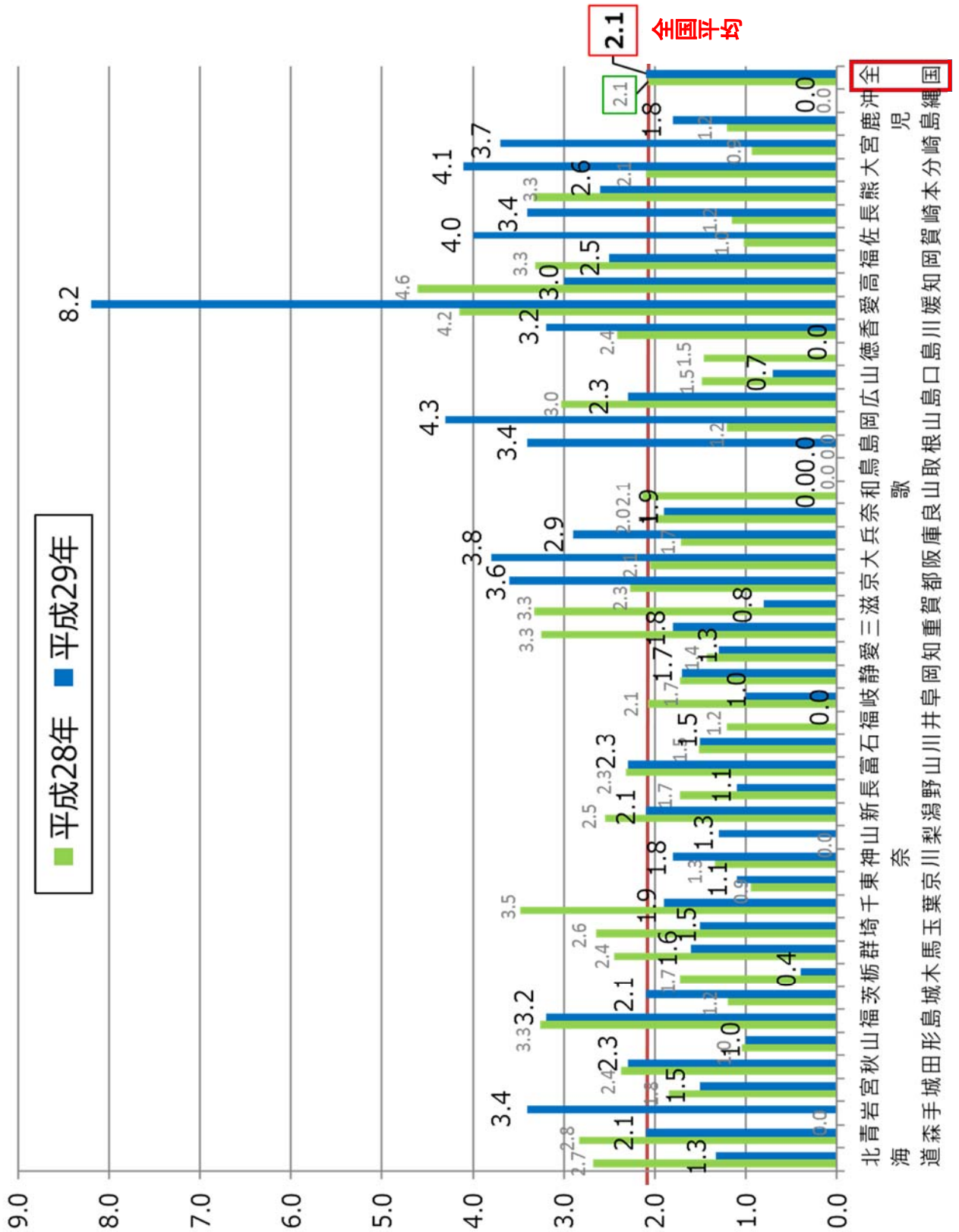
区分	死亡事故件数（件）						死者数（人）						車両台数 （台）	1万台当たり 死亡事故件数 （件）
	H26	H27	H28	H29	H28比	H26	H27	H28	H29	H28比				
北海道	札幌	9	9	7	2	△5	10	9	7	2	△5			
	函館	1	4	0	2	2	1	4	0	2	2			
	室蘭	0	1	4	2	△2	0	1	6	2	△4			
	帯広	1	0	1	1	0	1	0	2	1	△1			
	釧路	0	1	4	1	△3	0	1	4	1	△3			
	北見	0	0	1	0	△1	0	0	1	0	△1			
	旭川	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0			
	小計	11	16	18	9	△9	12	16	21	9	△12	67,564	1.3	
東北	宮城	6	5	5	4	△1	7	5	5	4	△1	27,478	1.5	
	福島	9	6	7	7	0	9	6	7	7	0	22,143	3.2	
	岩手	4	4	0	5	5	5	5	0	5	5	14,586	3.4	
	青森	3	3	4	3	△1	3	3	4	4	0	14,423	2.1	
	山形	4	4	1	1	0	4	4	1	1	0	9,679	1.0	
	秋田	0	0	2	2	0	0	0	2	2	0	8,517	2.3	
小計	26	22	19	22	3	28	23	19	23	4	96,826	2.3		
北陸・信越	新潟	7	6	6	5	△1	8	7	6	7	1	23,728	2.1	
	長野	6	2	3	2	△1	6	2	3	2	△1	17,664	1.1	
	石川	5	5	2	2	0	5	5	2	2	0	13,364	1.5	
	富山	4	1	3	3	0	4	1	3	3	0	13,077	2.3	
小計	22	14	14	12	△2	23	15	14	14	0	67,833	1.8		
関東	東京	12	16	9	10	1	12	16	9	10	1	95,020	1.1	
	神奈川	16	15	9	12	3	16	15	9	12	3	68,038	1.8	
	千葉	19	11	21	12	△9	20	11	21	12	△9	61,685	1.9	
	埼玉	26	19	22	13	△9	26	19	23	13	△10	84,933	1.5	
	茨城	8	13	5	9	4	8	13	5	9	4	42,552	2.1	
	群馬	8	4	6	4	△2	8	4	7	4	△3	24,988	1.6	
	栃木	4	3	4	1	△3	4	3	4	1	△3	23,403	0.4	
	山梨	4	5	0	1	1	4	5	0	1	1	7,654	1.3	
	小計	97	86	76	62	△14	98	86	78	62	△16	408,273	1.5	
中部	愛知	16	15	12	11	△1	17	15	12	12	0	85,433	1.3	
	静岡	11	10	7	7	0	12	10	7	7	0	41,247	1.7	
	岐阜	4	5	4	2	△2	4	5	4	2	△2	19,478	1.0	
	三重	9	4	7	4	△3	9	4	7	4	△3	21,986	1.8	
	福井	3	1	1	0	△1	3	1	1	0	△1	8,441	0.0	
	小計	43	35	31	24	△7	45	35	31	25	△6	176,585	1.4	
近畿	大阪	24	23	19	36	17	25	23	21	37	16	93,940	3.8	
	京都	9	12	5	8	3	9	12	5	8	3	22,502	3.6	
	兵庫	12	16	8	14	6	12	16	8	14	6	47,467	2.9	
	滋賀	3	3	4	1	△3	3	3	4	1	△3	12,162	0.8	
	奈良	4	5	2	2	0	4	5	3	2	△1	10,290	1.9	
	和歌山	4	5	2	0	△2	4	5	2	0	△2	9,436	0.0	
	小計	56	64	40	61	21	57	64	43	62	19	195,797	3.1	
中国	広島	12	7	9	7	△2	12	7	11	8	△3	29,998	2.3	
	鳥取	3	2	0	0	0	3	2	0	0	0	5,388	0.0	
	島根	1	0	0	2	2	1	0	0	2	2	5,868	3.4	
	岡山	6	13	3	11	8	6	13	3	12	9	25,435	4.3	
	山口	3	6	2	1	△1	3	6	2	1	△1	13,625	0.7	
小計	25	28	14	21	7	25	28	16	23	7	80,314	2.6		
四国	香川	7	4	3	4	1	7	4	3	4	1	12,675	3.2	
	徳島	3	0	1	0	△1	3	0	1	0	△1	6,960	0.0	
	愛媛	6	5	6	12	6	6	5	6	13	7	14,647	8.2	
	高知	1	2	3	2	△1	1	2	3	2	△1	6,587	3.0	
小計	17	11	13	18	5	17	11	13	19	6	40,869	4.4		
九州	福岡	14	10	17	13	△4	14	11	18	13	△5	52,393	2.5	
	佐賀	5	2	1	4	3	5	2	1	4	3	9,889	4.0	
	長崎	3	0	1	3	2	3	0	2	3	1	8,887	3.4	
	熊本	1	2	5	4	△1	1	2	5	4	△1	15,312	2.6	
	大分	0	0	2	4	2	0	0	2	4	2	9,790	4.1	
	宮崎	2	5	1	4	3	2	6	1	4	3	10,898	3.7	
	鹿児島	4	5	2	3	1	4	5	2	3	1	16,726	1.8	
小計	29	24	29	35	6	29	26	31	35	4	123,895	2.8		
沖縄	1	2	0	0	0	3	2	0	0	0	7,123	0.0		
不明	3	6	4	6	2	3	6	4	7	3	0			
合計	330	308	258	270	12	340	312	270	279	9	1,265,079	2.1		

（作成：公益社団法人 全日本トラック協会）

※死亡事故件数及び死者数は軽自動車によるものを除く 出典：（公財）交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物車の保有車両台数（H29.3末現在） 出典：（一財）自動車検査登録情報協会

付録25 事業用貨物自動車 1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成28-29年）



(作成：公益社団法人 全日本トラック協会)

※死亡事故件数は軽自動車によるものを除く 出典：(公財)交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物自動車の保有台数 (H29.3末現在) 出典：(一財)自動車検査登録情報協会

事業用貨物自動車の交通事故の発生状況

発行： 公益社団法人 **全日本トラック協会**

編集： 公益財団法人 交通事故総合分析センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番5

T e l 03 (3354) 1009 (代表)

F a x 03 (3354) 1019

ホームページのアドレス <http://www.jta.or.jp>